

Title	第3冊: 工學 著者名索引 : 和漢書分類目録(著者名索引)
Author(s)	京都帝國大學附屬圖書館
Citation	. (1941)
Issue Date	1941-09-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/200821
Right	
Type	Book
Textversion	publisher

昭和十六年九月

京都帝國大學
和漢圖書分類目錄

第三册
工學

(著者索引)

京都帝國大學附屬圖書館

著
者
索
引

著者索引

アイーアオ

相澤時正	堰堤と擁壁	二六六	アインチッヒ(獨)	軍機の經濟觀	三二	青木楠男	岩淵水門に關する水理試驗(共)	四七・七	青木楠男(續)	南洋材カボルル質にターベンタインの物理的諸性質に關する試驗(共)	四八・五	青木保	基礎單位測定及計測器	九・七	青木信雄	地球發生史	一五六			
近世道路工法	水利工事必携	三七	再軍備經濟觀	三二	青木楠男	本邦道路橋の重量(共)	四八・七	青木保	精密機械設計概論	九・〇三	青木信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六	
愛知縣	大正二年陸軍特別大演習愛知縣記錄	三九	青木楠男	江戶川河水統制水門下流洗堀に關する水理實驗(共)	四九・七	青木定遠	熔接鋼引張試驗用小型試驗片(共)	四七・八九	青木保	精密測定及計測機器	一〇三	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	大陸移動說に對する地質學者及び地理學者の見解	一五六	青山信雄	地球發生史	一五六
愛知縣内務部	常帶地方陶製品製造工業調査	三五	青木楠男	瓦斯切斷による削陵が溶接の強度に及ぼす影響	四八・八九	青木周三	鐵道篇	三五	青木保	時計學	一〇三	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
愛知時計電氣株式會社	愛知時計電氣株式會社研究報告	一〇七	青木楠男	北上川降開式轉動堰模型試驗(共)	四六	青木省三	棘皮動物	一五六	青木保	兵器學	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	舊既橋鐵材の腐蝕に關する調査	四六・七〇	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	橋梁工學(共)	四六・七	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	橋梁の溶接	一八・二八九	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	橋梁用敷板強度試驗(共)	四六・七〇	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	國道銕結銜橋標準設計案(共)	四六・六九	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	鋼橋の溶接	四六・七〇	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	鋼橋の工作と其監督	四六・七〇	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	鋼矢板試驗	四七・六六	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	全熔接國道橋鶴川橋の設計に就て	四九・六九	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	道路橋振動試驗	四六・七〇	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	電氣溶接法による鐵筋の接合	四六・四九・一八九	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六
			青木楠男	土木工事材料	四四・五三	青木省三	電氣計器(共)	一六	青木保	兵器讀本	三七	青山信雄	地球發生史	一五六	青木廉二郎	關東構造盆地特に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)	一六二	青山信雄	地球發生史	一五六

アカーアサ

赤井左一郎	香料製造化學(共)	三六	明石三郎兵衛尉	兵道記	三〇	秋保安治	工業概論	一	アグネ工學社	金屬	一八
赤井恒嘉	極秘六角雛形	三七	明石、町	明石町下水道略誌	全	秋岡武次郎	地圖學史	一五	淺井郁太郎	工業鑛物	一六
赤井東海	赤井巖三議	三三	明石東次郎	火藥類通覽(共編)	二四	秋月源太郎	機械製作法(共)	二〇	淺井榮資	航海圖表	一九
赤井巖三議	海防論	三四・三五	明石博高	防雷鍼略説	二三	仕上工作法	二〇	淺尾莊一郎	光電管	二〇・二四	
赤木正雄	溪流及砂防工學	四〇・六一	赤野正信	交流理論(共)	二三	秋田鑛山専門學校	秋田鑛山専門學校學術報告	一四八	アラウン管並電子顯微鏡論	二四・二五・二四	
赤澤政五郎	火力發電所(共)	二〇・二四	赤松則陽	海防辨	三四・三五	秋田市役所	秋田市水道誌	四	安積重信	藥戎策	三三
赤司繁太郎	兵語辭典	三〇	赤松正水	鉛蓄電池に對する有機物質の影響に就て(共)	二〇・二一	秋野榮之助	自動車の知識(共)	一〇	安積貞	精校海國兵談	三三
明石國助(染人)	染織史考	三〇	安藝皎一	河川の自然勾配に及ぼす砂礫の性質と掃流力との影響に關する調査並に之に基く河川平衡勾配に關する實驗的研究	四七・四八	秋間保郎	テレウオジョンとトーキーの研究(共)	二二	朝川晋四郎	刪定紀効新書秘解	三四
染織文様史の研究	日本染織史	三〇				秋本繁松	鐵筋コンクリート拱橋	七	淺川權八	瓦斯エンジン	三六
						鐵山轍輔	寫眞沿革史	二四	實験工學	石油エンジン	七
						雙眼寫眞		二二・二四			

浅川權八(續)

ディーゼルエンジン

内燃機關

浅川彰三

ペイント製造及検査法(共)

浅川勇吉

計測器一般

工業用材料(共譯)

硬度及び硬度測定法(共)

朝倉清一

建築設計通書

朝倉文夫

建築と彫刻

和洋建築及彫刻

朝倉元次

水力發電所及變電所之設計

浅田龜吉

山東省鑛業資料

浅川彌平

化學機器圖集(共編)

浅野幸作

アルミニウム製造法

浅野定次

冷凍法及其應用(共)

浅野末太郎

斷層の研究

浅野彦太郎

海洋學

浅野好

運河

開水路の水利

浅原源七

化學に於けるX線の應用(共)

コロイド化學(共譯)

旭硝子株式會社試驗所

旭硝子株式會社試驗所報告

發生爐瓦斯試驗報告

朝日新聞社

朝日住宅圖案集

新しい簡易小住宅

今日の住宅

朝日新聞社(續)

滿洲・上海事變全記

朝日新聞政治經濟部

海軍縮小の話

朝比奈秀雄

海圖と海底測量

朝武上獅子雄

糖業より觀たる沖繩

足田輝雄

高溫度測定法

安蘇四郎

朝鮮鑛石學及探鑛法

アタ—アユ

阿多俊介

孫子(共譯)

安建正寛

兵衛要訓

兵衛要訓抄録

安達嘉一

無線通信工學(共)

安達佐太吉

初等對照座標法

足立四郎吉

日本海軍之發展

足立震太郎

精油及香油の話

足立康

南都六宗寺院の建築

足立廉吉

はかり機械

厚木勝基

應用コロイド化學

限外顯微鏡寫眞

工業用非金屬材料

人造絹絲

セルロイド及び可塑物工業

天然及び人造纖維工業

バルブ及紙

有機質材料

厚見利作

實用探炭學

石炭と炭鑛業の知識

厚見利作〔續〕 通氣と保安	一七〇	阿部直道 三略講話 六韜三略講話	三六 三三	天野郁介 實用建築材料編〔編〕	三五	荒井源三郎 最新電力輸送及配電	三五
渥美右一郎 舞臺寫眞	三三・三四	阿部信夫 海軍讀本	三〇	天利義昌 特殊鑄鐵鑄物	一六・一七	新井榮吉 サージタンク	九
アトキンソン(英) 日本醸酒編	二九	阿部 巽 旋盤工作法(共) ねぢの切り方(共)	一〇一 一〇二	甘利 忠 鐵工要具解説及作業一斑〔編〕	一〇〇	新井忠吉 機械工作法及工作機械	一〇〇
阿藤一男 鐵筋コンクリート構造(共)	三	阿部松治 亞麻工業	二五	網島 毅 無線局の設計	一九・二〇・二五	新井白石 鑑直垂考	三六
阿發 滿(米) 冶金錄	一七・一八	阿部美樹志 鐵筋混凝土工學	六	雨宮登三 ガス狀炭化水素の電氣的分解 ガス狀炭化水素より液體燃料 の合成	二〇 二九・三三	孫武兵法擇 品革威考	三〇
阿 耳特 北滿鑛産誌	一五・一五	阿部良夫 電波に關する論文集(譯)	一四	雨宮良孝 熱によつて起る硝子板表面の 失透に就て(共)	二六・二七	本朝軍器考	三五
アブラハム(獨) 理論電氣學	二二	阿部吉紹 石炭液化	三五	アメリカ水道協會 實踐上水道	三	新井保男 原板の修正法	三三・三三
安倍龍平 海寇竊策(補)	三三	天沼俊一 石燈籠〔編〕	二五	天羽 馨 建築施工法(共)	二七	新井幸長 紡織試驗法の理論と實際	三三
阿部謙夫 水文學	一五	日本建築史圖錄 日本建築史要 花肘木	二五 二六 二六	鮎川昌行 紅毛火術錄	三四	荒川 勇 低溫タールの成分に關する研究 (共)	三八
						アラ—アン	

荒川喜代治 糊附法と力織機(共)	三三	荒木鶴吉 活性炭素	二〇三	有坂鋁藏(續) 兵器沿革圖說	二一・三〇・三五	粟津秀幸 探鑛用地質學	一四・一六八
荒川大太郎 無線通信	一〇五・一〇・三九	荒木 彬 電氣製鐵及製鋼法(共編)	一六	兵器考	三五	栗野誠一 熱及熱力學(共)	九四・九五
荒川文吾 テレウジョンの基礎知識	一四	新木啓助 變壓器	一三〇	有澤武貞 軍役古今通解	三六	栗屋良馬 冷	一七・一四四
荒川文六 荒川電氣工學	一〇四・一〇五	新 文夫 火力發電所	一〇五・一四	孫子講註	三〇	冷凍工學及其應用	一〇・一四
直 流 機	一〇四・一〇	荒川川開門普通水利組合	七	アリッヒ(蘭) 甘蔗糖及瓜哇製糖論	二四	アーネルト(露) ソ聯極東の産金地	一五三
電氣計器	一〇五・一一	荒川川開門普通水利組合誌	七	甘蔗糖及其製造	二四	アーノルド(獨) 過渡現象	一三五
Denki-Kogaku no Zikken (電氣工學の實驗)	一〇五	新野 弘 伊豆半島地質概報(共)	一六	亞 倫(米) 銀礦指南	一四七・一四	交流理論	一三一
電氣理論	一〇四・一一	荒畑勝三 普佛戰爭史(譯)	三一	アル ス アルス機械工學大講座	一六	安東伊三郎 鑛物界之現象	一六三
變壓器及蓄電池	一〇五・一〇・一〇九	有賀 輝 寫眞化學	二〇九	アルス建築大講座	二五	安東洪次 比色的水素イオン濃度測定法	一九三
荒木吉次郎 電氣學及磁氣學に於ける解析數學 の應用に關する論文(譯)	二二	有賀 長雄 戰時國際公法	三三二	アルス工學全書	九	安東重彦 臺灣に於ける水素工業に就て	二〇四・三五
荒木孝興 工業分析の結果より見たる臺灣 産石炭に就いて	三・七三	有坂鋁藏 武器武裝	三三	アルス最新寫眞大講座	三三	安東新午 重質油類の高壓水素添加	二八・三九
荒木鶴雄 航空機の材料及化學	二九			アルス新興機械工學講座	九		
				アルス鐵筋コンクリート工學 講座	元		
				アルス電氣工學大講座	二〇		
				アルス土木工學大講座	四		
				合志一夫 水銀整流器(譯)	三三		

池田榮一〔續〕

配電と法規 二五・三七

池田勘藏

建築土木保障総合及危害豫防

統計〔編〕 四・二五三

池田貫道

砂糖製造法〔増訂〕

日本糖業新論 二四三

池田謙三

銅製鍊

本邦銅鑛乾式製鍊法 一八五

池田讓次

小住宅附帯設備管見

配管配線工事施工指針 二五五・二七

池田次郎

活字合金の研究〔共〕

鉛・アンチモン・錫合金のブリネル

硬度と平衡圖との關係に就いて

〔共〕 一八三

池田純久

軍事行政

三三

池田武智

電信學 二二・三七

池田仲治郎

大工術〔編〕

風流な窓と欄間〔編〕 二五

池田長之助

工作機械一般〔共〕

九

池田篤三郎

流量表

三

池田 楳

長江流域に於ける桐油事情

三七

池田 宏

第三回萬國道路會議復命書

〔共〕 三

池田 稔

高層建築

二七

池田古郎

酒造る道

三三

池田芳郎

應用數學 一六

工業物理學 一七

電氣工學と數學 一〇五

流體力學と翼並に水力機の理論〔共〕二九六

池谷武雄

水力學及水力機械

九・九七

池谷増太

交流理論及其計算法〔共〕

二二・三四

池田谷久吉

大阪府建築法規類集〔編〕

二二

池原英治

鐵道工學特論

四〇・六

池部春常

砲玉著町表

三五

池部宗薫

鐵骨構造〔共〕

三・五三

池邊常刀

弱電測定法 一〇・二二・二七

池本泰兒

日本道路史 三

イサーイシ

井坂富士雄

彈性體の力學〔共譯〕 二五

土の力學

五〇・五二

井坂理五郎

千葉縣セメントコンクリート

試驗鋪裝 五

猪坂直一

製絲法講話〔共〕 二二

石井英橋

各國地圖・國際寫真測量大會及の

國際測量家協會の誌 一五九

地籍測量

三七

石井悅朗

瓦斯製造工業 三三

鉛蓄電池の諸研究

二〇八

石井清彦	山形縣最上油田地形及地質圖 説明書	一七・一七	石川一郎	化學肥料	九・一五	石川成章(續)	有用鑛物資源と鑛産	二五・二六	石川 等	電極・黒鉛・カーボランダム(共)	一〇五・一〇六
石井新次郎	膠質狀態學	二四七	石川 巖	寫眞藥功用略解	三〇	石川莊吉	石炭低溫乾燥試驗報告樺太炭に就て(共)	二九	石川政吉	回轉機械の主要部分 蒸気罐 熱機關試驗法	九〇・九二 九三 一〇・九四
石井達郎	耐火構造(共)	一五・一六〇	石川 縣	養蠶製絲改良順序書	三四	石川武二	回路線及の濾波器(共譯) 搬送電信及電信機械	一四 一七・一八	石川芳次郎	工業電熱	一三
石井貞次	客貨車 空氣制動機	六 六	石川源二	燈 臺	二九	石川貞治	北海道(地質調査)鑛物調査報文 (共)	一六	石川頼三	磁石鋼	二六・二七
石井 直	米國合衆國に於ける電氣信號 電氣聯動裝置概況報告書	一四六	石川浩洋	實用鑄金學(編)	一六	石川登喜治	鑄造法	一六	石川流宣	數寄屋雛形 日本海山潮陸圖	二七 二六
石井義雄	鐵及び鋼	一八	石川純一郎	藝術的效果の上より觀たるコンクリート壁面上の一生面	二五・二六 二五・二八	石川利雄	南洋材カポール錠にターペンタインの物理的諸性質に關する試驗 (共)	四八・五〇	石黒美種	電氣家の爲の最近科學十三講 (共譯)	一〇
石居 一郎	實驗製絲論	二二	石川成章	鑛物學 鑛物講話 地文鑛物講話(共編)	一三 一三・一五 一五	石川留吉	金鑄鍊法(共)	一五	石澤命知	滲炭と窒化	二六・二七
石尾貞朝	榮養品嗜好品製造化學	二四	石川 徹	學校建築	二五・二六	石川 徹	學校建築	二五・二六	石島 涉	石灰藻類	一五

石津 勤	讀史戰論	三四	石田 道夫	機構學(共)	九・九	石橋 正樹(續)	塗料及塗裝 塗料及び塗裝	一〇〇・三〇 一九・三〇	石本巳四雄	地震現象より見たる地殻變動 振動實驗及測定法 物理地下探査(編)	一五 九・七・八 二六
石津 利作	清酒釀造新論	三三	石田 求	軸受合金 軸受合金及活字合金	六 六・二	石橋 雅義	電氣測定法 容量分析實驗指針	二八 一五	石本 忠吉	鐵と石炭	一五
石塚 信太郎	法隆寺東院に關する發掘調査、 今村・小林及び鈴木窯に於ける 煙燒瓦の燒成結果並びに私見	三二・三三	伊地知 敏	伊地知軍司 軍擴の經濟戰(譯) 石鹼に關する調査報告書	三二 三二	石藤 豐太	日本釀酒編(共譯)	三九	石山 龍雄	回轉變流機の理論と應用 電動機應用(共) 誘導機(共)	三三 三〇 三三
石田 喜一郎	プロモイール印畫法	三三・三三	石野 俊夫	熔融鹽電解	三三・三九	井島 重保	羊毛の研究と本邦羊毛工業	三五	石山 徹郎	埃及建築史(譯)	三七
石田 鏡一	實驗機械工學	六	石橋 絢彦	工業字解(編) セメント篇(編) セメント類使ヒ方 鐵橋圖譜(編) 堀割盛土土坪表	八 四 五 七 五	石丸 藤太	現代の海權爭鬪(譯) 補助艦問題と最近の我軍艦(共) 列國海軍と其の國民(譯) 倫敦軍縮會議へ	三三 三三 三三 三三	意匠美術寫眞類聚刊行會	英吉利の古家具意匠集 ウヰリアム・モリス圖案集 埃及裝飾美術意匠集 北伊太利のロマネスク裝飾 美術集	二七 二七 二七 二七
石田 四郎	金屬材料ハンドブック(共) 航空機材料 自動車・車輛・船用發動機用 材料 發動機用材料(共)	七 二九 二九 九〇・九五 九〇・九五	石橋 弘毅	家庭燃料	三	石丸 文雄	木工・積工・土工・地形編 土木應用力學 林道橋梁及森林鐵道編	五 五〇 六一・七一	近代の舞臺裝置意匠集 近代の舞臺裝置意匠集 花を取扱へる意匠圖案集 表現主義の工藝美術集 メストロウイチ彫刻集	二八 二八 二九 二九 二九	
石田 龍次郎	人口の分布と密度	一五	石橋 正樹	塗料	三〇	石本 喜久治	建築譜 最近建築様式論(共)	二五 二五・二六			

市川直雄	電氣製鋼法	一六	伊東忠太〔續〕	殿堂建築の話	二五九	伊藤敬二郎	陸地測量學	七		
市川安次郎	機關車講義	五	一色義寛	水力機(共)	七	東洋建築史(共編)	二六三	伊藤圭介	碓石篇(譯)	二四
市川義方	水理眞寶	三	井出靜舟	日本建築詳細圖(共)	二六	東洋建築の研究	二六三	伊藤敬之助	粘土	一七
市川良正	アスファルト及其製品	五・〇一	出弟二郎	全米電力問題解決策としての水力開發及送電線に關する研究(共譯)	三〇	日本建築の研究	二六三	伊藤賢治	最新無線の知識	一九
	アスファルト工業	一九・三六	出來茂	金屬の疲勞	二八	日本建築の變遷	二六三	伊藤憲太郎	建築統制	二九
市來鐵郎	共同建築の話	二九	糸山孝吉	機關車	四	熱河遺蹟の建築史的價値	二六四	伊藤剛	水理學	三
苺會	新らしき獨逸の建築	二四	伊東敬一	實用電信學	三七	法隆寺建築論	二六四	伊藤竹之助	我國綿業の現勢と諸問題	三三
一條諦吉	アルミニウム總覽年鑑(編)	一五	伊東忠太	見學紀行	二五	論叢・隨想・漫筆	二六六	伊藤爲吉	日本建築構造改良法	二六
市瀬齊	工學獨逸語解釋研究(共)	九	建築に現れたる日本精神	二五	伊藤一次	石灰室素	二八	伊藤景治	鐵骨構造電弧銲接の理論と實際	一八
一戸清方	工場用材料	三	清國北京紫禁城殿門ノ建築	二・三五	伊藤榮三郎	英和對譯機械用語新辭典 和英對譯電氣術新辭典 英和對譯電氣術新辭典 和英對譯電氣術新辭典	二七	伊藤景治	數寄屋工法集(編)	二七

伊藤貞市 一五七
 結晶學 一六六
 日本鐵物資料(編) 一六六
 本邦鐵物圖誌 一六六
 伊藤貞吉 四〇・四四
 建築工學
 伊藤徳之助 一六
 工業數學
 伊藤俊男 一〇一・一〇三
 製菓
 伊藤壽郎 五
 土木測量法
 伊藤虎三 二六八
 日本建築細部圖集 二六八
 日本建築建具圖集 二六九
 日本建築欄間圖集 二六九
 日本住宅手摺圖鑑 二九〇
 伊藤博文 三二六
 兵政關係資料(編)

伊藤政之助 三〇
 戰爭史
 伊藤正徳 三三
 軍縮? 三三
 潜水艇と潜水戦 三三
 伊藤正文 二六六
 建築保健工學
 ダンスホール建築 二五二・二六〇
 伊藤萬太郎 九
 水力機械學
 伊藤 豐 一四
 無線電氣機器の調整及運用(共)
 伊藤義次 二七
 新しい室内装置と家具(共)
 伊藤米治郎 二五
 日本の海運
 伊藤庸二 一四
 熱電子管(譯)
 伊藤龍吉 三三・三四
 修正法

伊藤亮次 三三・三四
 寫眞印刷
 伊藤令二 四七・七七
 岩淵水門に關する水理試驗(共)
 横溢流堤流量試驗(共) 四七・七七
 北上川降開式轉動堰模倣試驗(共) 四七
 背水曲線の一般的解法(共) 四七・七七
 イナ―イノ
 稻井 豐 一五
 太子河系(南滿洲に發達せる石炭・二疊紀層)に就きて 一五
 地質圖學 一五
 稻垣敏澄 三六・三七
 紫外光線ニ對スル保護眼鏡ニ就テ
 稻垣英夫 二八
 新意匠の住宅(共)
 和洋住宅圖說(共) 二七
 稻澤一徳 三三
 綿布並に綿織物業に關する調査書

稻田三之助 二七
 電信・電話
 無線工學 二九
 ラジオ 二九
 稻田周之助 三三
 軍政及軍備
 稻留武男 六
 デイゼル機關の燃料噴射及燃燒(共)
 デイゼル燃料の發火性(共) 三八・三九
 稲波季雄 二九・四一
 受信機械
 稲葉通邦 三三
 軍學不審問答評書
 稲葉 實 一〇
 旋盤と其作業
 井西仁平 一五
 電氣鐵道要綱(編)
 犬飼博淵 三九
 孫子活説

犬伏節輔	大桑發電事業誌(編)	三三	井上禧之助	歐洲戰場ニ於ケル鐵產地領有ノ戰局ニ及ボセル影響	一六〇	井上新次	無水酒精講話	三三	井上柳梧	絹絲學	三三四	
	申原發電事業誌(編)	三三		盛京省南部地質及鐵産(共)	一六三		井上善吉	應用機械工作及製圖法	三〇一	人造絹糸の話	三三六	
	西勝原發電事業誌(編)	三三		戰後歐羅巴ニ於ケル鐵産物ニ鐵及石炭	一六七		井上春成	電池及蓄電池(共)	二〇六	井上義行	陸軍刑法通解	三三八
猪野勇一	建築工事見積	二七	井上潔	我國の紡績業に就て	二三四		電鍍(共)	一九〇・二〇一	井口在屋	井口のくち簡易表	五五	
井上景太郎	電氣鐵道	一四五	井上幸一	日露戰史名譽列傳	二六六		電鍍及電鑄(共)	一九〇・二〇五	井口在屋	機械工學術語集	七七	
井上一次	會津戰爭	三〇四・三〇五	井上權一郎	長崎警衛記録	三三九		鐵筋コンクリート	二九	井口教授在職二十五年祝賀會	井口在屋工學論文集	一〇	
	越後戰爭	三〇四・三〇五	井上繁次郎	家具圖說	二八七		井上均	高周波現象(譯)	一四三	井口常雄	木材試驗法	一〇・三三・四
	桶狭間の戰	三〇四・三〇五	井上繁次郎	建築師要覽(編)	二七五		井上等	誘導機(共)	二三	井野邊茂雄	上野の戰	三〇四・三〇五
	加賀手取川の戰	三〇四・三〇五	製具指針	製具指針	二九		井上福一郎	水力電氣工事編	七〇	鳥羽・伏見の戰	三〇四・三〇五	
	川中島の戰	三〇四・三〇五	井上仁吉	工業瓦斯	一五		土木工事便覽	四	函館戰爭	三〇四・三〇六		
	神功皇后の三韓征伐	三〇四・三〇五	井上新二	建築法規の解説(共)	二九三		井上正賀	釀造法一斑	二三八	稻生有年	板金工作用機械プレス	九
	神武天皇の大和地方御討平	三〇四・三〇五	鐵筋混凝土構造・計算表と圖表	鐵筋混凝土構造・計算表と圖表	三		金屬鑄接法	プレス	八八	板金工作用機械プレス	八八	
	高松城の水攻	三〇四・三〇五					プレス	プレス	八九・九	金屬鑄接法	八九・九	
	三方ヶ原の戰	三〇四・三〇六								金屬鑄接法	八九・九	
	日本武尊の熊襲及び東夷征伐	三〇四・三〇六								金屬鑄接法	八九・九	
井上馨	ワグネル氏工業ノ方針	七								金屬鑄接法	八九・九	
井上一之	浴場	二五・二六								金屬鑄接法	八九・九	

伊能泰治 燃料 二八

伊能忠敬 測量日記抄(編) 七

イハーン

茨城縣 明治四〇年特別大演習茨城縣 記録 三九

井深 徴 商業寫眞 三三・三四

伊部貞吉 材料の力學 三三・三五
鐵筋混凝土構造 フェスト・ブック・メトリード 解説 三三・三五

今井兼次 海外に於ける建築界の趨勢 二四九・二五

今井源四郎 香料及化粧品 二六

今井登志喜 西洋都市の發達 一五

今井半次郎 石狩炭田に於ける幌内層と 夾炭層との關係に就て 一五・七一

今井秀雄 鐵筋コンクリート建築構材 經濟斷面の撰定法 二六

今井 弘 銅及銅合金 二六・二七

今泉嘉一郎 鐵山測量術(共) 鐵屑集 一六
鐵屑集 一三

今泉辰次郎 實用塗工術 三

今泉 敏 有用鐵物の産地及用途(共) 一六

今岡純一郎 造船 篇 二五

今岡賀雄 車輛無線 三九・四〇
眞空管及其應用 九・四四
無線航空路標識 三九・四〇・三〇〇

今木七十郎 工手便覽(編) 八

今野園藏 古生代の植物化石 一五

今村明恒 地震學 三・三五
地震波による地球内部の打診 一七

今村學郎 地波 一五

今村甚一 コルニシユランカシヤ汽罐取扱法 九四
特殊鋼と炭素鋼(共編) 一三

今村篤治郎 經濟 篇 三六

妹澤克惟 振動學 一七・一八

伊元富爾 戰時財政經濟法令總覽 三三三

伊豫田 貢 學校建築 二五・二七

入江軍兒 國寶解説 二五九

色川三中 製地圖解抄 元

岩井信次 種々なる境界條件を有する擴散 偏微分方程式に就て 一五・二四六

岩井武俊 日本古建築菁華(編) 二六〇

岩井秀雄 鶴見工場硝子熔解窯排棄瓦斯 に就て 二六・二七

岩崎 清 蒸気々罐及汽機(共) 九四

岩崎重三 應用鐵物學 一六三
金 一六四
銀 一六四

岩崎重三(續)

鐵物岩石鑑定吹管分析及地質表

一五・一八

鐵物鑑定岩石地質表

實用鐵物學講義

石炭

探鑛法

日本鑛床學

日本鑛石學

日本探鑛法

日本土木地質學

燃料學

本邦石炭の研究

本邦石炭の研究及其研究法

岩崎振一郎

ウイスコリスに關する知見補遺

岩崎祖堂

日本製絲業之大勢

岩崎富久

衛生工學上水道

上水道

鐵筋混泥土設計法

岩澤忠恭

道路の構造と鋪裝

岩下 罷

甲冑著用圖(編)

岩科遼一

建築構造力學

建築材料學

岩瀬榮一

膠質狀態理論(譯)

岩瀬慶三

三元金相論

岩垂 至

計算必携(共編)

岩手縣内務部第四課

岩手ノ金山(編)

岩波書店

火災

諸災

震災

水害と雪災

地質學及古生物學・鑛物學及び

岩石學・地理學

風災

岩波書店(續)

防災科學

岩根保重

近代地理探檢

徳川時代地誌の概觀

岩橋小彌太

石山合戦(共)

天文法華亂

岩村 新

鑛煙除害に關する研究報告及補遺(共)

岩本義虎

油脂・石鹼・塗料

巖谷不二雄

琉球建築(共)

尹 商(明)

武書大全

名將奇譚

印南高一

トーキョー

ウアーウシ

ヴァイウォーター(英)

列國海軍と其の國民

ヴァイグール(佛)

水晶發振器及其振器

ヴァイシネフ(露)

技術と軍事工業

ウヰンドジャイド(獨)

醫用電氣學綱要

植實宗三郎

家具室内裝飾圖集

上治寅次郎

地質圖學

上田 清

硝子(共)

上田賢象

遼河水運調査資料

氏家安信

日本帝國鑛山全圖(編)

一九

宇治川電氣株式會社

第一期水力電氣事業沿革志

三三・三三

字式令吉

最新アミノ酸讀本

二四〇

宇治川忠郷

本朝軍器考餘

三六

牛原虚彦

映畫監督細論

三三・三四

牛伏川砂防工事沿革史編纂會

牛伏川砂防工事沿革史

六

ウチ

内池武左衛門

亞墨利加小船先登記

三三

内口十喜治

砒那鐵器工業

一九・三七

内坂素夫

電燈照明

三三・三五

内柴御風

木原盾匠刀劍圖說(編)

三三

木原盾匠鉾盾圖說(編)

三三

内田源兵衛

軍需工業動員法講話

三三

内田鯉五郎

鑛山技術者ポケットブック

一四七

探鑛設計

一六九

鐵鑛石の研究

一六五

内田佐久郎

建築と繪畫(譯)

二五〇

内田繁太郎

農林測量

三六

百分勾配對水平距離及高低差

三七

連算表(共)

三七

内田茂徳

官軍和蘭歩操軌範全圖

三九

内田茂文

藩風と古城(編)

三八

内田靜馬

基本家具設計圖集

二九

内田周平

山田長政戰艦圖記(編)

三六

内田俊一

化學工業とその装置

一九五・二〇〇

氣體工業

一九五・一九

空中窒素固定工業

一九五・二〇九

高壓装置の理論と實際(共)

一三三

工業傳熱

一九三・一九七

最近に於けるガス輻射の研究

一九五・二四六

充填塔に關する研究(共)

二四四・二四六

蒸溜

一九四・二四六

電氣化學工業及窒素固定工業

二〇九

燃焼爐の効率

一九四・二四六

無水酒精製造に必要なエチル

二四四・二四六

アルコール

二四四・二四六

流體輸送

一五五・一九七

内田正次郎

瓦斯發生爐(共)

二二八・二三四

乾餾筒を有する瓦斯發生爐

三九・三四

試驗報告(共)

三九・三四

條府瀝青炭の肉眼にて分別し

三三

得る四成分に就て

三三

石炭及び石炭ガス

一九三・三三・三四

内田正次郎(續)

石炭完全瓦斯化試驗(共)

三九・三三

石炭・コークス・木炭及煉炭

二〇・三三

石炭の完全瓦斯化及其の

二八・三三

方式(共)

二八・三三

石炭の熱分解に就て

二八・三三

石炭油化の研究

三九・三五

熱量測定法

一〇・一八

燃研式斷熱熱量計

三九・三〇

本邦産各種石炭の油化成績

三五

Bone-Wieeler 瓦斯分析装置

三五

並に其の使用法

三四

内田祥三

建築構造汎論

六七

鐵筋コンクリートの理論と實際

三〇

内田 壯

化學工業經營

六

内田泰司

耐火材料の研究

二六

内田 浩

機械(共)

六

内田正雄

海軍沿革論(共譯)

三三

海野 正

纖維化學

二三

エイエン

英國商務院

英國ノ造船及造機業

二九四

英國勞働局工場監督部

綿紡織機械安全設備

三三四

衛生工業協會

衛生工業協會誌

三三

衛生工業便覽

三三

營繕管財局

營繕管財局營繕事業年報

二五五

江川三男治

探鐵必携(編)

一六九

液體空氣會社

金屬の銲接及切斷法(譯)

一八八

江口元起

珊瑚礁(共)

一五五

江口元起(續)

南洋パラオ群島の珊瑚及珊瑚礁

一五五

白聖紀(氏)

一五五・一五六

江口康雄

測量作業法

三四

江口義雄

住宅湘南莊(編)

二五九

江崎 清

肖像寫眞の寫場撮影

三三三・三三四

江崎三郎

肖像寫眞の戶外撮影

三三三・三三四

江崎仲市

鐵筋コンクリート計算圖表

三三

圖書館

二五三・二六

江澤讓爾

工業分布論(譯)

一

江島爲信

關蹠兵庫記

三四

江連用水普通水利組合

江連用水誌

七七

江田鎌治郎

清酒醸造業の將來と醸家の態度

三九

江田益英

天工開物(校)

一四

越後電氣株式會社

越後電氣株式會社十周年紀念寫眞帖

三三

江藤春樹

天然色寫眞術

三三三・三三四

江藤 禮

鐵筋決定圖表

三五

不靜定構造物の解法

三三

榎本脩吉

曹 達

二〇〇

榎本修二

陶磁器

二〇三・二〇五

榎本卓藏

送電電線路建設の實際
發電水量的經濟的研究

三五
二三

榎本恒太郎

廣島地方工學佛語の研究

九

榎本武揚

裝鐵船略記(譯)

三三

江畑弘毅

工事用砂利
土木建築工事用砂利

三三
二六

江原眞伍

日本産三角貝

一五

江村恒一

日本建築要鑑(編)

二六

江守保平

交通運輸
道路學

四・三
三

エンゲルス(獨)

普佛戰爭史

三一

エンジニヤリング社

機械設計法
ジヤパン・エンジニヤリング

三
八

遠藤於菟	二八三
西洋住宅百種	二八六
日本建築構造圖說	二八六
日本建築詳細圖(共)	二八六
日本住宅百圖	二八四
日本向きのパンガロオと コッテエヂ(編)	二八四
和洋建築設計圖會(編)	二七三
遠藤數馬	元
寫法新術	元
遠藤金英	一五
地理學の教育的價值	一五
遠藤金之助	二五・二六
旅客驛	二五・二六
遠藤源六	三八・三九
戰時禁制品論	三九
戰時國際公法	三三
遠藤新	二四九・二五
建築論	二四九・二五
遠藤誠道	二五・二五
新生代の化石植物	二五・二五

遠藤武	二八
室内家具裝飾法	二八
遠藤彦造	一八
耐酸耐蝕金屬及合金	一八
鐵鋼の腐蝕と防錆の研究	一八
遠藤政直	八・九
唧筒	八・九
遠藤義夫	一八
實用電弧銲接機	一八
遠藤美壽	二五
X線	二五
靜電氣學	二三
遠藤隆次	一五・一五
カムブリア紀	一五・一五
節足動物	一五
北米合衆國スミソニアン學會 に於ける地質學部の近況	二五
滿洲の地質及鑛産	二五
遠藤六郎	一五・一六
北大東島試錐調査に於ける 試錐方法	一五・一六

オイ—オカ

及川邊	二〇・二七
屋內配電	二〇・二七
尾池義雄	三九
支那文學講話孫子	三九
老田他鹿藏	三〇
染色法(増訂)	三〇
捺染法(増訂)	三〇
配色法(増訂)	三三
岡邦雄	七
近代技術史(共譯)	七
岡熊臣	三六
兵制新書	三六
岡俊平	二〇・二五
電氣化學製品	二〇・二五
岡宗次郎	二〇・二〇
無機工業藥品	二〇・二〇

岡白駒	三九
孫子(校)	三九
岡義明	五
鐵塔と其設計(共)	五
岡利亮	三三・三四
水洗及乾燥法	三三・三四
特殊印畫法	三三・三四
岡内彰	二〇・二三
實用寫真化學	二〇・二三
岡内簡	三四
砲術基礎(譯)	三四
岡崎武夫	五・六
河海工學	五・六
岡崎平三郎	五
地形施工法	五
鐵道及其建設	五
岡崎文吉	五
治水	五
純近ノ水力電氣	二五

岡澤辰造	香料工業	三六	岡田宜汎	軍學不審問答	三三	岡田忠雄	電氣機械(共譯)	二六			
岡澤鶴治	酸性白土(共)	一五・一六	岡田信一郎	日本住宅及茶室	二五・二六	岡田陽一	鑛業日誌(共編)	一四七			
小笠原長生	帝國海軍史論	三〇〇	岡田信次	鐵道工學(共)	四〇・七	緒方九洲男	家庭用煉炭の硫黃固定試驗(共)	三九・三三			
小笠原美津雄	臺灣産鑛物一覽	一六六	岡田孝男	最近建築様式論(共)	二五・二六	梶炭の工業的利用(共)	三九	岡村森彦	測量學全書(編)	四	
岡島誠太郎	西洋古代文化の地理的環境	一五六	岡田武雄	常磐炭鑛誌(共)	一七二	岡部金治郎	眞空内電子現象ト其應用	一四	岡村幸雄	粉碎	一九四・二四六
岡島奈良藏	可鍛鐵鑛物	一六六	岡田竹五郎	橋梁論	七	オカム―オカワ			瀧過	一四・一九・二四六	
可鍛鐵鑛物の製造並ニセミスチ	一六六	岡田武松	氣候學	一五	岡村金太郎	海産植物の地理的分布	一五六	岡村要藏	内蒙古東部鑛物調査報文	一六六	
一ル鑛物の製造	一六六	氣象器械學	寫眞用建築	二四・二五	岡村峻兒	限軍刑法講義	三八	岡本勝三	機械工學實驗集	六	
高級鑄鐵	一六六	岡田哲郎	化學機械工作上に於ける熔接法の發達	一八・二四	岡村祐次	釀造經營法	三六	岡本節三	北滿洲に於ける電氣業	二八	
岡田章雄	天草の亂	二〇四・二〇五	特殊鋼の熔接	一九	岡村善策	油脂實驗法(共)	三六	岡本起	電氣鑄接	一八九	
岡田雅樂	小三角測量法	三六	岡田實		油質實驗法(共)	三六	電氣鑄接機器(共)	一八九			
平板測量法	三六										

岡本 越(續)

電氣熔接總論 一八九
電氣熔接法 九・八九

岡本東一郎

實踐上水道(譯) 三

岡本要八

臺灣鐵物調査報告 一六

岡山市役所

上水協議會議事録 三

岡山俊雄

山岳形に關する二三の問題 一八

岡山秀吉

金屬着色法 一〇

竹工・指物・玩具・挽物・彫刻・
塗裝・木工術 一〇

木材着色・ワニス・ペンキ・漆・
蒔繪塗物術 三

岡山善峰

道路工學及都市計畫 三

小川敬次郎

混凝土及鐵筋混凝土原理 二五・元
混凝土及鐵筋混凝土理論 元
混凝土及鐵筋混凝土理論應用 二六・元
鐵筋混凝土之設計及施行法 二六
土木施工法及施工機械 五・七

小川月舟

構圖の種々相 二二・三四

小川省吾

近世色染學綱要 三元
近世色染學實驗法 三元

小川清二

航空發動機 二九

小川晴陽

古美術寫眞 三三・三四

小川太一郎

航空讀本 八・三〇
飛行機 二七
飛行機(共) 三〇
飛行機工學 二九・三〇
飛行機工學 二七

小川琢治

內蒙古東部地勢地質一斑 一三
煙台炭坑及瓦房店炭坑調查報告 一七
煙台炭坑附近地質概查報告 一七
氣・水・石三圈の相互關係 一八
北支那のカムブリア層 一六
經緯鏡台に依る長石の識別法(共) 一七
支那古代地理學史 一五
盛京省南部地質及鑛産(共) 一三
地質學史(共) 一四・一五
地質現象の新解釋 一四
日本の水河時代に關する問題 一五
と其研究法 一五
復州五湖嘴炭田概查報文 一七

小川 亨

米國に於ける天然瓦斯利用の現況 三四

小川三知

モザイクク及ステインドグラス(二五・二九)

小川芳太郎

機械設計學(共) 八・九
蒸 汽 機 八・九
蒸 汽 機 八・九
練習問題解説 八・九

小川義朗

機械設計法 三

小川若三郎

電氣材料 一〇・一一
電氣材料の知識 一五

尾川岸太

浸透劑及浸透性試驗法 一五・一〇

尾川敬二

戰綱典令原則對照孫子論講 三〇

オキーオク

沖 巖

機械工業篇 七
水力學 八・九
水力機械 七
水力機械實驗法 一〇・九
ポンプ及水壓機 九

沖 爲成

土木建築工事數量の算出と
歩掛(編) 五・三六

隱岐熊男

日露戰役從軍叢話 三六

沖野定賢	造船業振興調査會調査報告(編)	二九四
	内地私立工場設備概要(編)	二九四
荻原清彦	糊附法と力織機(共)	三三三
荻原貞夫	砂防工事及林道(共)	三六
荻原俊一	河川工法(共)	五
荻生祖徠	鈴 録	三三四
	軍學不審問答	三三三
	軍法不審問答	三三三
	水 法	三三四
	素書國字解	三三九
	孫子國字解	三三〇
奥泉欽次郎	一般自動車講義	一〇一
	自動自轉車	一〇四
小串孝治	送電配電(共)	一三五
	電線及電纜(共)	一三六

奥島清太郎	飛 行	二七〇
奥田秋夫	鋼橋の理論と計算(共譯)	七
奥田芳男	建築計畫	三七
奥中恒一	遠距離受信エリミネーター 受信機設計と組合 無線電話受信機の製作及装置	二四 二四
小國巳一	建築工事仕様便覽(編)	二七
奥村順四郎	醸造學(共編)	三三
奥村省三	水力及水力機械	八九・七〇
奥村増貳	荒地弧度算法	三五
小倉金之助	圖計算及圖表	元

小倉伸吉	海洋學	二八
	水路部の事業	二五
小倉 强	サナトリウム 仙臺城の建築	二五・二六 二五
小倉 尚	都市の空中襲撃と其防禦	二五・二六
小倉正照	顔料・繪具及インキ(共)	二〇・三三
小栗孝三郎	海軍趨勢 帝國及列國海軍	三九 三〇
小栗捨藏	工業用水 製造化學總論 無機化學工業	一九・二〇 一九・二〇 一九
小栗吉隆	新しい室内装置と家具(共) 家具製圖(編) 和家具設計及工作・仕上法	二七 二〇 二二

尾崎久助	建築と火災 耐火建築 鐵骨構造(共)	二七 二七 二七
尾崎主税	海軍戰略(譯)	三三
尾崎行雄	軍備制限	三三
納 五平	硫酸製造装置	二四
大佛次郎	軍事探偵篇	一〇
小澤久太郎	上路補剛構桁を有する拱橋に 關する研究 本邦鋼道路橋衝擊係數に關す る一考察	四九・七〇 四九・七〇 四九・七〇

オサール

小野信雄	水力タービン	六
小野文英	臺灣糖業と糖業會社	三三
小野諒見	鐵道線路撰定及建設 鐵道線路の構造及強度	六〇
小野田セメント製造株式會社	小野田セメント製造株式會社 創業五十年史	五
小野寺長	和英對照電氣用語解説集	一〇六
小幡重一	音響實驗及測定法 實驗音響學	九・七・一八 一八
小濱重雄	戰時原料保障論	三八
小原龜太郎	顯微鏡による纖維研究法	三三
小原春孝	特殊鋼	一八三

尾本義一	照明工學實驗法 電氣機械取扱法	九・二四 九・二六
小宅千次郎	簡易電氣工學	二五
織本道三郎	梁之計算及圖表	五
オルソン(米)	應用音響學	一〇
王喜(元)	治河圖略	七
王樹枏(清)	歐洲列國戰時本末	三
王暉(清)	兵杖記	三五
王德均(清)	開煤要法 航海簡法	一三 二五

・オーオーコ

王璧文(民)	明代建築大事年表(共編)	二四
王鳴鶴(明)	登壇必究(編)	三〇
翁鴻業(清)	尉繚子直解(校) 三略直解(校) 司馬法直解(校) 李衛公問對直解(校) 六韜直解(校)	三七 三六 三六 三二 三三
翁文灝(民)	中國鐵產誌略	一五・一六
黃石公(泰)	奇門遁甲 素書	三六・三二 三九
歐陽元(元)	河防記	七
大井才太郎	電信及電話	一七
大井清一	滿蒙の水道	全

大石三郎	ジュラ紀 中世代の植物化石	一五・一六 一五
大石主計	最近大電力系統變電所の設計及 据付法	二六
大石開二	機械製圖學	全
大石義郎	コンクリート鋪裝	全
大泉龍之輔	建築工事概算作製の要項 建築工事設計便覽(編)	一五・一六 一七
大分市役所	大分市水道誌	全
大井上博	航空發動機(共) 自動車用機關(共)	一九 一四
大井上義近	石狩煤田地質調査報文 岩手秋田兩縣鐵業調査報文	一七 一五

大阪朝日新聞社

寫真集報 (三五)

府立大阪一等測候所

淀川出水豫報調査報告 (七九)

大阪繪具染料同業組合

染料讀本 (三九)

大阪工業學校

機械工學實驗集 (六)

大阪工業試驗所

大阪工業試驗所報告 (二五)

めちるあるこーるノ接觸空氣
酸化ニ依ルふゐるむあるでひ
どノ合成 (二〇四)

大阪工業大學冶金學教室

大阪工業大學冶金學科研究
報告集 (二四八)

大阪鑛山監督局

大阪鑛山監督局管内鑛區一覽 (一五)

大阪財務研究會

日本酒釀造法講義 (三九)

大阪時事新聞社

健康住宅設計圖案集(共) (二七)

大阪市

大橋橋淀屋橋意匠設計圖案集 (九)

大阪市工業調査書 (六)

大阪市水道擴張工事目論見書 (八五)

大阪市水道擴張誌及圖譜 (八五)

大阪市第三回水道擴張誌 (八五)

大阪市第四回水道擴張誌 (八五)

大阪城 (三六)

上水協議會議事錄 (三)

陸軍特別大演習記念特別展觀
圖錄 (三九)

大阪市橋梁課

大阪市橋梁寫真 (六)

大阪市港灣部

紐育港海陸聯絡設備
鐵筋混凝土計算規程 (三)

大阪市産業部

大阪の硝子工業 (三七)

大阪の織詰工業 (二四)

大阪のセルロイド工業 (三七)

大阪の電球工業 (三五)

大阪の絨力製品工業 (二七)

大阪市産業部(續)

大阪の鈕釦工業 (二七)

大阪の珐瑯鐵器工業 (二七)

大阪の莫大小工業 (三五)

大阪の洋傘工業 (二七)

大阪市水道部

大阪市第一回下水道改良誌 (八五)

大阪市電氣局

電氣事業成績調查書 (二九)

電燈市營の十年 (三三)

電熱利用文化臺所設計圖案集 (二四)

大阪市土木部

大阪都市計畫事業橋梁總覽 (六)

大阪市立工業研究所

大阪市立工業研究所業務年報 (三)

大阪釀造學會

釀造試驗法 (二六)

釀造諸表 (二六)

大阪商品陳列所

大阪府工業概覽 (六)

大阪築港事務所

大阪築港 (八)

大阪遞信局

管内電氣事業要覽 (二〇)

大阪電氣株式會社研究部

電氣銲接 (一八)

銲接研究 (一九)

銲接時報 (二〇)

大阪陶業株式會社

建築用テラコッタ (二六)

大阪府

工業調査書 (六)

戰時影響調查報告 (三三)

淀川筋大塚決潰遺懷記念講演集 (七)

大阪府學務部社會課

實地調査の結果から見た
大阪市内の住宅 (二六)

大阪府經濟部工務課

大阪府工業年報 (三)

大阪府工藝協會

金屬着色法等講習錄 (一〇)

大阪府立産業能率研究所 燃料及動力經濟講演錄 爐下熱ノ合理化講義錄	三三 一四	大澤壽一 光電管・セレンウム管の工業 應用(共)	一四・二四	大島義清(續) ガス 低溫乾留工業(共) 電氣化學工業ニ關スル調査 燃料及燃焼概説 燃料概説(共)	三三 三三・三三 三〇六 三〇 一九・三八	太田勤治 織物構造	三三・三三
大阪毎日新聞社 健康住宅設計圖案集	二七三	大澤與美 X線と其應用	二五	大杉齡次 實用セメント學(共)	二四	太田熊太郎 黄金鍛及び鋼鐵鍛に就て	一七
大阪毎日新聞社京都支局 京郊民家譜 播京郊民家譜	二六 二六 二九	大島貞益 土工術(譯)	七	大住吾八 絹紡織學 綿紡織(共)	二四 二四 二五	太田誠一郎 測量(共)	二四
大阪窯業株式會社 大阪窯業株式會社五十年史	三五	大嶋積水 臥榻兵話	三〇	大隅菊次郎 電氣機械 同期機	二二・二六 二二 二二	太田友彌 船體強弱學	二四
大澤一郎 換氣と冷房空氣調整裝置 建築衛生學(共) 建築機械設備(共) 建築工事用機械設備 斷熱建築 暖房換氣學(共)	二五・二五 二六 二七 二七 二五・二七 二六	大嶋太郎 製藥化學新藥篇(譯)	二四	大隅廷臣 矩術新書(編)	二五	太田廣太郎 硝子(共)	二六
大澤源之助 病院醫院の建築と其の設備	二八	大島滿一 水力發電所(共)	一〇・二四	大關増業 機械彙編	二五	太田正吉 木型工作法	一〇一
大澤三之助 家具 日光廟建築論(共)	二五・二六 二二・二三	大島義男 計量器	二五・二六	太田清 淡口醬油釀造法	二四〇	太田恭 北大東島試錐岩芯及大東石灰岩 の化學分析並に顯微化學的吟味	一五・一六

オートオート

太田義三	三四・三五
日露戰爭	
太田尾廣治	
基礎工(共譯)	五
大鷹恒一	
電氣機械器具	二六
大竹三七郎	
客貨車	六
大竹 巽	
構造強弱並計算法	二〇
新式規矩術(共)	二五
耐震耐火家屋構造	二七
大谷光瑞	
孫子新註	三〇
大谷武夫	
酵素研究法	三八
大谷壽雄	
古期岩層	一五
構造地質學	一六
地質圖學	一五

大谷保藏	三
實用測量術	
大谷義夫	
清酒火落菌の研究に關する轉	三九
近の趨勢	
オータヤ一ノ下	
日本工業論	五
大家同庵	
異船防禦建白書	三三
大塚樑三郎	
鐵道工事設計用諸表(共)	五
大塚專一	
越後國小千谷油田地質及地形	七四・七七
圖說明書	
越後國新津油田地質及地形圖	七四・七七
說明書	
越後國西山油田地質及地形圖	七四・七七
說明書	
越後國米山及郷津飛山油田地	七四・七七
質及地形圖說明書	
釜石四近鐵床地質調査報	七五
文	

大塚 博	三九・三四
ガス油の氣相熱分解	
クラッキング及其の方式	三八・三六
大塚眞夫	
電氣材料學	二五
大塚彌之助	
第四紀	一五・一六
地形發達史(共)	一六
大塚雄二	
受信真空管	一九・二四
電球及真空管(共)	二五
大塚嘉樹	
刀劍略說	三四
大槻玄澤	
銃砲起源考	三四
大槻盤溪	
呂宋國漂流人記	三三
大槻 喬	
工場設備	二

大築洋之助	一五
實地地質學	
大友喜作	
對露國防の濫觴	三二
大友 博	
航空發動機	二九
大鳥圭介	
石炭 編	一七
鳳 秀太郎	
鳳氏交流工學理論階梯	二〇・三二
高壓絶緣論階梯	一三
交流整流子電動機	二〇・三三
交流理論	二〇・三一
波動振動及避雷	二二・三一
變壓器及誘導電動機	二〇
オニオン	
大西 巖	
輕金屬及合金の熔接	一八・八九
特殊金屬及合金の熔接	一八九
銅及其合金の熔接	一八九

大西茂彦	燃燒と燃料能率(編)	三〇	大林組(續)	工事畫報	二五	オーム社(續)	全國大發電所一覽	三三
	燃燒能率展覽會報告書(編)	三〇		某活動寫真館設計圖	二五		電氣工學質疑應答集	二〇六
大貫龍城	機械工學寶典(編)	六	大日方一司	X線金相學	二六	大村一藏	電氣工作物規程	二〇六
大沼文哉	衛生工學(譯)	三	大藤高彦	構造強弱學(共)	二〇	石油地質學	和英獨電氣術語大辭典	二〇七
櫻 寧	硝石製鍊法	二四	大船田園都市株式會社	田園住宅圖集	二九	石油地質學通論		一五四・五六・一七
大野 諫	橋梁汎論	七	王 普 爾(蘭)	泰西王氏鈔譜	三四	大村欣次郎	空氣を利用した乾燥學	一五
大野 博	現場コンクリートの強度及之に及ぼす施工條件の影響に就て(共)	四	大前憲三郎	陸地測量學(共)	七	大村四郎	大大阪橋梁選集(共編)	六
	計案	四七・六	大町芳文	酵母の科學及利用	二六	大元政一郎	鐵塔と其設計(共)	五
	鐵筋混凝土道路橋設計資料	四七・六	澱粉の科學及利用	二六	大森 丙	電話學	二一・二七	
	鐵筋コンクリート無鉸拱の經濟的及耐震的設計	三・四	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	大屋靈城	設計及監工師公園及運動場	八三
	府縣道鐵筋コンクリート丁桁橋標準設計案	四七・七〇	オーム社	最新電氣通信工學講座	二六	庭本位の小住宅	肥前陶窯の新研究	二六四
			新興電氣工學講座		二〇	大宅經三		二五
			御大禮御造營工事記念寫真帖		二五			
大野三行	パンガロー式明快な中流住宅	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	大屋靈城	設計及監工師公園及運動場	八三
大場彌平	防空讀本	三五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	庭本位の小住宅	肥前陶窯の新研究	二六四
大橋四郎	灘酒の發達と酒價の今昔	三九・四〇	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	大宅經三		二五
大橋房徳	變壓器	一〇・三〇	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大橋又太郎(乙羽)	住居と園藝(編)	二二	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大橋安三郎	電氣煖爐	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大橋良一	鑛物岩石鑑定要覽	一三	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大林雄也	工藝製作物産及鑛業(編)	二七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大林組	大阪松竹座設計圖	二七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	大阪會根崎新地歌舞練場設計圖	二七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	御大禮御造營工事記念寫真帖	二五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大林組(續)	工事畫報	二五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	某活動寫真館設計圖	二五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大日方一司	X線金相學	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大藤高彦	構造強弱學(共)	二〇	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大船田園都市株式會社	田園住宅圖集	二九	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
王 普 爾(蘭)	泰西王氏鈔譜	三四	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大前憲三郎	陸地測量學(共)	七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大町芳文	酵母の科學及利用	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
澱粉の科學及利用	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二				
大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
オーム社	最新電氣通信工學講座	二六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
新興電氣工學講座		二〇	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
オーム社(續)	全國大發電所一覽	三三	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	電氣工學質疑應答集	二〇六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	電氣工作物規程	二〇六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
	和英獨電氣術語大辭典	二〇七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大村一藏	電氣工作物規程	二〇六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
石油地質學	和英獨電氣術語大辭典	二〇七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
石油地質學通論		一五四・五六・一七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大村欣次郎	空氣を利用した乾燥學	一五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大村四郎	大大阪橋梁選集(共編)	六	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大元政一郎	鐵塔と其設計(共)	五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大森 丙	電話學	二一・二七	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大屋靈城	設計及監工師公園及運動場	八三	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
庭本位の小住宅	肥前陶窯の新研究	二六四	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			
大宅經三		二五	大見鏡一	ペイント製造及検査法(共)	二二			

外務省亞米利加局	一〇	鏡山 猛	三六	影山穂作	三	笠原敏郎	二九・九三
米國石油業概觀		怡土城趾の調査		測量術講義		建築法規	
外務省歐米局	一七	加川千義	三七	影山録次郎	三七	都市計畫	二五・二五・九五
羅馬尼ノ石油		明治三十七八年戰役記念地圖		屋内配線工事		加治川水害豫防組合	
外務省調査部		郭 子(明)	三三	鹿兒島縣	八	加治川治水沿革史	七
石油ニ關スル調査	一七	劍 記	三三	鹿兒島港灣擴張工事調査書	八	梶島二郎	
石油の問題	一七	學術研究會議工學研究委員會		鹿兒島築港誌	八	工業數學	一六
化學機械協會		工學研究機關に於ける研究項目	二	丁丑亂概	三〇	鹿島清二郎	
化學機械協會年報	二〇	分類表		雅骨夫微示列水(蘭)	三三	林業と代用液體燃料に就て	三三
化學工業調査會		角田貞治	二九	遠西火攻精選	三三	鹿島萩麿	
化學工業調査會錄事	一八	榻炭の工業的利用(共)	三〇	笠井 完		ジレットランド海戰史論	三二
科學知識普及會	一九	家庭燃料の着火並に燃焼試験(共)	三〇	電磁及陰極線オシログラフ	九・二三・二八	華 城 會	
圖解化學工業		泥炭及鋸屑の利用(共)	二八・三三	陰極線オシログラフ	二七・四四	大阪府廳舍府會議事堂競技設計	二七
加賀美武男		角田吉雄	二五	香西成資	三六	圖集	
電氣鐵道(譯)	一五	化學工學及化學機械(共)	二五	武學提要		櫻 葉 會	
各務米次郎		革而得兒(蘭)	三三	柳場重男		木工と裝飾	一〇一
外線工事	三七	城保攻守沿革編	三三	蒸汽罐及蒸汽機關	八九・九四	柏 茂 樹	
送電及配電(共)	三五	西洋砲術火具篇補遺	三三	蒸汽タービン	八九・九五	天然色寫眞術	三三・三三
電氣機器と其取扱の實際	二六	景山 質	三三	笠原治郎作	三〇	柏木好三郎	
		水力電氣	三三	絹染色講義錄	三〇	電氣學講義	三三

柏原方勝

金屬塑性學(共)

一八六

春日 進

煙道瓦斯計(共)

三八

有煙燃料用煖爐に就て

三九・三三

Lancashire 汽罐の手焚試験(共)

三九

春日井晋吉

建築法規(共)

二九三

敷森敏郎

壓縮機

八九・九九

空氣・瓦斯壓縮機の理論と實際

九九

高壓空氣壓縮機計算法

九九

送風機

八九・九九

糟谷美一

寫眞術之化學(編)

二九

加瀬 勉

貴金屬及其合金

二六・二二

金屬と人生

一八

金屬の腐蝕と其の防蝕

一七

鋼の表面硬化法

八九・一三

カタ—カト

賀田立二

褐炭の工業的利用(共)

三九・三三

家庭燃料の着火並に燃焼試験

三九・三三

(共)

三九・三三

家庭用煉炭の硫黄固定試験(共)

三九・三三

乾留温度による木炭及び骸炭類

三九・三三

の吸濕性の變化

三九・三三

泥炭及鋸屑の利用(共)

三八・三三

獨逸褐炭工業

三八・三三

本邦褐炭の性狀並に吸濕性

三九・三三

片岡秀吉

計算尺の原理及び使用法(共編)

一六

片岡 稔

空 襲

三五

片岡 安

都市と建築

二五〇

片木久吉

交流理論

三三

片島武矩

武藝調抄錄

三三

武備和訓

三〇二

片山敷夫

電力制御装置と配電盤(共)

二六

片山健次郎

三

材料力學(共譯)

三

片山三平

平板測量法

六

片山徹吉

壓縮に依る木材増強法の研究(共)

二四

片山信夫

鑛物資源便覽

一六五

片山正夫

豊田研究彙報第五輯の發行に當りて

二〇六

勝 安房

海軍歴史

三〇〇

勝 安房

陸軍歴史

三〇〇

勝里布(獨)

三兵答古知幾(共)

三三

勝尾信彦

青島戰役

一〇五・一〇九

北清事變

一〇五・一〇九

勝田貞次

戰時化學産業讀本

二四六

勝田 一

工場設備

二

勝田康雄

撮影禁止區域解説

三三

密着印書法(共)

密着印書法(共)

三三・三三

勝目 英

醸造機械學

二八六

勝盛豊一

自動車

八九・〇三

勝山政次郎

鐵道技術必携(共)

六

葛 爾 旬(爾)

海上砲術全書

三三

門岡速雄

航空・航海と無線方向探知機

一四・九五・三〇〇

ト—キ—(共)

無線工學

九・一六

無線工學

無線工學

一六

門岡速雄〔續〕	無線電信電話概論	二四〇	揖取松若	珪藻土を助劑とする濾過に就て	二四〇・二四六	加藤順吉	コンクリートの配合法	二六	加藤武夫〔續〕	鑛床學總論	一五七・一六七	
無線電話の指針	二四〇	加藤鐵郎	機械工學總論(共)	六	加藤二郎	界面電解	二五・二〇八	鑛床地質學	一六七	新編鑛床地質學	一六七	
農林測量學教科書	二六	加藤次郎	流體力學と翼並に水力機の理論(共)	二九	加藤次郎	日米獨の示方書に依り鐵筋コンクリート構造物の安全率を論ず	五	動力地質學(共)	二五・二五	內因的地質學力篇	一五	
門倉三能	二七	加藤和夫	實用建築設計々算例集上(共編)	二七三	加藤信一	寫眞術階梯	二〇	萬國地質學會議	一五	加藤長四郎	會津鶴ヶ城御本丸明細全圖(編)	三六
結晶計算法	二五	加藤葵石	靜物寫眞の作り方(共)	二三	加藤成一	最近の商船設計建造及修理	二四	加藤正澄	最近的航空機(共)	三〇	會津鶴ヶ城御本丸明細全圖(編)	三六
北滿金鐵資源	二四	加藤健	支那の石炭(譯)	二七	加藤政司郎	海戰史論(共譯)	三三	加藤安太郎	アンテナ	一四	戊辰若松城下明細全圖(編)	三八
理論岩石鑛物學	二四	加藤高臥	加藤機械工學	六	加藤盛次郎	乗合自動車	一四	空 中線	一九・九一	加藤與五郎	化學工業大要	一九
門倉則之	二七	加藤秋	映畫館の建築計畫	二三	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤與五郎	自己放電防止鉛蓄電池(共)	二〇・二〇八	電氣化學	一〇・一〇五
建築と照明	二二・二三	加藤重一	保護繼電器	三六	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣專門家の電氣化學	二五	電氣化學	二五	
電燈照明	二二・二三	加藤盛次郎	乘合自動車	一四	加藤誠平	橋梁美學	七	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
電熱	二二・二三	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
門多榮男	二六	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	加藤誠平	橋梁美學	七	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
代用品工業(共・編)	二六	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
門多道別	二六	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	加藤誠平	橋梁美學	七	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
砂鐵ノ電氣爐製鍊試驗(共)	二六	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
門馬豐次	二七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	加藤誠平	橋梁美學	七	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
北越石油業發達史	二七	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
香取秀眞	二八	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	加藤誠平	橋梁美學	七	電氣化學	二五	電氣化學	二五	
金工史	二八	加藤誠平	橋梁美學	七	加藤武夫	外因的地質學力篇(共)	一五・一五	電氣化學	二五	電氣化學	二五	

加藤與五郎(續)

鉛アンチモン合金の水素過電壓

(共) 二〇六

鉛及び鉛アンチモン合金の

水素過電壓 二〇六・二〇八

理論應用電氣化學 二〇五

加藤芳夫

自動車工学(共) 一〇三

加藤蓄二

工学フランス語 九

加藤木重教

日本電氣事業發達史 三三

河東出辰雄

製絲詳説 三三

カナカへ

金井三郎

土木工学橋梁編 七

金井武一

飛行機及自動車講義 一〇三・一〇〇

金井彦三郎

橋梁工式(編) 九

結構公式(編) 七

材料強弱(編) 五

水理公式(編) 五

測量公式(編) 三

土木工学結構編(共編) 四

道路公式(編) 七

木橋設計便覽(編) 七

金尾忠義

内燃機關 八・九

神奈川縣總務部

工業調査書 六

神奈川縣廳舎建築事務所

神奈川縣廳舎競技設計圖集 二七

金澤兼光

和漢船用集(編) 二九

金澤重威

司法寫眞 三三・三四

金原淳

空電並に其除去法 二九・三四

無線電信電話學 二二・二四

金森錦謙

鐵道鑄造圖(譯) 二七

金丸重嶺

商業寫眞の作り方 三二・三四

金山秀一

テレウキジョン装置の製作法(共) 二四

金子恭輔

電氣製鐵・製鋼法(共編) 一八

金子源一郎

下水工学 八

金子清吉

日本住宅建築圖案百種 二七

日本住宅雜作圖案五百種 二七

金子登

水力 三

金子英雄

絹絲化學 二四

製絲化學 二三

金子 柱

自動車の速度に及ぼす車線幅の

影響に關する實驗並に之に基く

鋪裝幅員の決定に就いて 四九・六四

兼松義隆

農地測量學(共) 三

可野信一

權太の鐵業 一五〇・一五七

狩野春一

建築材料 二六五

鹿野 寧

微細粒子現像處理法 三三・三四

加納儉二

久大西線筑後川橋梁架設工事報

告(共) 六

加納盛吉

機械運動學 八

加納四十二

家具の實用工作法 二九〇

蒲 孚

河川工学 七五

砂防工学 七六

鑄木徳二 煙害鑑定法(共)	一七〇	鎌田 稔 炭素の燃焼による直接起電燃料 電池(共)	10K・10K	神津康人 制動装置	九・五	龜井陸良 足尾銅山豫防工事一班(編)	一七〇
火兵學會 最近の精密機械 最近の精密機械(共)	101 102	加美好男 最近人造絹絲工業概説	106	神谷六郎 傳送回路網學(共)	一七	龜田吉郎平 和洋建築軒枅法圖解	一七
カペイキン(露) ソ領極東地域に於ける新建築材料	125	神尾敬一 超短波の發生と應用	139・141	上領純一 本邦化學工業之進歩(編)	196	龜田晴二 實用測量學(共) トラバー測量	三 三
カマ―カレ							
鎌塚 明 木材の糖化及利用(共)	124	神門久太郎 製圖用文字及圖譜集(編) 立體圖學	14 16	龜井三郎 乾 燥 乾燥の研究 空氣の調濕・乾燥・抽出 固體輸送 蒸發・蒸溜及乾燥 透折器に關する研究(共) 本邦化學機械工業	152・154 153・154 155・157 158・159 160・161 162・163 164・165	龜山直人 化學工業概論 化學工業總論 乾電池陽極活物質の性質及 調製法に關する研究 寫眞感光の原理 電氣化學 電氣化學工業 電氣化學の理論及應用 電池及蓄電池	19 19・197 202・207 210・214 215 215 215 199・206
鎌田 彌壽 寫 眞	129	神藏 信雄 航空發動機的设计	149	龜井重麿 河川工事要覽 工師の友 市町村の水道 實用土木便覽 實用土木便覽 石灰及セメント使用法(編)	15 15 16 17 18 18 18	鳴居 武 最新寫眞術 電氣鍍金術(編)	210 210
鎌田魚妙 本朝鍛冶考	126	神津輝人 製糸法講話(共)	133	龜井 昱 防海微言	133・135	鳴志田兼吉 混攪土工事の實際	216
鎌田賢三 千圓以下で出来る理想の住宅	125	神津 叔祐 驚くべき圓錐形岩床と環狀岩脈 の發見 礦物のX線現象(共) 造岩礦物論 窯業原料礦物(共)	127 127・128 127・128 127・128				
鎌田 武 建築の最近施行法 建築の最近施行法イナランデータ― 建築の最近施行法	129 129						

蒲生秀實
奉吉田宰相書 三三

茅 誠司
金屬電氣材料 二六・二六
磁性體論 二二

辛木貞夫
市場建築 二五・二六

柄澤郡治
神崎川分流に關する模型實驗 (共) 四九・七〇

樺太廳

内瀧炭田川上炭田 一七
樺太炭田調査報告 一七
樺太油田地質調査報告 一七
北樺太炭田調査報告 一七
西海岸北部地方 一七
露領樺太ニ於ケル石臘油調査書 (譯) 一七

樺太廳長官官房
食品論(編) 二四

樺太廳長官官房調査課
鐵山名簿 二五

樺太民政署
樺太鑛産調査概報 一〇

刈屋他人次郎
實用工業數學(共) 六

伽禮斯知案遠兒天(獨)
砲術基礎 二四

カワ―カン

川井 一
材料強弱學 三

河合毅一
ポイントとクロッシング 六

河合賢次
市街電氣鐵道 二〇・二五

河合佐兵衛
銅鐵大觀(編) 一五

河合信次
工匠技術之懷 二六

河合 匡
機械工場用金屬材料 二〇
金屬材料 二七・二九

河合銅商店
東郷ハガネ虎の巻 一八

河合 信
新撰土木工學全書(共) 四

河合義安
繭纖維の構成並に性状に關する實驗的研究 二四

川上邦基
桂離宮御寫眞及實測圖(編) 二五
仙洞御所修學院離宮御寫眞及實測圖(編) 二五
二條離宮御寫眞及實測圖(編) 二六

川喜田煉七郎
家具と室内構成 二九
モダン小商店設計グラフ 二七

河喜多能一
電磁氣測定及測定器(共) 二七

川口徳三
色素製造化學 三九

川口虎雄
土木工學(共) 四〇・四一

河口協介
上水工學 四〇・四一

川越 溫
鐵道線路と建造物 六

川崎工場
川崎工場畫報 四

川崎繁太郎
朝鮮の金鑛 一五

川崎造船所
川崎造船所四十年史 二四

川崎千虎
尙古鎧色一覽(校) 三三

河津七郎
建築工事仕様見積(共) 二七
仕様見積(共) 二七

川下研介
工業熱力學(譯) 一八

川田正秋	機械部分設計	八九・九三	川畑健雄(續)	土木工事用金屬材料分析試驗(共)	〇	川村多實二	有用動物の分布	一五	韓	奕(清)	三四
	機械部分の締結法(共)	九二・〇二		道路舗装用タール乳劑に關する	〇					海防集要(編)	
	機械要素(譯)	七		研究(共)	〇・七	河村 協	道路橋設計實用表	九	關	天 培(清)	三四
	捲掛傳動裝置	九二・九三		普通・早強・中庸熱・珪酸質・混合			道路橋の設計	九		籌海初集	
	摩擦傳動裝置	九二・九三		セメント及高爐セメントに關		河村公敬				官家壽男	三三
	冷凍關係の最近の研究	二四・二六		する比較試驗(共)	二五・〇	大淵表解(校)				電氣事業公私共同經營論	三三
河田三治			川端滿三							關西道路研究會	
航空力學	二九		接 合 劑	二〇三・二〇四		河村信一	礦物學地質學講義	一五・一六		橋面舗装調査報告書	六
プロペラ	二九・二九九		川原兵一			石 炭	地質界の現象	一五		關西道路研究會コンクリート	
河田 英			橋梁工學	七						舗装調査委員會	
金銀探鐵法	一六		土木製圖・設計法	五・六		河村文一	工業分析法	二		コンクリート舗装調査報告	六
川名孝次郎			河原一郎			工業分析法	二			神田勝久	三三
水理學要義	七		染色 法	三〇		工業分析法	二			六額俚諺鈔(編)	三三
川西正鑑			河邊 浩			川本良雄	加熱爐ノ構造	一九		神田孝一	三二
化學機械工業の展望	二五・二六		成層式”B“乾電池の製作研究	一〇三・一〇四		川原田政太郎				世界列強戰備比較論	
化學工業及化學機械工業の展望	二五・二六		(共)			直 流 機	一三〇			和蘭王兵學校提書(譯)	三九
川畑健雄			川村一水			テレビジョン(共編)	一四			神田孝平	
河水のポルトランドセメントに			土壤化學	一五		電氣機械	二二・二六			神田選吉	三三
及ぼす影響(共)	七・七五		川村清一			誘導電動機	一三			初等電氣學	三三
種々の土木工事用材料に關する			我邦ニ於ケル木造洋風家屋ト其							實用電氣學	三三
試驗(共)	〇		腐朽	二七							

神田選吉(續)
電氣工學便覽 二五

神田白龍子
和漢武家名數 三七

關東州廳土木部
關東州に於ける水源調査報告書 三三

關東廳遞信局
電氣事業要覽並瓦斯事業要覽 二〇・三四

關東都督府
上水協議會議事錄(共) 三三

關東都督府民政部
東部内蒙古鐵產調査復命書 二五
南滿洲鐵產調査復命書 二五

勸業局地質課
内國地質調査施行之主意 一〇

神原 周
ロムとロム類似物 二四七

キーキヌ

魏 禧(清) 三三

兵 跡(編) 三三
兵 法 三三
兵 謀 三三

機械學會
機械學會雜誌 六
機械學會事務報告 六
機械學會論文集 六
機械工學術語集 六
機械工學便覽 六
國産機械圖集 六
座談會速記及資料 六
蒸汽表及び線圖 六

企 畫 院 三三
佛國軍需工業國有法令 三三

汽 罐 協 會 三三
汽罐取締令解說 三三

鞠 清遠(民) 六
唐宋官私工業 六

菊田善三 七
計算表 七

菊田多利男 一六
鑄物本質論 一六
可鍛鑄鐵 二六・一六
鐵鋼學上より見たる日本刀 三三

菊地五郎 一〇
自動車工學 一〇

菊地修一郎 二六
素人にわかる住心地よき住宅と庭園 二六

菊地常武 七
和英對照機械用語解説集 七

菊地嘉美 三
測量學解説 三
土木材料學解説 三
道路工學 三
道路工學設計及施工法 三

菊池 純 三〇
讀史戰論 三〇

菊池英彦 四・三
發電水力學 四・三

菊池正士 二五
陰極線 二五

菊池 安 一六
鑄物學教科書 一六

木子幸三郎 二六
日本建築圖集 二六

木子清敬 二六
日本建築圖集(校) 二六

木越 進 二六
世界優秀船圖說 二六

岸 一太 一六
最新鋪道學 一六
實驗鐵冶金學 一六

岸井 堯 二六
螺 絲(編) 二六

岸田日出刀 二六
莖 二六
歐洲近代建築史 二六
海外に於ける建築界の趨勢 二六・二五
外國に於ける住宅敷地割類例集(共編) 二六
過去の構成 二六
現代建築大觀(編) 二六
建築(共) 二六
建築寫真 二六・二四

岸田林太郎 建築法規(共)	三五	北浦重之 中央煖房装置	三五・三六	北尾鏡之助 風景寫眞撮影法	三二・三四	北村佳逸 孫子解説	三九
岸野佐吉 線 引	一七	北尾春道 圓滿院宸殿	二六・二七	北岡 馨 非 金 屬	一五	北村寒吉 懸賞應募蓄電池見本に關する 實驗(共)	二〇六・二〇七
岸原三郎 建築計算寸法便覽(共)	二五	勸修寺書院	二六・二七	北川勝夫 滿洲に於ける硝子工業	三七	第二回懸賞應募蓄電池見本に 關する實驗(共)	二〇六・二〇七
稀書複製會 御ひいなかた 大伽藍寶物鏡	二七 二八	觀智院客殿	二六・二七	北澤武男 選鑽學(編)	一八〇	第三回懸賞應募蓄電池見本に 關する實驗(共)	二〇七
木塚大吉 鋼の焼入秘法	一八	觀音寺書院	二六・二七	選鑽法草案	一八〇	蓄電池木製セパレーターの 浸透度に就て	二〇六・二〇八
喜多卯吉郎 羊毛紡績	二五	近代數寄屋名席聚(編)	二五・二九	北澤貞吉 下水工學	一四	電池及蓄電池(共)	二〇六・二〇八
喜多源逸 ウイニコース式人造絹絲(編)	二五	數寄屋建築構造聚(編)	二五・二九	北田宏藏 解析地圖投影法	一五	北村末造 水銀整流器の理論と應用	二二三
工業藥品製造法	二〇	數寄屋住宅聚(編)	二五・二九	地圖投影法	一五	水銀整流器の理論と實用	二二三
石油代用液體燃料	二五	數寄屋名園聚(編)	二五・二九	木谷西一 濕度測定法	一〇・一八	北村德太郎 庭 園	二五・二九
油脂化學及試驗法(編)	二六	數寄屋名席聚(編)	二五・二九	北畠顯正 材料力學(共譯)	三	吉 天 保(宋) 孫子十家注(編)	二〇〇
有機製造化學(共)	一五	大覺寺正寢殿	二五・二九			ギッピンス(英) 英國工業史	七
有機製造工業化學(共)	一五	大通寺書院	二五・二九				
		床の間の構成	二五・二九				
		南禪寺方丈	二五・二九				
		本願寺書院	二五・二九				
		曼珠院書院	二五・二九				
		妙喜庵書院	二五・二九				
		妙法院書院	二五・二九				
		靈雲院書院	二五・二九				

軌道研究會

特殊分岐器 六〇

絹川太一

本邦綿絲紡績史 二三四

木下淺吉

アミノ酸製造法(共) 二〇三

安價原料醬油醸造法 二四〇

醬油醸造法 二四〇

醬油・味噌・アミノ酸 二四〇

味噌醸造法 二四一

木下龜城

英和和美礦物辭典(共編) 一六三

岩石礦物及鑛床の顯微鏡研究 一六三・一六七

鑛 一六三・一六四

輓近礦物學(共) 一六四

木下恭二

亞鉛酸アルカリ蓄電池に關する 一〇六・一〇七

二・三の實驗 一〇六・一〇七

アルカリ蓄電池用ペーステッド 一〇六・一〇七

型酸化銀陽極板に關する 一〇六・一〇七

研究 一〇六・一〇七

銀電池に其化合物を活物質主劑とする電池について 一〇六・一〇八

第二回懸賞應募蓄電池見本に關する實驗(共) 一〇六

木下恭二(續)

第三回懸賞應募蓄電池見本に關する實驗(共) 一〇七

鉛蓄電池極板の放電に伴ふ重量變化 二〇六・二〇八

鉛蓄電池の陰極板に及ぼす卑金屬硫酸鹽の影響 二〇六・二〇八

鉛蓄電池の放電終止電壓に就て 二〇六・二〇八

鉛蓄電池陽極板に及ぼす卑金屬硫酸鹽の影響 二〇六・二〇八

ペーストの組成と陰極板の容量 二〇六・二〇八

木下隆博

陰極線管に依る諸測定 二二七・二二九

高電壓實驗法 九・二二・二三

木下武之助

鐵道曲線測量表 五

復興局橋梁設計計算書集(編) 七

木下義俊

武用辨略 三四

木原英一

線路及停車場 六

岐阜縣稻葉郡用排水普通水利組合

岐阜縣河川變遷圖 七

ギブソン(英)

近世應用電氣學 一〇

君島武雄

ム工業 一九・二四七

君嶋八郎

海工 六

河海工學 七・七五・七八〇

河工 七

氣象 五

渠工 五

測量學 三

大測量學 三

地下水 五

地表水 五

道路學一斑 三

君塚淺治郎

英國石炭及煉炭事情 一七三

木村伊兵衛

小型カメラ寫眞術 二二・二三

木村榮二郎

劇場・映畫館 二五・二九

木村英太郎

電氣機關車工學(共) 一〇

木村延二郎

アミノ酸製造法(共) 二〇

木村久甫

劍術不識篇 三九・四一

本識三問答 四一

木村金太郎

雜話及學語簡易製法 二四

木村健二郎

合稀有元素鑛物 一七・二六

木村幸一郎

建築と日照 二五・二六

住宅の平面計畫(共) 二七

日照及氣象 二五・二六

ビザンチン文化と建築(共編) 二六

木村貞吉

特別保護建造物綜覽(編)

二六〇

木村駿吉

イムピーダンス

二二

磁気及電気

二三

ダクテル・タンダステン^の發明

(編) 七

ポテンシオメートル

二二・二七

レジスタンス

二二・二七

木村尙一

本邦無軌條電車の實績

一〇四

木村季治

熱量標準藥としての安息酸に

就て(共) 二〇四・三六

ポンプ熱量計に関する參考事項

(共) 二二五

木村忠雄

油母頁岩工業

二二五

木村 乾

石油試験法

二七

木村増太郎

日本の糖業

二四三

木村 源

セメント工業に関する調査(共) 二・三五

分析成績彙集(共) 二・三三・三六・三九

木村彌藏

料金制 二〇・三三

木村喜之

砂糖製作記 二四

木村律郎

海軍衛生 三〇

木村和三郎

脂肪酸誘導體の研究 三七

獨逸油脂工業標準試験法(譯) 三六

木本氏房

寫眞測量 三六・三四

キヤーキ

歸山教正

活動寫眞 三〇・三四

トーカーと天然色映畫 一〇

キャンベル

光電管(共) 一四

虬 鑿(荷)

泰西七金譯說 一五

義勇財團海防義會

海防義會十五年史 三三

九州鐵道管理局

軌道整備規程施行細則附屬圖面

(編) 六

筑豊石炭ト鐵道統計圖

一七

許 倫(明)

九邊圖論 三六

玉 葉 會

獨逸の建築 二六

教育總監部

教育總監部所管學校統計年報 三六

教育總監部統計年報 三八

瀧圖教程 一八

陸軍將校生徒及士官候補生召募

統計 三八

共益商社

鐵道軌道論(譯) 六

狂愚陳人

和戰得失辨 三七

協調會

全國主要工場鑛山名簿 二五

京都化學々士會有志

故理學士小玉新太郎君遺稿集 七

京都高等工藝學校

京都高等工藝學校學術報告 三

京都市

京都市三大事業工事一斑 八

京都市三大事業誌 八

京都市上下水道工事

京都市區區區區取調書 八

上下水道工事

京都市區區區區取調書 八

京都市區區區區取調書 八

京都市觀光課

京都の古建築 二九

京都市事業部

京都市水道要誌 全

京都市電氣局

京都市電氣事業沿革誌 三三

京都市土木局都市計畫課

京都市都市計畫基本圖

三

京都帝國大學化學研究所

化學研究所講演集

一六

京都帝國大學工學部工業化學

教室喜多研究室

人絹工場の設計と機械設備

三六

京都帝國大學工學部中央實驗所

工學研究

二

京都帝國大學日本化學纖維

研究所

日本化學纖維研究所講演集

三三

京都電氣株式會社

屋內電熱工事仕様書

京都電氣株式會社始末

三三

京都府

近畿防空演習京都府記錄

三五

共立社

化學機器材料

化學工學講座

高等機械設計

三三

一六・一六

共立社(續)

實驗工學講座

實修機械工學講座

實地工作法講座

實用機械工學講座

應用金屬材料講座

實用製造化學講座

寫真科學講座

電子工學講座

內燃機關工學

無線工學講座

橋梁研究會

橋梁研究會パンフレット

メートル式に依る鋼鐵橋梁設

計資料

橋梁圖刊行會

東京市ノ橋梁

桐淵助藏

金屬の銲接及截斷法

桐生高等工業學校

桐生高等工業學校學術報告

キルヒホフ(獨)

竹組の力學

ギレスビー

土木工學道路篇

キーン

指向受信と方向探知

金(德純(荷)

旗軍志

金(楷理(米)

航海簡法(譯)

金屬鑛業研究所

鑛煙ノ稀釋ニ關スル試驗報告

電氣收塵法に關する研究報告

近代建築畫譜刊行會

近代建築畫譜

クサーケレ

日下耀山

鑛業家要覽(編)

最新鑛業家要覽(編)

草鹿紙祐吉

甘蔗糖及瓜哇製糖論(譯)

甘蔗糖及其製造(共譯)

日下部景衡

本朝軍器考集古圖說(編)

日下部東一郎

自動車庫(共)

日下部義太郎

金剛石試錐論と上總掘試錐法

草場信義

近世模範建築圖集

草間 偉(偉瑛武)

上下水道

土木施工法(共)

草間秀雄

滿洲の探金に就て

久次米三夫

日滿技工の技能比較と滿洲國機械工業私見

故鯨井恒太郎教授記念事業委員會

鯨井教授の研究と發明

楠瀬雄次郎

無線工學理論

無線通信工學(共)

楠 宗道	河	三	國富信一	地震講話	三・三五	窪田重弼	鑛山事業物語	一七	久美會	家屋耐震構造論	二七〇	
楠本吉次郎	躍進する我國の羊毛工業	三五	國友 孝	實用土木設計々算例集(共編)	五・三七	窪田清音	海戰布策	三・三一	久米武夫	寶石辭典	一六五	
葛山鐵造	實用鐵筋コンクリート工學	元	久原躬弦	化學と鑛物	一六	熊谷直記	硬化油	一〇一・三七	久米福衛	現象法	二二・三四	
測量設計實用表(共編)	鐵筋混凝土設計實用表	三〇	久保 進	交流理論	三	阿川義廣	武器考	三四	現像法	クラインローゲル(獨)	二六・五三	
朽木義男	空氣よりの製品	一〇一・〇九	久保俊彦	水銀整流器(共)	一三	熊代健作	武教全書講錄	三〇一	クラウゼヴェイツ(獨)	冬のコンクリート	二七・五三	
屈 伸 舍	和漢軍書早合點	三〇三	窪川得三郎	雪景及山岳の撮し方	三二・三三	神代健作	熊田健一	纖維防水防火加工法	三三・三六	倉島 謙	清涼飲料水製造法	二四
工東信吉	機關實驗	六・三九	久保田圭右	高等立體圖學	元	隈部 一雄	最新工業製圖法	六	倉田音吉	木船構造學	二九四	
燃料及ヒ氣管力ノ溫度ニ就テ	噴射壓力試驗に就テ	六	製圖者必携	久保田鶴雄	鑛業要鑑	一七	内燃機關	内燃機關學	六	倉田新之丞	運轉經濟論	八九
工藤武夫	滿洲の莫大小工業	三三	窪田三郎兵衛尉	築城記	三五	熊本遮信局	管内電氣事業要覽	二〇	藏田周忠	現代建築	二五〇・五三	
クニッファー(獨)	獨國民間防空(共)	三五							建築論	ルネサンスの文化と建築(編)	二四九・五三	

久良知正二郎

—施工計畫及施工設備 二五・二七・二九

藏野敏雄

—乾電池用二酸化マンガンに關する

—研究(共) 二〇

倉橋藤治郎

—化學工學最近の進歩(編) 一九

—最新日本工業通論(共) 五

藏前工務所

—市街地建築物法 二五

栗岡 薫

—單徑間無銹橋鐵筋混凝土アーチの設計法 九

栗塚又郎

—機關車 四

栗田讓一

—輓近電氣鐵道 一五

栗原嘉名芽

—建築に關する音の科學と藝術 二二

栗原鑑司

—瓦斯及其副産物工業 三三

—石炭乾留工業 三三

—燃料工業 三八

栗原浩三郎

—低溫タールの成分に關する研究(共) 三八

栗原信充

—弓箭圖式 三六

—軍防合講義 三三・三四

—刀劍圖考 三四

—武器袖鏡 三四

栗原忠三

—水力事業論 二〇

—水力ノ應用 七

栗原美吉

—亞米利加合衆國製鐵業 一八

グリムメ(獨)

—獨國防空團 三五

栗山寛一

—大阪市公會堂新築設計指名懸賞

—競技應募圖案(編) 二五

栗山巳紀雄

—構築材料(共) 五

グリーン(英)

—電氣及磁氣學に於ける解析數學の應用に關する論文 二二

クルト

—日本鑛山編 一九

車田千春

—軍需工業論 二七

グルンスキー(米)

—堰堤と貯水池に就いての所感 六

クレー(獨)

—土壓及び地盤の支持力 五

クローケン

黒板勝美

—國寶建造物寶物目錄(編) 二五

—特建國寶目錄(編) 二五

—特別保護建造物並國寶目錄(編) 二六

黒川兼三郎

—過渡現象論 三五

—交流現象論 三一

—交流理論(共) 二二・二三

黒川眞武

—各種觸媒による石炭液化實驗結果(共) 三五

—各種煖爐の輻射熱 三〇

—瓦斯煖爐の輻射熱に就て 二八・三四

—瓦斯バーナーに就て 二八・三四

—石炭液化の研究(共) 二九

—石炭油化の研究(共) 三五

—無煙燃料用煖爐に就て 二九・三三

黒川眞道

—家屋殿舎考 二六

黒川義信

—臺灣の鑛泉(共) 二九

黒木高節

—新日本家具製作及室内裝備品 二九

—和洋家具基本工作法 二九

—和洋家具材料 二九

黒木 謹	ハンス・ペールチッヒ氏建築作品集(編)	二五四	黒田英雄	醸造 篇	二五九	桑田 勉	ゴム及びゴム製品	二〇・二四七	景氣研究所(續)	人造石油	三五	
黒崎幹男	曾禰達藏・中條精一郎建築事務所作品集(編)	二五五	黒田朋信(鶴心)	建築雑誌	二五〇	香料及び香粧品	一九・三八	醸造及清涼飲料水(共)	二〇・三八	ステープル・ファイバー	二五八	
黒澤喜長次	建築材料(共)	二五五	黒田正夫	温度測定法	一〇・八	清涼飲料	二〇・二四一	油脂化學	二二	代用品工業	二四八	
黒田玄鶴	石綿論	二五五	黒田政憲	實用製陶學	二五	有機酸化製品	二〇・二四二	特殊鋼	二八	電氣爐	二八	
黒田靜夫	河海構造物(共)	二五・五・〇	黒野勘六	最新醱酵生理學	三三	天然瓦斯よりカーボンブラックの製造に就て	三三・三五	廢物利用工業	二四八	非鐵金屬	一八五	
黒田泰造	化學工場設計	一六・二七	黒野勘六	酒精及無水酒精	三三	桑野正夫	戰爭の智識	三〇	經濟情勢研究會	日本工業論(譯)	五	
黒田武定	鐵道工學(共)	毛	黒野勘六	釀造學各論要義	三三	郡司四郎	砂鐵の電氣爐製鍊試驗(共)	一六	經濟調查研究會	鐵ニ關スル調査	一八四	
黒田武次	電弧熔接鋼構造物	一八九	黒野勘六	清酒釀造と蛋白化學	二九	ケイケンチクカ	警視廳建築課	建築關係規則類纂	二九	警視廳建築課	建築關係規則類纂	二九
黒田徳米	腹足類及び辨鰓類	一五	桑田正三郎	滿洲國釀造業調査書	二四〇	景氣研究所	市街地建築物關係法令	市街地建築物關係法令類纂	二九	市街地建築物關係法令	市街地建築物關係法令類纂	二九
			寫真例題集(編)	二四〇	景氣研究所	京城商工會議所	朝鮮工業基本調査概要	六	京城府産業調査會	鐵工業ニ關スル調査	一八四	
				二四〇	景氣研究所	慶松勝左衛門	化學工業(共編)	一九	化學工業(共編)		一九	

阮逸(宋)

增衍樞機經

三七

玄昌

素書(點)

三九

建築學會明治建築資料ニ關スル委員會

員會

明治大正建築寫真彙覽

二六一

建築學參考圖刊行委員會

學校建築參考圖集

二七二

西洋建築史參考圖集

二七〇

日本建築史參考圖集

二五八

建築學團

印度建築集

二六三

建築學會

英和建築語彙

二五〇

建築學會五十年略史

二五五

建築學會大會論文集

二五五

建築學會パンフレット

二五二

建築學會論文集

二五五

建築工學ポケットブック

二四九

建築工事標準仕様書

二六六

建築雜誌總目錄

二五五

建築術語集

二五〇

建築學會(續)

コンクリート及鐵筋コンクリート

標準仕様書鐵筋コンクリート構

造計算規準解説書

鐵骨鐵筋建築構造圖集

東京横濱復興建築圖集

東洋建築史參考圖集

文様集成

メートル法ニヨル木造規準圖集

建築金物商會

鈴木式鋼鐵鍍ラス

建築書報社

美術建築應用圖集

木造ニ鐵筋コンクリート建築

仕様見積圖解(編)

建築研究會

大禮記念京都美術館懸賞設計圖

案集

洋風建築構造各部詳細圖編

建築工藝協會

建築工藝畫鑒

建築工藝畫鑒

建築工藝叢誌

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

ケンチクシヤ

建築寫真類聚刊行會

朝日住宅寫真集

新しい室内意匠

新しい階段の構成

アパートメント・ハウス

アメリカ近代住宅

醫院建築

石燈籠集

居間及食堂

映畫館建築

和蘭近代住宅

改造住宅

階 段

外部裝飾

改良便所

改良和風便所

家 具

學校建築

活動寫真館

カフェー外觀集

官衙學校

喫茶店の新構成

客間及廣間

橋 梁

銀行會社

近代裝飾意匠圖案

劇場建築

玄 關

建築寫真類聚刊行會(續)

建築金具

國際謝恩塔

公共建築

工業建築

公衆浴場

講堂と圖書館

室内裝飾

十五六坪の小住宅

住宅の外観

住宅の翠精莊

住宅間取圖

書齋と應接

小規模の美術館

瀟洒なる建物

商店建築

塔 壁

新興アパートメント

新興住宅の室内構成

新時代の家具

寢室及化粧室

神社佛閣

新住宅の浴室

數寄屋趣味の店舗

數寄屋趣味の料亭

數寄屋造住宅

數寄屋造の別荘

ステインドグラス

建築寫真類聚刊行會〔續〕

世界の新興住宅	二五四・六三
裝飾塔・裝飾門	二五四・八〇
建築具	二五四・七〇
煖爐	二五四・六六
茶室	二五四・六三
茶室建築	二五九・八三
茶室の由來	二五四・八三
中流住宅の浴室	二五四・八三
庭園の局部	二五四・九二
庭門及四阿	二五四・六三
停車場建築	二五四・六一
天井	二五四・六九
店頭裝飾	二五四・六九
電燈裝飾	二五四・六九
獨逸近代建築彫刻	二五四・六九
獨逸近代住宅	二五四・六四
特殊建築	二五四・六一
床の間	二五四・六九
塗裝・鋪裝・石積意匠集	二九
東都映畫館建築	二五四・六〇
ドーム建築	二五四・六一
東洋趣味の新住宅	二五四・六四
日本趣味の折衷住宅	二五四・六四
バラック建築	二五四・六一
百貨店	二五四・六一
百貨店白木屋	二五四・六〇
病院建築	二五四・六一

建築寫真類聚刊行會〔續〕

表現主義の彫刻	二五四・九〇
舞臺裝置と舞臺設備	二五四・八五
文化住宅	二五四・八四
文化住宅の家具	二五四・八四
米國圖書館建築	二五四・六四
別荘建築	二五四・六一
ホテル建築	二五四・六一
幕標と記念碑	二五四・九三
望駁莊	二五四・六一
窓及勾欄	二五四・六九
都ホテルと京都ホテル	二五四・六六
明治神宮寫真集	二五四・六六
木造小住宅	二五四・六四
門	二五四・六四
遊園地の建物	二五四・六一
洋風窓	二五四・六九
欄間	二五四・六九・七〇
理想の臺所	二五四・八五
旅館建築	二五四・六一
林泉集	二五四・九三
レストランとカフェー	二五四・八八
和風住宅の室内構成	二五四・九〇

ケンチクシヨウケンチ

ケンチク

建築書院	二五四・六九
外形と諸部百種	二五四・六九

建築書院〔續〕

家屋諸造作雛形	二六八
かし家と小住宅建築圖案五十種	二七三
交流理論	二七三
建具と手摺百種	二五四・七〇
直流機械	二七三
鐵道線路工事便覽	二六〇
電氣測定器	二六八
電氣通論	二七三
床棚百種	二五四・六九
日本家屋寫真叢書	二五四
無線電信電話	二四〇
木造洋館雛形集	二七五
門と玄關百種	二五四・六五
欄間百種	二五四・七〇
和洋住宅建築圖集	二七五

建築資料協會

建築資料協會十五年史	二六五
建築資料共同型錄	二六五
建築博覽會住宅設計圖案集	二七三
建築博覽會商店設計圖案集	二七三
日本建築資料發達史	二六五

建築資料研究會

英和獨佛獨和英佛土木建築用語	四・五〇
新辭典	四・五〇
第一回土木建築資料總覽	五・六五
第二回土木建築資料總覽	五・六五

建築圖譜社

美術建築圖譜	二六九
建築世界社	二七一
家屋建築設計便覽	二七一
建築圖案集	二七一
住宅建築	二六二
建築設備研究會	二六五
建築設備	二六五
建築設備畫報	二六五
建築卜設備現行法令全書	二九
建築土木資料集覽刊行會	二六五
建築土木資料集覽	二六五
建築普及會	二七五
平和記念東京博覽會出品文化村	二七五
住宅設計圖說	二七五
建築有志協會	二七五
建築工事請負契約書	二七五

ココケ

吳起(漢)	三六
吳子	三六

吳人 驥(清)

孫子十家注(校)

三〇〇

胡宗 憲(明)

海防圖論

三〇四

胡林 翼(清)

讀史兵略

三〇〇

小穴 富司雄

酒造鳥瞰

三三〇

小池 啓吉

橋梁工學

二七

小泉 吉兵衛

茶の湯用家具類

二九

木工藝と其要材

二六六

和洋家具製作法並圖案

二九〇

小泉 信三

支那事變と日清戦争

三三七

小泉 丹

戦争の原始形態

三〇一・三〇二

小泉 久雄

日本刀の近代的研究

三三四

小磯 國昭

航空の現状と將來(共)

二九七

小岩 隆道

最新絹絲紡績學

三三四

人造纖維紡績

三三五

ステープル・ファイバーと其の製品の進歩

三三七

小岩 井 兼

化學實驗と鑛物鑑定(共)

三三

古宇田 實

建築と關係深き庭園

二五〇・二五二

フレッチャー建築史(共譯)

二五七

古賀 逸策

壓電氣と高周波

二〇・二三

古賀 國藏

實用齒牙割出法

二九

特殊鋼と炭素鋼(共編)

二八

バイト使用法

二〇

古賀 辰巳

鐵山測量學

一六九

古賀 煜

海防瞭測

二三

國 英(清)

武經七書彙報(訂)

三二

國際工學協會

實用工學講座

二〇

國際交通文化協會

戰時の交通と通信

三〇

國際政治經濟研究會

軍需工業論(譯)

三七

軍備と國民經濟(譯)

三二

國際電氣通信株式會社

無線の研究

三九

國際聯盟協會

軍備縮少問題研究資料

三三

國際勞働事務局

有害工業解説

二

國生 行孝

海圖の話

二六

小久保 定次郎

アルミニウムの性質及用途

一八五

黑龍會調查部

全滿蒙鐵道統一計畫調查書

六

木暮 甚七

新撰大工雛形

二七三

木 檜 恕一

新しき家と家具裝飾

二八七

椅子と卓子

二五三・二五〇

ウアーニッシン塗裝法

二五三・二七七

家具の設計及製作

二九〇

近代の事務家具

二九二

現代日本の家具

二九二

室内裝飾家具製作圖

二九八

住宅家具設計及製作圖(編)

二九二

木材の加工及仕上

三〇四

古賀 軒 緑水

藝術二葉始

三三九

古建築圖集刊行會

古建築圖集

三五八

コサ—コノ

古在由直

甘蔗糖製造法
鑛害ニ關スル植物試驗報告

二四三

小島一行

明治四十一年日本工業錄(編)

一七〇

小島精一

戰時日本重工業
ソウイェトの重工業
鐵鋼業發展史論
東亞重工業論
日本重工業讀本
燃料・動力經濟讀本
本邦鐵鋼業の現在及將來

一五五

小島化學株式會社試驗部
第二改正化學藥品試驗規格集

二〇二

兒島獻吉郎
國譯尉繚子
國譯吳子
國譯三略
國譯司馬法
國譯孫子
國譯李衛公問對
國譯六韜

三七

三八

三六

三六

三九

三九

三九

越本長三郎

各種商店建築圖案集

二七

小菅刑務所

小菅刑務所圖集

二五

小杉楯郎

今の西京の皇居の由來
宇治の鳳凰堂
桂宮離宮
桂離宮及ならのみくら
皇居の地域御建築概略
名古屋の大城
ならのみくら
武器部類
平安城大内裏の概略
法隆寺金堂建築及び壁畫

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

二六

小杉未醒

壁畫

二五・二九〇

五代龍作

芥ヶ野金山鑛業誌

一五〇

兒玉 嶷

電氣事業の合理的實際經營方法

三三

兒玉晋匡

軌條の製造と其瑕
鐵・鋼・鋼材

二九

兒玉季一

工場要項(共)

二七

巨智部忠承

御料局生野鑛山地質圖說明書
常北地質編
清國遼東半島地質鑛山土性調査概報(共)

二六

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

二五

後藤格次

合成有機化學

一三

後藤一雄

送風機と其應用

九

後藤慶二

鐵筋混凝土構造

三

後藤曠二

火力發電所

二・二四

後藤正治

金屬及び合金工業

一八・一九

合 金 學

マグネシウム及其合金

二六・二七

後藤佐彦

鐵筋コンクリート工法

三〇

後藤 猛

鐵道車輛

六・九

後藤博山

圖按資料集(編)

二

後藤文雄

直流電機

一〇

後藤守一

武器武裝

三五

後藤安太郎

鐵道信號

一〇・一四

後藤米太郎

學校建築講話

二七

小中義美

撫順産頁岩石蠟に關する研究

三五

小浪博

金銀銅探鑛冶金學

一六・一八

小西常助

近世化學工業(共)

一九

小西彦太郎

計算必携(共編)

二七

木葉會(東京帝國大學建築學科)

西洋家具集

二九

東京帝國大學工學部建築學科卒業

計畫圖集

二七四

日本建築細部及文様圖集

二六九

コハ—コホ

小幡重一

應用電氣學

一四

小幡忠宏

頭足類(共)

一五

木畑道夫

岡山城誌

三六

木幡長命

河川工作物

三五

小林榮一

製版用冷エナメルの製造法(共)

三三

小林馨

臺灣全島天然ガス發生地・同分析
調査表(共)

三

小林和雄

測定器具及び計器

二四・二四

小林勝一郎

電氣音響學

二四・二九

小林儀一郎

廣東省地質鑛物調査報文

一六・二七

小林久平

酸性白土

一五

酸性白土及活性炭

一五・一九

石油及其工業

一七

燃料篇

九・一七・二五

木材乾溜工業

二〇

小林健次郎

分析成績集(共)

一九・二三

小林紫郎

隧道工學

ヒ

小林隆徳

カフェ・レストラン

二五・二九

小林杖吉

數寄屋構造法

二六

小林貞一

奥陶紀

一五・一五

小林徳松

紅糊製造試験・紅糊の品質鑑定法
に就て・紅糊及糊種の貯藏試験

三三・三九

小林秀二郎

夜間寫眞

二三・三四

小林廣二

框構式鐵筋コンクリート筋道路橋

七

計測例木筋コンクリート及道路橋設計解説
各種木筋コンクリート及道路橋設計圖集

六

小林宏治

搬送電話

二七・三八

小林正次

光電管・セレンウム管の工業
應用(共)

一四・一四

眞空管

眞空管

一四・一四

小林寛

炭塵爆發及其豫防法に就て

一七

小林政一

運動場

二五・二六

建築計畫(共)

二七

建築施工法(共)

二五・二六

體育館及演武場

美術館

二五・二八

コロナ會(續)

過渡現象論(譯) 三五

工業數學(譯) 一六・二二

高電壓工學に於ける誘電體現象

(譯) 一三

交流機(譯) 一三

交流現象の理論及計算(譯) 二二・三三

ジョーレー交流整流法(譯) 二二

水力發電所(譯) 二四

スタインメッツ全集(譯) 二二

スタインメッツ傳 七・二二

直流機(譯) 一三〇

電氣及磁氣學(譯) 一三三

電氣回路の理論及計算(譯) 二二・三五

電氣機械故障の診療(譯) 一九

電氣機械の理論及計算(譯) 二二・三六

電氣工學理論綱要(譯) 二二・二三

電氣鐵道(譯) 一三

電 纜(譯) 一三六

パローロス照明工學(譯) 一四

保護繼電器(譯) 一三

放電波動及衝擊(譯) 一四

ロース電氣測定法(譯) 二七

コロナ社

建築工學海外名著集 二五

最新發變電所工學 二二

有線通信工學大系 二七

コーコム

公 係 弘(漢) 三七

握奇經解 三七

江 阿 嬰

臺灣全島天然ガス發生地・同分析

調査表(共) 二

黃 波 清(民)

中國南部之三疊紀地層 一四・一六

黃 獻 臣(清)

尉繚子直解 三七

三略直解 三六

司馬法直解 三六

六韜直解 三三

黃 鐘(民)

軍事政治工作 三三

黃 炳 堃(清)

測地志要 五

コーアン(米)

發聲映畫 一四

工 學 會

日本工業大觀 五

明治工業史 七

工學協會

工學字彙 八

工學用語調査會

和英對譯工用手語辭典 九

工業化學會

工業化學語彙 一六

工業化學雜誌(第一一四〇編) 一七

總索引 一七

實用化學便覽 一六

本邦工業化學研究業績概要 一六

工業化學會滿洲支部

滿洲の資源と化學工業 一六

工業畫法研究會

土木基本及構造製圖 五

工業教育會

現代之電氣 一〇

日光電氣精銅所

紡織要覽 一三

工業講話會

工業事故豫防法 三

工業雜誌社

紐育高速鐵道設計基本示方書(譯) 六

工業試驗所

工業試驗所報告 五

工業資料調査會

工業要錄 一

工業調査協會

鑄物四講 一六

機械設計資料 三

計 器 二六

日本工業總覽 二

工業圖書株式會社

液體燃料工業最近の進歩 三三

航空工學最近の進歩 二八

工作機械最近の進歩 一〇

人組工業最近の進歩 三三

電氣工學最近の進歩 一五

燃料工業最近の進歩 三八

工業之日本社	五	鑛山懇話會	二七〇	河野信治	二四二	神戸市役所	六
日本工業要鑑	五	鑛毒調査資料	一〇七	支那の糖業	二四二	神戸市工業調査書	六
航空機工學大講座編輯局	三〇〇	日本鑛業發達史	一〇七	日本糖業發達史	二四二	神戸市水道擴張誌	六
飛行機取扱法	三〇〇	米國に於ける鑛煙處理法	一七〇	河野 武	二〇二	神戸市水道略誌	六
航空協會	二九七	工場能率増進研究會	空・九	加硫促進劑	二〇二	神戸市役所商工課	六
日本航空史	二九七	蒸汽及水力タービン潤滑法	空・九	河野輝夫	二六七	神戸市工業概況	六
航空評議會	二九七	工 政 會	一	建築及特殊構造	二六七	神戸商工會議所	八〇
航空用語	二九七	科學及工業最近之進歩	一	建築構造	二六七	港灣調査委員會報告	八〇
航空用語	二九七	住宅の照明	一五・一八七	構造物振動論	二・三五	神戸製鋼所	一八四
航空用語調査委員會	二九七	日本工業要録	五	幸林良作	一〇一	神戸製鋼所	一八四
航空用語	二九七	廣丹晨父	二七六	減摩劑及減摩法	一〇一	神戸税關	三三九
皇國報恩會	三五	匠家秘傳(編)	二七六	興福寺本堂修理事務所	二六二	合成染料に關する調査	三三九
防空大鑑	三五	皇道振興會	三二	興福寺本堂修理工事報告書	二六二	人造絹絲に就て	三三六
香坂要三郎	二〇・三四	皇國の軍備と國勢	三二	講 武 所	三〇	神戸稅務監督局	二四〇
石炭ガス及工業用ガス	二〇・三四	高等捕獲審檢所	三〇七	講武所規則覺書	三〇	灘酒沿革誌	二四〇
高坂昌臣	三三	明治三十七八年戰役捕獲審檢誌	三〇七	工部省鑛山課	一五	光棉研究會	三三
武具要説	三三	河野 鯨雄	一八〇	鑛山借區圖(明治六年至十六年)	一五	光棉混用に關する諸問題	三三
鑛山協會	二六	冶金學(共筆記)	一八〇	神戸高等商船學校	三九	工務局設計課	二七四
鑛石と探鑛法	二六	河野春庵	三五	内燃機關に使用する燃料油の研究	三九	線路建造物圖集	二七四
		戰略論(共譯)	三五	報告	三九	香村小録	二六九
						鑛山測量術(共)	二六九

コーヤークン

高野山金堂再建方勸進所 二六八
高野山金堂彫物・銅礎形繪圖

洪 洋 社
オットー・ライス 圖案集 二六七
和蘭の近代建築 二六四
和蘭ヒルヴエルのサムムの建築 二六四
各種アングル抗壓及抗張強簡易計
算表 三

議院建築意匠設計競技圖集 二七三
近世建築 二九〇
軍人會館設計圖集 二七五
建築裝飾圖譜 二六六
新傾向之住宅 二六五
新住宅 二六五
樞密院建築畫帖 二五九
聖徳記念繪畫館及葬場殿址記念建
造物設計圖集 二七二
セセッション圖案集 二九〇
チエーツェンテル圖案 二九〇
日清生命保險株式會社長瀨商店事
務所設計圖集 二七三
日本建築圖解 二六六
日本俱樂部寫真集 二六〇
日本工業俱樂部 二六〇

洪 洋 社(續)

博覽會建築圖集年鑑 二六〇
博覽會誌 二六〇
ハンブルグの智利館 二六四
表現文様集 二九〇
佛蘭西近世建築 二六四
文化村の簡易住宅 二六四
明治神宮寶物殿設計圖集 二七三

航海標識管理所 二六六
航海標識管理所年報 二六六
航海標識便覽表 二六六
燈臺要覽 二六六
日本航海標識便覽表 二六六
今和次郎 二五・二七九
郷土建築 二六四
日本の民家 二六四
コンクリート調査委員會
鐵筋コンクリート標準示方書 元
權田慶治郎 二七
金屬材料及其重量表(編) 二七
鋼材の寸法と其算定重量表 二七
ポケット用金屬材料の重量表(編) 二六

コンドル博士記念表彰會

コンドル博士遺作集 二五五
近藤市三郎 四連モーメントの定理とその應用 (共譯) 五

近藤會次郎 近世工業化學書 二九一
石 油 三五
近藤金助 蛋白物理化學 二〇四
近藤堅二 地質斷面圖の幾何學的作成法(譯) 一五四

サイーサエ

近藤謙三 高層建築物後退規定の提唱 二九二
近藤正一 室内裝飾 二六八
近藤清治 陶磁器工業 一九・二五
蔡 階(清) 新文襄公治河方略 七
蔡 元(定)(宋) 八陣圖解 三三
蔡 鼎(明) 鎬萬遠堂時務要略 三三・三五
臺灣糖業一斑 二四二
近藤平三郎 醫藥品製造工業 一〇〇・一〇四
製藥化學(增訂) 一〇四
近藤泰夫 廣東の道路 三
構造弱學(共) 二〇
コンクリート配合の合理化 二六
測 量 三
臺灣の道路 三・三五
中北支道路走り歩る記 三・三五

最新工學普及會

建築土木標準規格解説

四二五〇

最新工學パンフレット

四

最新工學文献摘録通信

三

車軸の振り振動

六〇

騒音の研究

六

財政經濟時報社

日本纖維工業總覽

二二

齋藤時太郎

材料力学

三二五

齋藤永吉

石炭低溫乾燥試験報告樺太炭に就て(共)

三九

Low瓦斯製造試験報告(共)

三九

低溫乾燥工業爐式及加熱方法(共)

三八

連續式石炭低溫乾燥爐の試験(共)

二九

齋藤龜吉

神社建築構造法

二六七

齋藤龜之助

鐵骨構造

三二五二

鐵骨構造(共)

三二五二

齋藤賢道

菌學上より見たる酒母

三九

工業用纖維

三三

東洋産有用醱酵菌

三六

醱酵

三六

醱酵菌類檢索便覽

三六

醱酵生理學

三六

齋藤俊吉

織物(共)

九三三

工業紡織(共)

三三

綿紡織(共)

三三

齋藤正平

電氣用絶緣材料

九二七

海上試験銃記

三三

海防策

三五

齋藤大古

金屬合金及其加工法

一八

金屬材料及其加工法

一七

最新鐵業智識(共)

一八

鐵の腐蝕に就て

一八

内外製鐵事業に就て

一八

滿蒙の製鐵業

一八

齋藤高保

潜水業(編)

二五

齋藤定藏

化學兵器

三七

齋藤哲夫

機械の熔接

一八・一八

實用電弧熔接法

一八

齋藤直幹

軍備と財政

三二

齋藤伸雄

普通・早強・中庸熱・珪酸質混合セメント及高爐セメントに關する比較試験(共)

二五・二九

齋藤兵次郎

茶室構造

三六

日光山猷備五重塔建地割

二六

日本建築規矩術

二七

日本著名建築寫真帖(編)

二〇

齋藤 朴

鐵道工學

七

齋藤 信

瓦斯倫自動車

一〇

齋藤美代司

水理ト灌漑

三

齋藤茂三郎

フレッチャア建築史(共譯)

二七

齋藤 讓

澎湖島地質調査報文

一〇

材料研究會

工業材料便覽

三

材料文献集

三

二元合金狀態圖集

一〇

佐伯美津留

無線電信電話學

一〇

佐伯百杉

工匠祖神傳

二七

佐枝尹重

孫子管蠡抄

三九

サカ—サセ

坂 靜雄

高層架構論

三

坂 靜雄〔續〕 鐵筋コンクリート平面と曲面 構造 偏心荷重を受ける鐵筋混凝土材 の應力計算法及び斷面決定法	三 三 三・五	坂下綱次 最新高級照明器具(編)	二五	柵山茂三郎 色素化學汎論 新顯色染料の研究	三元 三元
酒井佐明 理論電氣磁氣學(共譯)	二二	坂田秀太郎 塗工材料及塗仕上法	二六	櫻井省吾 衛生工學 建築衛生工學(共) 煖房換氣工學(共)	二五・二六 二六 二六六
彭城嘉津馬 土木工學結構編(共編)	四	阪谷良之進 藤原時代の建築と佛像に就いて	二六	櫻井忠溫 陸軍篇	三八
坂岡木太郎 橋梁構造編 實用理論測量學講義 測量學講義 鐵道工學講義	三 三 三 三 三	酒見恒太郎 顏料及グレーキ 塗料製造と其使用法	一九・二三 二二	櫻井秀雄 感光性色素	二〇九・二四
神 令輔 火技全書圖	三九	坂元左馬太 曲線表及曲線布設法(編) 鐵筋コンクリート設計及施工(共) 道路水路曲線表(編)	五九・六四 三〇 六四	相良就興 武門太平不忘記	三六
神原青葉 ゴム印畫法	三三・三三	坂本順次郎 清酒釀造經過に關する調査成績 (共)	二九	佐久間象山 上眞田侯書 退發擊銃圖說 礮學圖編 礮 卅	三三 三三 三四 三四 三五
神原長俊 本邦刀劍考	三六	坂本助太郎 淀川の出水及其の豫報	七	佐久間田之助 日本建築工作法	二七
神原芳野 醬油集說	三四	坂本辰之助 日本外戰史	三四	佐久間哲三郎 代用品と再生品(共)	二四
		坂本種芳 近代的建物の機械設備(共)	二七		
		坂本峻雄 滿洲の鑛產資源	二五		
		坂本陶一 都市及電氣鐵道	二五		
		坂本捷房 光電管(共譯) 發聲映畫(譯) 光 通 信	一四 一四 一九・二三		
		櫻井就興 武門太平不忘記	三六		
		佐久間象山 上眞田侯書 退發擊銃圖說 礮學圖編 礮 卅	三三 三三 三四 三四 三五		
		佐久間田之助 日本建築工作法	二七		
		佐久間哲三郎 代用品と再生品(共)	二四		
		柵山茂三郎 色素化學汎論 新顯色染料の研究	三元 三元		
		櫻井省吾 衛生工學 建築衛生工學(共) 煖房換氣工學(共)	二五・二六 二六 二六六		
		櫻井忠溫 陸軍篇	三八		
		櫻井秀雄 感光性色素	二〇九・二四		
		櫻井盛男 各種鐵筋コンクリート工の 實地設計計算 初等橋梁工學 擁壁橋梁脚及各種基礎工の 設計施工	三〇 三〇 三〇 三〇 三〇		
		櫻井良雄 建築(共)	九二・八		
		櫻田一郎 人絹手帳(編)	二二		

櫻田 勉	三〇	佐々木新太郎	二六・二八	貞清玄龜	一三〇・一四
古文孫子略解		金屬材料の電弧熔接	二六・二八	無線絶緣材料	
佐々木岩次郎	二五・二六	金屬の缺陷検査	二六・二八	札幌鑛山監督局	
和風建築の木割と仕口(共)		鎔接と瓦斯切斷	二六・二八	鑛區一覽(共)	一五
佐々木一雄	一〇一・一〇二	熔接部の検査及試験法	一八	札幌鑛山監督署	
アンモニア酸化法		佐々木達治郎		石狩煤田地質調査報告	一七
佐々木熊三	二〇六・二〇七	航空計器	一〇・二六・二九	空知郡煤田地質調査報告	一七
乾電池用二酸化マンガんに 關する研究(共)		航空物理學	二九	夕張郡地質調査報告	一六
佐々木高吉	三〇	流體力學	三〇	夕張郡地質調査報告	一七
簡易構造強弱(共)		佐々木太郎		札幌鑛務署	
和風建築の木割と仕口(共)	二五・二六	活動寫眞撮影法	三二・三四	札幌鑛務署管内鑛區一覽	一五
佐々木重雄	一七・一九	佐々木恒太郎		札幌遞信局	
測定工具及測定法		水力土木工事設計計算之乘(共)	三	札幌遞信局管内電氣事業要覽	二〇
佐々木仲吉	二七	土木設計實例	五	札幌遞信局管内電氣事業要覽	二〇
電線計算法(編)		佐々木彦一郎		佐土原 勳	五
新聞寫眞	二二・二三	村落調査方法の研究	一五	鐵道工學大意	
		地理的環境論	一五	佐藤彰美	
		佐々木秀賢		和洋建築常識	一五〇
		毛織工業	三五	佐藤榮吉	
		佐々木正元		化學工業用機械	二四五
		孫子合契	三〇		
		佐々木三九馬			
		戰時化學工業論	一九		
		佐々木民部			
		飛行機の設計及計算法實例	一九		
		笹倉正夫			
		地質學史(共)	一五四・一五		
		笹治庄次郎			
		採光通風を主とする住みよき 小住宅の設計	二七		
		笹田助三郎			
		送電配電(共)	三五		
		電線及電纜(共)	三六		
		笹原俊雄			
		化學に於けるX線の應用(共)	二〇		
		佐澤太郎			
		地質學(譯)	一五四		
		佐世保海軍工廠 工學便覽	七		
		サタ—サト			

佐藤勝雄

伊能忠敬測量日記抄(編)

七〇

佐藤 鑑

自動車庫(共)

二五・六〇

佐藤清勝

新兵器の知識

三七

佐藤功一

住家設計圖案(編)

二七三

住宅建築

二五・六二

住宅の平面計畫(共)

二七二

西洋建築史

二五・五七

川邊淳吉氏作品集(編)

二五五

佐藤定吉

護謨の研究(共)

二四七

佐藤芝夫

耐震耐弾梁及柱の新理論

二七〇

佐藤 肅

地下構造物歩掛(共)

五五

佐藤武夫

オーディトリウム

二五・七六

建築音響

二五・七七

建築の防音構造

二五・七二

佐藤 佐

大日本建築全史

二五五

日本建築史

二五五

日本神社建築史

二五七

佐藤忠義

朝鮮地質鑛産圖(編)

一六三

佐藤訥猪

化學實驗と鑛物鑑定(共)

一六四

佐藤 垣

孫子訓詁

三三〇

佐藤綱次郎

國民的戦争と國家總動員

三三三

旅順攻圍秘話

三〇七

佐藤 豪

久大西線筑後川橋梁架設工事報告

六

(共)

佐藤鐵太郎

英國ニ關スル軍政調査資料集(編)

三三三

帝國國防史論

三三三

帝國國防史論抄

三三三

補修帝國國防史

三三三

佐藤傳藏

岩石地質學

一五五

氣候と人類との關係

一五五

大 氣

一五五

大鑛物學

一五五

地 質 學

一五五

地質學提要

一五五

佐藤利泰

軌道工學

一五五

軌道・無軌條式電車

一五五

土木施工法及材料

一五五

佐藤知雄

金相學實驗法

一六・八二

佐藤仁之助

稻城築造考

三三三

佐藤信有

隄防溝渚志

七

佐藤信淵

一隊轉戰法

三三三

佐藤元海議

三三三

三銃用法論

三三三

自走火船圖說

二五四

實武一家言

三〇〇

佐藤信淵(續)

實武一家言抄錄

三〇一

耐石製法

二四四

新制小艇放大銃法

三三四

水戰法秘訣

三三四

水陸戰法錄(譯)

三三四

隄防溝渚志(校)

七

吞海肇基論序言

三三三

防 海 策

三三五

防海餘論

三三五

陸戰秘訣

三三九

佐藤 弘

經濟地理學に於ける文化階梯と

一五六

經濟階梯

一五六

經濟地理參考文獻

一五六

佐藤 博

グライダー

二六・三〇〇

佐藤寛政

現場コンクリートの強度並に之に及ぼす施工條件の影響に就て

四

(共)

佐藤正雄

本邦道路橋の重量(共)

四七〇

鑄鋼引張試驗用小型試驗片(共)

四七〇

佐藤政資

電気磁気學講義

二二

佐藤 雅

最近の農村電化

一〇六

農村電化

一〇六・一一〇

佐藤巳之吉

金屬着色塗裝法及鋼鐵家具製作法
と其設計圖

二九一

最新和洋建築材料

二九五

最新和洋木工具の使ひ方及木工
機械製作

一〇三

木材着色及仕上法

一〇三

和洋木材の性質及加工法

一〇三

佐藤吉彦

最新染色法

二二〇

最新染料及顔料化學

二二〇

精練・漂白及浸染篇

二二〇

佐藤林藏

實用工業數學(共)

一六

佐藤廉平

橋梁工學基礎の設計及施工

一六

橋梁工學橋臺と橋脚の設計

一六

橋梁工學鐵筋混凝土桁橋の設計

一六

佐藤廉平(續)

橋梁工學トラスの設計

七〇

橋梁工學プレート・ガーダーの
設計

七〇

橋梁工學木桁橋の設計

七〇

實用鐵筋混凝土計算法

七〇

鐵道工學

七〇

土木建築設計ハンドブック

七〇

サナーサン

眞井耕象

道路工學

三〇

早苗會(早稻田大學)

近世建築圖集

二七二

新時代の建築

二七二

眞田秀吉

河川水流の制御に就て

七三

日本水制工論

七三

佐貫亦男

プロペラ

二九八・二九九

實升敏人

壓縮に依る木材増強法の研究(共)

二四

佐野 英

ソ領極東地域に於ける新建築材料
(譯)

二五五

佐野榮治

應用力學講義

一九

佐野 悞

鉛電池活物質製造の一方(共)

二〇六・二〇八

放電状態にある活物質の組成に
關する知見

二〇六・二〇八

放電状態に於ける鉛蓄電池極板
活物質の本性に就て(共)

二〇六・二〇八

佐野喜三郎

實用鐵工表

二七

佐野靜雄

應用數學

二六

佐野勝舊

柳生流新秘抄

二四

佐野志郎

交流變壓器

二二

佐野利器

歐米中央市場圖集(共)

二六八

家屋耐震並耐風構造(共)

二五三・二七〇

建築(共)

九二四八

建築構造學最近の趨勢

二五三・二七〇

住宅論

二六三

耐震構造汎論(共)

三

佐橋佳一

食品・榮養品及調味料(共)

一〇〇・二四一

鯨島實三郎

膠質學

二四七

鉛電池活物質製造の一方(共)

二〇六・二〇八

放電状態に於ける鉛蓄電池極板
活物質の本性に就て(共)

二〇六・二〇八

更田健作

送電系統の安全問題

二七

佐和九郎

撮影の實際

二二・二三

澤 金雄

甘蔗糖學(譯)

二四二

澤 宣治

ソウエト空軍と航空工業

二九七

澤井寛一	參謀本部(續)	三〇七	志方益三	有機電氣化學	二〇五
實用鑄造法	滿洲事變史	三〇七	鹿間時夫	葛生府(裂辟堆積物)の地質學的 研究	一五五
熔解及鑄造法	滿洲ニ於ケル支那軍掃蕩戰	三〇七	重田實	滿洲に於ける電球	一五三
澤口悟一	明治四十一年特別大演習地圖	三一九	重松介彦	機構學(共)	八九・九一
樹脂及漆器(共)	列國陸軍ノ現況	三一九	重宗亮一	母子素地ノ組織ニ就テ	二一六
澤田名垂	産勞關西支部	三〇二	重森三玲	茶室・茶庭	二六三
家屋雜考	軍事科學とストライキ(譯)	三〇二	重森文彦	自動車寶典	一三三
澤藤忠藏	シ―シフ		資 源 局	金屬・鑛物・土石類標準用語	二六・一四八
航空機用高壓磁石發電機に就テ	史朝 富(明)	三三	四方敬一	氣體製法化學	二〇四
電氣點火(共)	龍川先生酌古論(編)	三三	氣體分析化學	一五五	
電氣點火故障及修理法(共)	シア―(米)	一五	滋賀縣	大正六年陸軍特別大演習滋賀縣 記錄	三九
九五・九六	シエレー(英)	一〇〇	滋賀縣內務部	犬土・阪田二郡水利調査圖	七九
九五・九六	工場用具論	一〇〇	電氣收塵法に關する研究		一七〇
同	シエレー(獨)	一六	報告		一七〇
食物化學	シエレー(獨)	一六	Lancashire 汽罐に應用せる 炭粉燃燒試驗報告(共)		三九・三三
同	シエレー(獨)	一六	低級炭化水素の重合に就テ		三三・三四
參謀本部	鹽田順庵		志賀 潔		二七〇
歐洲列強陸海軍備地圖	海防愛護(編)	三三・三五	電氣收塵法に關する研究		一七〇
征西戰記稿	海防愛護補(編)	三三・三五	報告		一七〇
西方戰場ニ於ケル統帥ノ真相	海防愛護補(編)	三三・三五	滋賀縣		三九
蘇波戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	大正六年陸軍特別大演習滋賀縣 記錄		三九
日清戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	滋賀縣內務部		七九
日獨戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	犬土・阪田二郡水利調査圖		七九
日露戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	四方敬一		二〇四
日露戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	氣體製法化學		二〇四
日露戰史	海防愛護補(編)	三三・三五	氣體分析化學		一五五

資源整備調査局

軍事産業資料

列強軍需資源論

紫光會

化學工業資料

時事新報社家庭部

家を住みよくする法

静岡市電氣部

静岡市電氣事業沿革誌

下元 連

工場及倉庫

鐵筋コンクリート構造

博物館・商品陳列館

志知 勇次

塵介處理場

七里 義雄

送電線路支持物の研究

實用 社

染色 鑑

品川 信次郎

飛行機構造(共)

品川 製作所

電氣計器及測定型錄

信濃川大河津分水工事竣功式

協賛會

信濃川改良工事沿革誌

ジノヴィ エフ(露)

戰爭問題の史的考察

篠崎 英之助

日本産薄荷油ニ關スル研究(共)

篠崎 司直

孫子發微

篠田 勇

電氣事業概觀(共)

篠田 耕

自働式電話

篠原 卯吉

高電壓發生装置(共)

篠原 太郎

建築工學鐵筋コンクリート構造

鐵筋コンクリート構造計算法

篠原 登

回路網及び濾波器(共譯)

篠原 幹興

油入遮斷器

繼電器及繼電方式

司馬 亨太郎

箱略提要(譯)

司馬 穰(齊)

司馬 法

斯波 忠三郎

蒸氣機關

芝池 榮次郎

機械掘鑿工事施工之葉

掘鑿機械機關車成績表

芝田 知重

建築請負工事の經營

建築土木施工用機械設備

柴田 榮吉

最新山形實地測量法

田野山林實地測量法

柴田 勝熊

應用礦物精義(共)

柴田 勝太郎

アンモニア合成

フォルマリン合成

メタノール合成

柴田 睦作

工業力學

初等工業力學

柴田 承柱

地質學(譯)

柴田 信

孫子通解

柴田 辰一

加州石油を中心とする米國

石油業概觀

三〇三

三〇八

一七九

二六三

二二

二五・二七

三・三五

二五・二六

二五・二六〇

二六

三〇〇

二九八・二九九

二六

七

三〇二

三七

三〇

二六

二六

二二

二六八

三・二六八

二二

二七

二二・二六

二七

三三

三六

六

六

六

二七

二二六

二六

二六

一六三

一〇一・一〇三

二二

二四

一八・一九

一九

一四

三〇

一八

柴田直光

鐵筋コンクリート設計及施工(共) 三〇
ノモグラムに依る鐵筋コンクリートの計算 三二

柴田晴彦

鑄鐵の熔接 一八・二九

柴田秀賢

不透明鑲物の光學的鏡檢法 二五・三四

柴田 浩

航空發動機(共) 八・二九

柴田雄次

金屬錯鹽 一〇〇

配位説より見たる珪酸鹽鑲物の化學式 一五七・一六四

柴田四子吉

匠工必携 二七六

柴田林之助

染料工業化學 三九

柴山東八

蒸氣タービン(共譯) 五

澁澤元治

現代生活に於ける電氣 一〇六
電界百話 一三三
電氣の概念と漏電の豫防 一三三
電力問題講話 一三三

米國及加奈陀に於ける電氣事業 兼發電水力の概況 一九
米國に於ける電氣事業の概況 一九

澁田市郎

電氣大觀(編) 一〇六

澁谷寛治

電氣鐵道 一五

澁谷禮治

朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利用トニ就テ 一七

シマーンシモ

島 邦生

矩尺原理及使用法 二七五

島 秀雄

自動車工學實驗法 一〇・一〇一

島 之夫

日本民屋地理 二〇

島津源藏

亞酸化鉛ノ工業的新製造法及其ノ二三ノ工業的應用ニ就テ 三〇
亞酸化鉛の新製造法及其ノ二三ノ工業的應用 三〇

島津保次郎

有線電話(共) 三六・三六

島田謹介

スポーツ撮影の要領 三二・三三

島田新次郎

有線電信 三六・三七

島田 藤

葬祭施設 三五・三六

島田八郎

X線反射法によるV形衝合電弧熔接部の内部歪分布試験 四九・一〇六

骨材及び類似材料の靱性に關する研究 四九・五〇

コンクリートの熱的性質に關する試験 二六・四九

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四八

島田八郎(續)

鋪裝用アスファルトの溫度傳導率に關する試験 四九・六六
道路鋪裝用アスファルトの力學的・特性的に就て 四八・六六
道路鋪裝用タール乳劑に關する研究 四八・六七

二・三の土木材料の比熱測定結果に就て(共)

乳劑の粘度に就て 四八・五三
路面の縦及横滑り摩擦抵抗に及ぼす路面種別と其の性状との影響に就て 四七・五三

路面の光反射に關する試験前之に基く道路照明基準に就て 四八・六三

島田道桓

町見辨疑 五

島村哲夫

壓延法 一八七
分塊壓延法 元

志水直彦

鐵材鍛鍊工作法 一八八
土木建築工事用機械 一八七
土木建築工事用器具機械 一八七
土木工學器具機械 四〇・四一

清水篤麿	清水篤太郎	清水本之助	志村久次郎
應用力學	電氣經濟學(譯)	關東州に於ける水源調査報告書	通俗鑛山測量
一九	一〇六	四	一六九
煖房	清水直太郎	清水保吉	志村繁隆
煖房及冷凍(共)	高壓電流裝置編(共)	琵琶湖治水沿革誌	應用X線工學概説
二八六	二二三	七	二二五・二〇〇・一〇九
清水榮二	レントゲン管編(共)	清水與七郎	顯微鏡寫眞
神戶市公會堂新築設計競技當選	レントゲン叢書(共)	歐米に於ける電氣實驗所(報)	工學的X線寫眞
二七三	二二五	電氣磁氣測定法及測定器具	二二三・二二四
清水三郎	清水一	清水 冽	志村良光
北樺太亞港封鎖炭田南部に發達せる	アパートメントハウス	人造絹糸要説	最新工業大意
第三紀及白亜紀兩層の層序(共)	建築計畫(共)	清水 組	下川 潮
一五五	二七	工事年鑑	劍道の發達
頭足類(共)	住宅	住宅建築圖集	下田吉人
一五	二五・二六	ホテル建築圖集	榮養品及調味料
清水 獎	清水 照	清水組大阪支店	下田禮佐
北樺太炭田調査報告	高速鐵道工學	第四師團司令部廳舎新築記念	商業地理學
二七	四〇・六一	士 密 德(英)	下津佐正志
清水正毅	清水 誠	開煤要法	印書彩色法
談兵知要(共校)	皮革及レザー	シムボル標準調査委員會	下斗米半治
三五	二〇一	一般電氣用並無線用標準シムボル	砂糖製造法
清水正巡	皮革工業	屋內配線用標準シムボル	下村彦一
談兵知要	塗料及塗裝法	シムボル	海岸地形
三五	三〇	二七	地形區(共)
清水莊一郎	清水正徳		
電氣機械	神器譜(校)		
二六	三四		
清水孝教	清水正巳		
槍・薙刀及鐮の新研究	店舗設計圖と店內設備圖		
三六	二七四・二六五		

下山順一郎

製藥化學

製藥全書(其編)

二〇五
二〇三

下山秀久

工學字彙(其編)

八

シヤージョ

沙克 什(元)

河防通議

七

謝家 榮(民)

揚子江下游鐵鑛誌(其)

一五・二〇

謝昉 得(宋)

百戰勝法

三三

武侯兵要

三三

社會事業研究所

軍事扶助制度の發生

三三

世界大戰時に於ける英吉利傷痕

三三

軍人並遺家族保護對策

三三

世界大戰當時に於ける獨逸都市

三三

住宅並土地問題

三三

ジヤッジ

工業用材料

三

車輛の經濟的塗裝方法調査

委員會

車輛塗裝方法

六

朱記 榮(清)

魏武帝註孫子(重校)

三九

吳子(重校)

三八

司馬法(重校)

三八

朱肱(宋)

北山酒經

三九

朱壩(清)

武經七書彙報

三三

十返舎一九

手造酒法

三九

主婦之友社

模範住宅二十九種便利な家の新築集

二六

シュペクトロフ(露)

軍需工業論

三七

周光 鎬(明)

武經兵法陣圖全書詳解(編)

三二

徐家 寶(清)

鍊鋼要言(譯)

一四七・一四八・一四九・一五〇

徐光 啓(明)

九邊險要

三六・三二

測量異同

三五

測量全義

三五

測量法義

三五

論策疏議

三二・三三

徐鯤(清)

駁攻

三五

徐善 祥(民)

礦物學(編)

一六三

ジヨセフ(米)

圖式及び用器・計算法

元

ジヨミニ(瑞西)

縮略提要

三三

シヨルツ(フランス)

無線電信と中立

二四

城 始

郊外住宅實施圖集(編)

二七

姜 宸 英(清)

海防總論

三四

江防總論

三四

焦 勗(明)

火攻要

三三

火攻要諸器圖

三三

增補則克錄

三六

章 鴻 釗(民)

石 雅

一六〇

獎 健 會

運動競技場の建造

八

尙 賢 堂

觸媒化學講座

一

生源寺 順

水 車

六

水タービン

六

水力學

七

商工經營研究會

戰時下ニ於ケル物價管理要覽

三三

商工省工業品規格統一調査會	六	商工省燃料研究所	三八	正路倫之助	二四	照明學會	二四
機械工業規格	一八一	燃料研究所彙報	二八・二九	膠質	二四	街路點明調査報告(編)	一三四・一三六
J E S 金屬工業規格	二・三	燃料研究所試驗報告	二九	上水協議會	三三	照明及電熱講演集	一三四・一三六
日本標準規格	二・三	燃料研究所報告	二九	上水協議會議事錄	三三	照明學講演集	一三四
商工省鑛山局	二〇三	商工省臨時產業合理局	二六	上水協議會研究業績集	三三	照明工學ポケットブック	一三四
亞硫酸瓦斯吹著に關する調査	一八四	化學工業規格	二六	上水道統計及報告	三三	照明學會關西支部	一〇
製鐵業參考資料	一七〇	機械製圖解説	二六	常靜子	三三・三四	最新電氣講座	一〇
石炭埋藏量調査概要	一七〇	J E S 工業品規格統一調査會概況	二	劍攻	三三・三四	照明學會照明知識普及關西	二四
鐵鑛調査概要	一六五	商工大臣官房統計課	二五	常靜子劍談	三三・三四	委員會	二四
硫化鐵鋼調査概要	一六五	建築統計月報	二五	釀造試驗所	三三・三九	屋外照明	二四
商工省工務局	一〇四	建築統計表	二五	釀造試驗所報告	三三・三九	學校照明	二四
自動車工業振興展覽會報告書	一〇四	庄司乙吉	三四	商店建築研究會	二七	工場照明	二四
商工省人造纖維及其ノ應用製品	二五	紡績操業短縮史	三四	小さい市街建築の圖案集	二七	最新照明テキスト	一三四・一三五
展覽會報告書	二五	庄司誠一	三五	聖德太子奉讀會	二七	住宅照明	一三四・一三五
染織・陶磁器・木漆・金工關係	一七	北太平洋西南部に於ける深海底質の研究	二五	法隆寺論抄	二七	商店照明	一三四・一三五
技術官會議議事錄	一七	庄司務	二五	庄野信司	二七	照明概要	一三四
本邦内地工業分布の趨勢	一六	人造肥料工業	二五・二九・二八	臺灣全島天然ガス發生地同分析調査表(共)	二七	道路照明	一三四・一三五
商工省商務局貿易課	三七	無機化學標準工業分析法	二五	調査表(共)	二七	旅館料亭照明	一三四・一三五
松油脂工業ニ關スル調査報告	三七	庄司養二	二五・二九	葛浦治太郎	二七	照明學會東京支部	一三四
商工省生産管理委員會	二	無線電話端局裝置	二五・二九	寒天の製造法	二七	學校照明調査委員會調査報告	一三四
工業教育ヲ中心トシテ見タ我國教育制度ノ改善	二					純近の照明工學	一三四

シラーシシ

- 白井光太郎
染料植物及染色篇 三九
- 白木正博
高壓電流装置編(共) 一三三
レントゲン管編(共) 一四四
レントゲン叢書(共) 一二五
- 白崎享一
代用品と再生品(共) 二四八
- 白澤保美
建築用木材(共) 二五三・二五五
- 白鳥義三郎
商店建築(共) 二五二・二六〇
- 白鳥壽高吉
成層式" B "乾電池の製作研究 二六〇・二七〇
(共)
- 自 爾 捺(英)
井礦工程 一七〇

次郎左衛門秀勝

- 軍砲秘函 三三
- 城谷 正
限界ゲージ方式機械設計製圖 五
- 壬 士 驥(明)
武侯全書(編) 三三
- 新海重行
ガラス分析法 二六
- 新東京工公會
戰時經濟法令並佈告集 三二
- 新宮行太
母子及び套管と高壓工學 二六
- 新光社
最新化學工業大系 一九・二〇〇
最新寫眞科學大系 二四
- 震災豫防調査會
滋賀岐阜兩縣下震後ノ家屋構造ノ
注意 二〇
- 陣内勝市
屋内配線工師必携 二七

新帶國太郎

- マグネサイト鑛床 一六
- 神藤才一
戰時國際公法 三三
- 神保小虎
礦物學教科書 一六
礦物學の獨習 一五
日本鑛物誌(共訂) 一六
日本地質學 一四
北海道地質報文 二六
北海道地質略論 二六
- 新堀正義
送信機械 一三九・一四
- 神馬新七郎
鑛物工場の原價計算 一七
- 新村唯治
骸炭の種類と其の性質(共) 二八・三三
骸炭反應性に關する文獻(共) 三三
石炭精結狀態及び其の試驗法
(共) 二九・三三
石炭の精着成分と骸炭化性 二九・三三
本邦骸炭工業 二八・三三

スイースキ

- 水津嘉之一郎
内外輓近化學工業大勢講話 一六
- 水道協會
水道統計 八
- 水道研究會
上下水道設計圖集 八
- 水曜會
最新鑛業智識 一七
- 水路部
海軍航海年報 三〇
航海年表 二九五
最新航海年表 二九五
水路圖誌目錄 二九五
水路要報 二九五
日本近海磁針偏差圖 二九六
日本近海氣象圖 二九六
日本近海の氣象海流圖 二九五・二九六
日本水路誌 二九五・二九六

末永雅雄	日本上代の甲冑	三三四	スカーク(米)	三七
末野末五郎	水理一班	三三	洋兵明鑑	三七
末松 榮	河川工学	三五	杉 健一	一五
技術者必携道路便覽	須賀太郎	三三	接觸變成岩	一七
高眞空工学	眞空技術	一四・一四四 一〇・一四四	日本變成岩總說	一七
菅合熊一郎	鐵床の起原	一六七	杉浦義勝	一一三
菅原榮藏	新橋演舞場	二五九	電磁光学	二四・四四
菅原公平	鐵山調査と評價法	二六九	電子物理学	二四・四四
菅原秋水	灘 酒 史	二四〇	杉浦庸一	二五・三六五
菅原晋雄	工業熱力学	一八	建築用木材(共)	二五・三六五
蒸 汽 罐	蒸 汽 罐	三・四	杉江重誠	二六
			ガラス	二六
			ガラス細工	二六
			ガラスの化学	二六
			窯業原料試験法	二五
			杉野喜一郎	二四
			カーバイト・燐及燐酸(共)	二四
			杉江敏雄	二三
			交流整流子機	二三
			杉村伊兵衛	三〇
			機械材力学	三〇
			機械設計學	三〇
			機械設計學(共)	八・三〇
			機械設計總論(共)	三〇
			機械設計の基礎	三〇
			杉村誠之介	三
			鐵線籠工法	三
			杉村信近	五・五
			水力電氣鐵筋混凝土管	五・五
			杉村陽太郎	三三
			海洋の自由	三三
			軍國主義打破	三三
			軍備縮少問題研究資料	三三
			巴里平和會議	三三
			海牙平和會議	三三
			杉本五十鈴	一〇
			岩手・秋田兩縣鑛業調查報文	一〇
			韓國平安北道順安附近金產地	一〇
			調查報告(共)	一〇
			韓國平壤三登及砂里院附近石炭	一三
			調查報告(共)	一三
			杉本勝二郎	三〇六
			征清武功鑑(編)	三〇六
			杉本俊三	三七
			合成樹脂	三七
			石炭酸・ふるむあるでひど	三七
			縮合物製造試驗	三三
			杉本文太郎	二八
			室内飾り道具	二八
			室内裝飾法	二八
			室内裝飾法心得	二八
			茶室構造法圖解	二八
			茶室と茶庭圖解	二八
			日本住宅の保全と諸什器取扱ひ法	二七
			杉本道雄	一〇〇
			研磨機と其作用	一〇〇
			杉本 良	二五〇
			專賣制度前の臺灣の酒	二五〇
			杉本禮三	一九
			應用力学問題集	一九
			杉森孝次郎	二〇・三〇
			戰爭の倫理	二〇・三〇
			杉山赤四郎	二五・二九
			窓掛と敷物	二五・二九

杉山 旭

石 綿 一五

杉山 清

地中電線路 二五
力率改善の手引 二五

杉山敏郎

北大東島試錐に就いて 一五・一六
陸 腸 類 一五

第二回北大東島試錐に就いて 一五
白雲紀(共) 一五・一六

本邦沿岸産現棲造礁珊瑚に就きて 一五

杉山茂一郎

市街地建築物法規集(編) 二五

スシースワ

須 春 院

日本陸軍(編) 三六

鈴木係三郎

木造耐震家屋構造法 二七

鈴木梅太郎

食品・栄養品及調味料(共) 一〇〇・一〇一

鈴木久吉

サイロ 二九・三〇

鈴木恭介

實用砂防工学 七

鈴木 榮

オンドルの研究 二六

鈴木 醇

日本結晶片岩 一七

鈴木 敏

福岡縣豊前及筑前煤田地圖及
説明書 一七

寶 石 誌

一五

鈴木昌吉

地下水概論 六五・一五

鈴木四郎

増幅器とピックアップ 一五

鈴木鈴馬

麻 紡 績 二二・二三

鈴木達夫

青森縣蟹田油田地形及地質圖 一五・一六
説明書 一五・一六

長野縣長野油田地形及地質圖 一六・一七
説明書 一六・一七

鈴木忠五郎

建築構造學 二七
建築製圖法講義 二七

鈴木千代藏

鐵冶金學大意 一八
熔解爐と熱處理爐(共) 二六・二八

鈴木貞造

火藥類通覽(共編) 二四

鈴木徳藏

機械減摩法 八九・九〇
機械設計學 八九・九〇
軸及軸接手 九〇・九二

鈴木東司

鐵道運轉取扱の理論と運用 六〇
陸・船・車輛用發動機故障及修理法 九三・九七・九五

鈴木長利

量地表(校) 七

鈴木八郎

寫眞器及材料解説 二二〇・二二一
寫眞失敗の原因 二二〇・二二一
寫眞處方集 二二〇
引伸印書法 二二二・二二三
引伸寫眞の奧技 二二二・二二三

鈴木久王

光電管及光電池 一四四
陰極線オッシュログラフブラウン管
(共) 一四四
ブラウン管の應用(共) 一四五

鈴木雅次

海工學 八〇
港工學 八〇
港灣工學 八〇・八〇
築 港 八

鈴木茂哉

軸(受)(共) 九〇・九二

鈴木倫虎

河川工水用纜繩の強度及耐久性
に關する試験(共) 四九・七五
橋梁用敷板強度試験(共) 四九・七〇
鋼橋銜接者壓縮試験(共) 四九・七〇

鈴木猶吉

最近の地形測量と発行された地圖類に就いて 一五九

寫眞測量 三六・三五

昭和七年度前期實施の地形測圖と最近發行された地圖類に就いて 一五九

昭和七年度後期實施の地形測圖と最近發行された地圖類に就いて 一五九

昭和六年度實施の地形測圖と最近發行された地圖類に就いて 一五九

発行された地圖類に就いて 一五九

鈴木 陽

工場寫眞術 二二四

天然色活動寫眞 二二三・二二四

鈴木庸生

光化學工業 一九九・二〇〇

寫眞化學 二〇九

薄 重信

玉方陣記(註) 三三三

スタインメッツ(米)

過渡現象の理論及計算 二二・二三

工業數學 一六・二二

交流現象の理論及計算 二二・二三

電氣回路の理論及計算 二二・二三

電氣機器の理論及計算 二二・二三

スタインメッツ(米)(續)

電氣工學理論綱要 二二・二三

放電波動及衝擊 一四

スチール(獨)

紡織電化 一七

須藤貫一

家を建てる費用の計算 二七

須藤憲三

寫眞小話 二〇九

須藤眞金

建築計算寸法便覽(共) 二七五

日本建築小史 二七

須永巳代治

歴延法 一七

鋳力板の製造 元

砂山角野

光學器械 一〇三

須之内文雄

地下鐵道 六

柄原豊太郎

高速内燃機ノ研究 空

住田正一

日本海防史料叢書(編) 三五

住友伸銅鋼管株式會社

住友伸銅研究報告 一七

住友電線製造所

住友電線彙報要錄 二六

角南 隆

社寺建築 二五・二六

日光東照宮建築裝飾圖集 二九

住江金之

酒 三三

住吉平治

遼河の改修 六

スミルノフ(露)

英米建艦競争 三三

スモール(米)

阿片アルカロイド化學 二〇三

陶山 存(鈍翁)

水利問答 六

鐵炮格式會議條目 三四

諏訪哲郎

揮發油類のノッキング性 二九・三六

ディーゼル機關用低溫タール油に就て 二九・三三

ディーゼル燃料の發火性(共) 二八・二九

燃料アルコール 二八・三三

セイーセン

施子 美(金)

軍林兵人寶鑑 三三

精機協會

精密機械 一〇一

最近の精密機械(共) 一〇一

星 空會

航空資料 二七

清家 正

科學的研究に基ける製圖論 六

交流電機の捲線法 一三

製作の實際を主とする誘導電動機の計算 一三

正 祖(朝鮮)
兵學指南(編) 三三

製鐵研究會
製鐵研究 一八四

製鐵研究會記事 一八四

製鐵所
製鐵所 一八三

製鐵所研究報告 一八四

製鐵所製品目錄 一八四

製鐵所内据付諸機械之圖 一八三

製鐵所購買會
製鐵所寫真帖 一八四

製糖研究會
糖業便覽 二四二

青島守備軍民政部
山東省ノ地質鑛山 一三三

青島守備軍民政部
博山石炭 一三三

世界之美術研究會
現代佛蘭西室内裝飾圖案集 二六

世界動力會議大堰堤國際委員會

日本國內委員會

堰堤と貯水池に就いての所感(譯) 七

第二回國際大堰堤會議提出並國內

研究論文集

日本大堰堤彙報 七

瀬賀熊太郎

土木工學治水編 七

戚繼光(明)

戚參將兵略 三三・三二

武備新書(編)

練兵實紀 三三

關重廣

照明學 二四

電燈及の照明 二五

電燈及照明(共) 二五

關士秀

騎士用本 三三

關壯夫

テレビジョン(譯) 一四

關虎雄

農産利用雜詰塔詰加工法 二四

關豐太郎

土壤の生成及び類型 一五

關信雄

測城學 三・四

關一

水戸烈公の國防と反射爐 三三

關良篤

土木建築工事施工計算諸表(編) 三・七

關口定仲

英和和美最近電氣用語辭典(編) 一七

最新自動車工學 一四

最新無線電話と其原理 一四

無線電信及電話 一五

關口八重吉

機械工學總論(共) 六

工學記念錄(共) 一・九

工業上に於ける生産能率に關する論說 二

工作機械 九

工作機械(共) 六・九

蒸氣原動機(共) 三

汎用工作機械(共) 九

積雪地方農村經濟調查所

積雪地方農家家屋及農村共同

作業場設計に關する調査 三三

石炭鑛業聯合會

石炭鑛業聯合會創立拾五年誌 一七三

關戶信吉

X線 二〇・二五

關戶正克

水戸城 三六

關根重治

香料製造化學(共) 三六

關野貞

韓國建築調查報告 二・六一

支那山東省ニ於ケル漢代墳墓ノ表飾 二

支那の建築と藝術 二二

東洋建築(共編) 二二

日本建築史 二五・二六

日本建築史講話 二五

日本建築に及ぼせる大陸建築の影響 二六

日本工藝史概論 二五

熱河(共編) 二六

關野 貞(續)

二・六一

平城京及大内裏考
遼金時代ノ建築ト其佛像(共)

二六四

關場茂樹

標準橋梁仕様書

六九

關藤國助

換氣と涼房

二五・二六五

攝些列兒(蘭)

遠西火工其精大全
火技全書圖

三三三

三三九

瀬戸政章

ラーメンの解法

五〇

瀬藤象二

直流及交通整流子機
電氣及磁氣測定法

一一〇・三三

二一七

瀬谷準造

鍍 金

二六・二九

芹澤英二

積算及請負法

二五・二七

芹澤茂作

鐵道分岐器類詳説

六〇

千 宗守

茶 室

二二五

錢 儀 吉(清)

補 晉兵志

三二六

錢 文 子(宋)

補 漢兵志

三三三

補 漢兵志并註

三二六

纖維科學研究所

纖維科學研究所設立記念講演會
講演錄

三三三

纖維工業試驗所

纖維工業試驗所彙報
纖維工業試驗所報告

三三三

三三三

纖維素協會

纖維素工業

三三五

千賀春城

軍用記(補)

三三三

櫻石政太郎

特殊建築のデータ(共)

二五・二六

全國染織工業博覽會

參考品目錄

三三〇

戰時保險局

戰時海上保險補償關係法規
戰時海上保險法關係法規

三三二

三三三

染織研究会

染織と文様

三三〇

染織絞描名技會

染織描略史

三三〇

仙臺鑛山監督局

鑛區一覽

一五三

仙臺鑛山監督署

奥羽六縣の鑛物
仙臺鑛山監督署管内鑛區一覽

一六六

一五三

仙臺高等工業學校創立三〇周年
記念會記念論文集編纂委員
記念論文集

二

仙臺鑛務署

鑛業叢書
仙臺鑛務署管内鑛區一覽

一四

一五

東北ノ鑛業
東北ノ鑛物

一六

仙臺市役所

仙臺市下水道誌

八四

仙臺遞信局

管内電氣事業要覽

二〇

仙臺鐵道局

青森海陸連絡工事概要
青森操車場

八

六

專賣局中央研究所

研究報告

三

選 良 社

市街地建築法並關係法令
都市計畫法並關係法令
都市計畫市街地建築物法

二五

二五

ソーソン

會 公 亮(宋)

武經總要(共)

三〇

會我杵祐

セメント代用土と其用法
耐震耐火的建築土木原料土
石と其利用

二五

五四・五六

會我部竹一

ヂーゼル及内燃機關發電所

卷・二三・三四

内燃機關設計

九・六

十川純夫

工作機械

九

測地學委員會

相模野基線測量報告

七

會根 有

テレビジョン装置の作り方

一四

テレビジョン

二〇・二四

會禰達藏

建築隨想

二五・二五

會根田又雄

建築設備(共)

二六

蘭 鑑

地質學(共譯)

一五

園田一夫

歴 延 法

二六・二七

園部 進

電子管原論(譯)

一四

ネオンサイン(共譯)

一五

祖父江 寛

人造絹絲

三三・三六

宋 應 星(明)

天工開物

一四

宋 仔 鳳(清)

鐵學心要新編

一四

曹 胤 儒(明)

握機經(增衍)

三七

臧 應 驥(明)

三略(校)

三八・三一

司馬法(校)

三六・三一

六 韜(校)

三一

匣 瑳 胤 次

戰爭と科學

三〇・三三

裝飾研究會

電燈照明器具意匠集

一五

造船協會

英和船舶工學術語集

二四

造船協會(續)

造船協會々報

二五

造船協會雜誌

二四

造船協會四十年史

二五

日本近世造船史

二五

曹達晒粉同業會

日本曹達工業史

二〇

艸 田 子

武家重寶記(編)

二四

孫 奇 逢(清)

孫子遺書

三九

孫 健 初(民)

綏遠及察哈爾西南部地質誌

一六・二二

北滿鐵産誌(譯)

一五・一九

孫 星 衍(清)

孫子十家注

三〇

六 韜(校)

三三

孫 同 元(清)

六 韜逸文(編)

三三

孫 武(周)

孫 子

三九

タイ・タウ

第一機關汽罐保險株式會社

石炭ノ手焚キニ就キテ(譯)

四

大道寺友山

武道初心集

三〇

武道初心集拔萃

三〇

大同電力株式會社

調査會論文集錄

一四

大同評論社

綜合工學全集

一〇

第二回國際新建建築會議

生活最小限の住宅

二五

大日本織物協會

染料辭書

三九

大日本工業學會

工業生活

一四

水力學及水力機械

七

大日本山林會	一〇二	英和和英新機械用語辭典	六七	臺灣總督府殖產課	一七	臺灣總督府殖產局(續)	一六
鐵線鐵索重力式架空運搬裝置	一〇二	臺灣銀行調查課	一五〇	臺灣北部煤田調查報文	一七	臺灣地形地質鑛產地圖說明書	一六
木材パルプと紙・人絹・人織	一〇七	臺灣ニ於ケル金鑛業	一五〇	臺灣總督府殖產局	一七	臺灣地質鑛產地圖	一六
大日本電氣研究所	一〇七	臺灣釀造研究會	一四二	嘉義油田地質圖	一七	臺灣地質鑛產地圖說明書	一六
電氣大辭典	一〇七	無水酒精製造に關する文獻集	一四二	成榮礮北浦煤田調查報告	一七	臺灣糖業概觀	一六
大日本紡績聯合會	一〇三	臺灣總督官房外事課	一五	甘蔗栽培及製糖法指鍼	一七	臺灣油田調查報告	一六
世界纖維工業(譯)	一〇三	比律賓鑛業の現況	一五	旗山南西部油田地質圖	一七	高雄州旗山 _{南西部} 油田調查報告	一六
大日本鑛業協會	一〇五	臺灣總督官房調查課	一四	旗山油田地質圖	一七	高雄州恒春油田調查報告	一六
日本鑛業大觀	一〇五	支那地質調查報告類集	一四	玉井油田地質圖	一七	竹東油田地質圖	一六
鑛業便覽	一〇五	支那の糖業	一四	錦水油田斷面圖	一七	南支南洋の工業	一六
代	一〇八	蘭領東印度諸島に關する地質學的 研究の沿革	一三	錦水油田地形及地質精査圖	一七	南支南洋の工業	一五
金石識別	一〇八	臺灣總督府研究所	三	月眉油田地形及地質圖	一七	澎湖島地質調查報文	一六
臺北帝國大學理農學部地質學教室	一〇六	臺灣總督府研究所報告	三	恒春油田地質圖	一七	臺灣總督府殖產局特産課	一四
昭和十年臺灣地震震害地域地質 調査報告	一〇六	臺灣總督府交通局	三〇	甲仙油田地形及地質圖	一七	臺灣糖業要覽	一四
大本營野戰衛生長官部	一〇九	電事事業要覽	三〇	鑛山地質調查報文	一六	臺灣總督府殖產局糖務課	一四
明治廿七八年戰役陸軍衛生紀事	一〇九	臺灣總督府交通局道路港灣課	三	鑛物及地質調查報告	一六	糖業ニ關スル諸表	一四
摘要	一〇九	臺灣の道路	三	出礦坑油田地形及地質精査圖	一六	臺灣總督府殖產局林業試驗場	一三
ダイヤモンド社	一〇五	臺灣總督府交通局道路港灣課	三	小梅油田地質圖	一七	染料林木ニ關スル試驗報告	一三
化學工業を語る	一〇五	臺灣總督府交通局道路港灣課	三	新化油田地質圖	一七	臺灣總督府中央研究所工業部	一三
人絹	一〇六	臺灣總督府交通局道路港灣課	三	新竹州苗栗及竹東油田調查報告	一七	酒類製造試驗成績	一三・一三六・一三九
				臺南州嘉義油田調查報告	一七	臺灣產植物精油聚報	一三・一三八
				臺南州玉井油田調查報告	一七	臺灣總督府中央研究所工業部彙報	一三
				臺南州小梅油田調查報告	一七	中央研究所工業部報告	一三
				臺南州新化油田調查報告	一七	分析成績彙報	一三〇
				臺灣鑛物調查報告	一六		
				臺灣鑛物一覽	一六		
				臺灣山仔脚煤田調查報告	一七		
				臺灣地形地質鑛產地圖	一六		

臺灣總督府天然瓦斯研究所 歐洲に於ける燃料問題	三三	多賀祐重 鐵道車輛	三〇・八	高岸英夫 避雷針の效果に就て	二二	高瀬謙一 蒸氣原動力(譯)	三三
臺灣總督府天然瓦斯研究所彙報 メタン含有ガスより水素の製造及 其の利用	三四	高木勝昶 電氣事業概觀(共)	二八	避雷針の施設及び施工法	二二	航空發動機用材料	九〇・二九
臺灣總督府土木局 上水協議會議事錄	三五	高木菊三郎 日本地圃測量小史	七	高桑勝雄 現代の寫眞術	二〇・三三	發動機用材料(共)	九〇・九五
臺灣水道誌	三五	高木源之助 工場建築	二五・七九	高桑藤代吉 東京市の鋪道	六	高瀬豐吉 化學實驗室に於ける毒と爆發	二四八
臺灣總督府土木部 臺北水道	三四	工場建築及設備	二九・六五	高崎達之助 罐詰	二四	高瀬芳卿 短波無線工学	一四一
臺灣總督府内務局 土木事業概要	三五	高木誠司 製藥	二〇・二四	高島舜臣 他家便要秘鑑	三五	高瀬理三郎 自己放電防止鉛蓄電池(共)	二〇〇・二〇八
臺灣總督府内務局土木課 臺灣土木事業統計年報	三四	高木太郎 鐵道	天	高嶋辰彦 泉戰	三〇	鉛及び鉛アンチモン合金の水素過 電壓(共)	二〇六
臺灣總督府民政局殖産課 臺灣島地質鑛産圖	二六	高木忠次郎 電氣工学ハンドブック(編)	一〇五	高島宗三 蒸氣原動機(共)	三	高田義彦 英尺ニ於ケル電話事業	一三六
臺灣島地質鑛産圖說明書	二六	高木昇 水晶發振器及其振器(譯)	一四	高瀬伊造 煙道瓦斯計(共)	三八	高田昭 王泊堰堤の漏水の溫度及水素イオ ン濃度	四七・六
電子工学の基礎	二四	高木隆二 阿片アルカロイド化學(譯)	二〇三	Lancashire 汽罐に應用せる炭粉 燃焼試験報告(共)	三九・三三	鬼怒川上流改修工事用角礫凝灰 岩砂利及砂に關する試験	四七・七
タカ—タカハ				Lancashire 汽罐の手焚試験(共)	二九	現場打混凝土の耐壓試験報告	四六・五〇
						工事用石材試験成績(共)	四六・五〇

高田 昭(続)	高知縣黑瀧川産砂に關する試験 四・三三 碎石の磨損率に關する一試験 四・六四 常願寺川産砂に關する試験(共) 四・六三 石材類試験成績(共) 四・五五 ソリデチットの耐壓強度に關する試験(共) 四・五一	高田 登吉	蒸気々罐及汽機(共) 四 齒	高野松次郎	描圖法(共) 元	高橋邦夫	帝國海軍と上海事變 三〇
高田馬場試験舗装の路床土質に關する試験 四・六七	多摩川産砂利及砂に關する調査 四・五四	高田新七	建築工事仕様積算教科書(共) 二六	高野江基太郎	石炭鑛業論集(編) 一七 筑豊炭鑛誌 一七 日本炭鑛誌 一七〇 本邦石炭事情 一七 本邦石炭統計(編) 一七	高橋作衛	戰時國際公法 三四 戰時國際法先例論 三四 戰時國際法要論 三四
地質・地質學 四・一五 地質・地質・氣象(共) 一五	東京山手赤土の彈性的性質に關する試験 四・六四	高田 實	騒音防止 一	高橋景保	近時海國必讀書(共) 三三・三五	高橋純一	河川地理學 一五 實驗鑛物學 一六 水成岩序説 一七 石油鑛床新論 一七 石油鑛床の成因 一七・一七
標準砂モルタルの強度に及ぼす火山灰及石粉の影響 四・六四	標準砂モルタルの強度に及ぼす石粉の影響 四・六四	高田亮平	飲食物の色と香と味 三九・四一	高橋逸夫	應用力學 一九・四〇 橋梁工學特論 一七 銲接構造物計算法 一八	高橋三郎	發電水力 三三
舗装工事用サーフェースヒータの碎石に及ぼす影響に關する試験 四・六六	舗装用鑄鐵ブロック磨耗試験 四・六六	高津 清	強電測定法 一〇・二七 新編電氣磁氣測定測定及測定器 二七 電氣磁氣測定及測定器 二七	高橋 明	ブラウン管と其の應用(共譯) 一	高橋 幸人	電力應用(共) 一〇・一
ポトランドセメントの凝結後に於ける溶解物のpHに就て 四・六六	本邦産舗装用石材(共) 四・六五	高根勝利	礦物のX線現象(共) 一七・一七	高橋 樹	日用品製造篇(編) 二	高橋 正一	格子制御放電管 一四・一五 放電管の工業應用 一四・一五
大和川筋龜ノ瀬地に關する調査 四・七九		高野清八郎	軍費大整理論 三二	高橋金之助	硬度及硬度測定法(共) 一八		
		高野長英	三兵答古知幾(譯) 三三 戊戌夢物語 三三 蘭文兵書 三七				

高橋正七 工業數學(共)	二六	高橋貞太郎 建築計畫(共)	二七二	高橋本枝 アルミニウム工業	一八五	高原知義 珞那製品	二〇・三七
高橋松川 建築の七燈(譯)	二五	工場・市場・火力發電所(共)	二五九	高橋守一 ラーメンの公式及圖表	五	鷹部屋福平 一般剛節構の實用解法	五
高橋仁 近世市街建築の發達	二四九・五一	商店・百貨店(共)	二五・二六〇	連續桁及地下工作物の強度計算式并 圖式	五	架構應力研究	五
近世日本建築史	二五	特殊建築のデータ(共)	二五・二六二	連續桁及地上地下用ラーメンの 強度計算式並圖表	五	架構新論	五
高橋甚也 下水道	四・八四	高橋豊次郎 自働信號	六〇	高橋安人 蒸氣タービン(共譯)	五	高級桁梁論	五
高橋清藏 水力土木工事設計計算之乘(共)	七	高橋豊太郎 火力發電所 建築計畫(共)	二五・二七九 二七	高橋雄治 清國內蒙古喀喇沁王部鑛業調査 報文(共編)	一五	構造力學特論	三
高橋達郎 海陸軍制(譯)	三六	ホテル	二五・二六	高橋慶夫 單式構造	三・三五	世界橋梁寫眞設計圖說(編)	六
高橋偵造 醸造(基)	九・三八	高橋藤平 岸壁裏込の特殊工法がその安定度 に及ぼす影響に關する試験(共)	四・八	高橋隆三 姉川の戰	三三・三五	鐵筋鐵骨建築架構モーターント岡 講并計算法	二六八
醸造微論	二八	高橋藤藏 電氣鍍金法(編)	一〇	應仁文明の亂	三三・三五	不靜定應力理論	二
醸造工業	一〇〇・一〇八	高橋春吉 臺灣地質鑛産地圖說明書(共)	一三	天文法華亂	三五	ラーメン新論	五
人工清酒並に其類似品の製造法	二四〇			高原傳三郎 電話初步(共)	一七	連續梁	五
清酒醸造法	二二九						
世界の酒	二四〇						
釀酵化學實驗法	二三八						

タカヘータケ

高松豊吉(續)	一〇・三〇	高松豊吉(續)	一〇・三〇
伽里設林(共編)	一九・三〇	澱粉及澱粉糖(共編)	一九・三〇
格魯兒加爾基(共編)	一九・三〇	塗料(共編)	一九・三〇
格魯兒加爾基(共編)	一九・三〇	捺染法(共編)	一九・三〇
クロ、フォルム(共編)	一九・三〇	假漆(ニス)(共編)	一九・三〇
香料總論(共編)	一九・三〇	乳業産物(共編)	一九
砂糖製造法(共編)	一九	熱論(共編)	一九・一九
脂肪及脂肪油類(共編)	一九・三七	燃料(共編)	一九・三七
樹脂油(共編)	一九・三七	燃料ノ應用機關(共編)	一九・三一
重格羅謨加爾基(共編)	一九・三〇	配色法(共編)	一九・三一
臭素及臭素鹽類(共編)	一九・三〇	薄荷油(共編)	一九・三七
重炭酸加里(共編)	一九・三〇	酸酵總論(共編)	一九・三八
硝石及亞硝酸加里(共編)	一九・三〇	麥酒釀造新論(共編)	一九・四〇
樟腦(共編)	一九・三七	葡萄酒製造法(共編)	一九・四〇
蒸餾飲料及リキユール酒類(共編)	一九	抱水加魯拉爾(共編)	一九・三〇
人工營養品(共編)	一九・四一・四二	木材乾留工業(共編)	一九・三二
人工香料(共編)	一九	沃度加里及其他沃度製品(共編)	一九・三二
「ステアリン」酸及他ノ脂肪鹽類	一九		
(共編)	一九・三七	高松政雄	二五・二六
製紙術(共編)	一九	病	二五・二六
西洋蠟燭(共編)	一九・三七		
石炭(共編)	一九・三三	高松勇治郎	二四
石油(共編)	一九	天然絹糸溶解に關する研究	二四
石鹼(共編)	一九・三七・三六		
染色法(共編)	一九・三〇	田上政敏	一六四
炭酸加里(共編)	一九・三〇	地質礦物學綱要	一六四
建築論(共編)	一九・三五		
調香術(共編)	一九・三六	高谷高一	八四
天然香料(共編)	一九・三六	下水道及汚水處理法(共譯)	八四
		高谷武助	二二
		水力電氣	二二
		高谷道弘	二一・四〇
		無線工學測定法(共)	二一・四〇
		高谷光雄	二五
		日本製麻史	二五
		高柳健次郎	三九・四三
		テレビジョン	三九・四三
		高柳光壽	三四
		大日本戰史(編)	三四
		本能寺の變・山崎の戰	三四・三五
		高藪良二	二六五
		建築材料と使用法	二六五
		高山英華	二七六
		外國に於ける住宅敷地割類例集	二七六
		(共編)	
		外國に於ける住宅敷地割類例集	二七六
		集(編)	二七六
		高山甚太郎	二五
		「ポルトランド・セメント」試験	二五
		方法	二五
		高山徳藏	一〇五
		電氣工學便覽	一〇五
		高山元夫	二六・三三
		計	二六・三三
		瀧 大吉	二四八
		建築學講義錄	二四八
		瀧口三雄	二九
		電氣用機械類の選び方	二九
		獨和英電氣工學辭典	二〇七
		瀧澤和一	一九
		應用力學	一九
		瀧澤賢四郎	二二〇
		最近寫眞術	二二〇
		瀧澤眞弓	二四九・五
		建築論	二四九・五
		瀧本義一	二七
		校舍構造計算例(編)	二七
		瀧本誠一	一四
		化學工業(編)	一四
		製鐵鋼業(共編)	一四

瀧本誠一〔續〕

石炭(共編) 二七三

電気事業(編) 二八

銅(共編) 一六五

日本石油史(共編) 一七九

本邦産油の現在及將來(共編) 二五

綿絲紡織(共編) 三三

瀧本貞一

航空路 一五・三〇

瀧山米太郎

石綿工業と其建築用途 二六

ヒューム管解説書 二六

瀧山 養

土歴及び地盤の支持力(共譯) 五

澤 庵

太阿記 三四・三四

不動智 三三

拓殖局

甜菜糖業卜朝鮮 二二

田口卯三郎

發聲活動寫眞 一七

田口武夫

保護繼電器(共) 二六

田口文雄

影響線に依るラーメンの計算(共) 五〇

鐵筋コンクリート計算表(編) 三

土木設計施工要覽(編) 五・五七

拓務省拓務局

比律賓ニ於ケル石炭及石油關係法規 二七

ダグロン(佛)

寫眞鏡圖說 二〇

武井群剛

治水及利水 七

土木行政(共) 四

土木行政要義 四

道路及道路交通 三

武居高四郎

都市計畫圖譜 六

武井 武

電氣化學工業大系(編) 二五

電氣製鐵・鐵合金 一六・三五

電氣冶金學 一六

電氣爐 一〇・二六

竹内榮喜

元寇の役 三四・三五

日唐戰爭 三四・三五

竹内孝一郎

航空力学と飛行機の設計 二六

竹内秀趾(貫)

西洋砲家問答(譯) 三四

泰西王氏銃譜(譯) 三四

竹内順三郎

高等數學概要 一六・二〇

竹内時男

新統計力学 九

纖維物理 三三

測定と圖表 一七

電子波實驗とマトリックス 一四

武内武夫

輕合金鑄物 一六

武内富雄

數表・度量衡・力学單位換算表・數學・荷重・材料強度 二五・六五

武岡武夫

ソ聯極東の産金地(譯) 一五

武岡充忠

澁川治水誌 七

竹島卓一

熱河(共編) 二六

遼金時代ノ建築ト其佛像(共) 二六

武田久吉

植物寫眞 二二・二四

武田五一

意匠及裝飾論(共) 二五・二六

改良住宅間取(編) 二七

建築裝飾及意匠の理論並沿革 二八

建築圖案集(編) 二七

建築と色彩 二五・二八

最新和洋住宅別荘建築法(共) 二八

住宅建築要義 二八

耐震及耐火建築構造(共) 二七

武田修三

工具材料 二六・二九

武田博士還曆記念事業會

武田博士作品集 二五

武田博士之横顔 七

武富英一 建築の基礎と防水工事 二五・二六八	竹村誠也 暖房用汽罐構造及取扱方法(共) 二六	多田耕象 水力發電所(共) 一〇・三四	巽 清治 自動車學(共) 一〇〇
武富 昇 砂糖及澱粉 一〇一・一〇三	武村忠雄 戦争と交通 三〇	立 作太郎 戦時國際公法 三三	伊達源一郎 航空機(編) 三〇〇
竹中工務店 建築寫真集 二六	武見芳二 植民地理 二六	戦時國際法論 三四	帝國の國防(編) 三三
竹中 寛 石炭油化の研究 二九・三五	田島達之輔 漁船用發動機 二九	太刀川平治 電氣の災害に就て 二七	立石定準 匠家必用記 二六
油化廢瓦斯より水素の回收 二九・三五	ディーゼル・エンジン講義 二九	電力の話 二五	立澤勇吉 アルカリ一次電池の性能に及ぼす インヒビターの影響 三〇・三七
竹中半兵衛 軍法秘傳書(編) 三三	田島義造 機械工作便覽(編) 二二	立川小兵衛 増補軒廻樞形(補) 二九	建部遯吾 戦争論 三三
竹貫直次 英和對譯實用土木字典 三三	機械製作法(共) 二〇	立川富房 軒廻樞形 二九	田所哲太郎 應用膠質化學 二四
測量學階梯(編) 三三	精密機械工具使用法 二〇	立川通雄 立川流匠家矩術倭繪様集(編) 二九	醇素化學(編) 二七
測量器械取扱法(譯) 三六	せんばんにて螺絲を切る法 二〇	龍崎虎男 作業研究の方法及實例 一〇	醇素化學概論(編) 二七
土木建築材料検査及使用方法(共編) 二六五	ゆにがらゝみるみりんぐましん 二〇	田尻稻次郎 地下水利用論 二五	醇素利用工業概論(編) 二八
土木工學材料及施工編(編) 二五	多田 勇 北滿の小麥並に製粉業に就て 二五	辰野紀念事業第二部實行委員 日本銀行建築譜 二六〇	食品化學 二四
武原秀雄 鋼絞拱橋 七〇			新編食品化學 二四
			蛋白質化學(編) 二四
			蛋白質化學概論(編) 二四
			油脂コロイド化學(編) 二六

タナ—タネ

田中 薫	工業地理	一五	田中重芳	機械工作法(共)	一〇〇	田中龍夫	電機設計と應用	三九	田中不二	應用力学	一九		
田中勝吉	有用木材の性質及用途	二四	田中賤夫	砂糖精製法講話(共譯)	二四二	田中貞次	灌溉排水	四七	田中正道	機械製作法	九〇		
田中清志	大阪の都市計畫	三	田中 秀	私の建てた住宅	二八五	田中豊太郎	建築仕様全集	二五	田中正義	機械設計及製圖(共)	九二		
田中久八郎	工業用爐ニ於ケル都市瓦斯ノ應用	一九四	田中 壽一	窒素工業問題	二九	和洋建築工事仕様設計實例(編)	二五	田中増太郎	X線管並にX線装置	二五・四三・四四	田中 貢	鐵鋼及機械工業	一八四
田中邦次郎	新しき室内裝飾と家具の見方	二七	田中 庄三郎	電氣化學實驗法	二五	田中寅男	下水道及下水處理	八四	田中 貢	鐵鋼及機械工業	一八四		
田中敬吉	熱及熱力学(共)	九四・九五	田中宗一郎	工業護謨化學	二四〇	田中直太郎	醬油沿革史	二四〇	田中康夫	戰爭史	三〇		
力 學	發動機試驗法(共)	九〇・九五	田中大作	市街地建築物法令に準據せる鐵筋「コンクリート」計算論	二六八	田中 一	矢作水力株式會社奉早發電所建設記錄(編)	二四	田中 貢	戰 争 史	三〇		
		一九八六	田中タイリング商會	獨逸最新式技術的セメントタイル	五四	田中 博	水 産	一八	田中芳雄	化學工業試驗法(共)	一九三		
									化學工業總說	一九・一九九			

田中芳雄(續)

- 化學工業と化學工學 一九・二七
- 石油・天然ガス及頁岩油工業 一九・三五
- 接觸反應(共) 一九・三〇
- 塗料工業(編) 三三
- パラフィンの結晶に就て 一九・三七
- 無機製造工業化學(共) 一九
- 油脂工業 一九・三六
- 有機製造化學(共) 一九三
- 有機製造工業化學(共) 一九二

田中義次

- 運動場建築 二五・七六

田中 好

- 土木行政 四〇・四三
- 土木行政(共) 四三
- 土木例規類纂(編) 四三

田中館秀三

- 水力・石炭・石油(共) 七五・五八・二七・七六
- 日本のカルデラ 一五
- 日本の水力・石炭・石油(共) 一五

棚橋啓三

- 生 絲 九・三四
- 絹織物とレーヨン織物 三三

棚橋寅五郎

- 進み行く我化學工業 一九

棚橋 諒

- 鐵骨構造學 三

田邊玄平

- 最新麵粉製造法 二四

田邊朔郎

- 公式工師必携(編) 五

水 力

- 鐵筋コンクリート(校) 三
- 土木篇 三
- とんねる 七

琵琶湖疏水工事圖譜

- 琵琶湖疏水誌 三
- 明治工業史提要 七

田邊淳吉

- 日本俱樂部寫真集 二六〇

田邊平學

- コンクリートのポアソン比に關する實驗的研究 二六
- 耐震建築問答 二七〇
- 鐵筋コンクリート構造(共) 三・三五
- 鐵筋コンクリート版の應剪抵抗に關する研究 三

田邊 泰

- 希臘の文化と建築(共編) 二四
- 近代建築様式概観 二五・二七
- 禪宗の寺院建築 二二
- 日本住宅史 二七
- 琉球建築(共) 二六

谷 宗雄

- タール鋪裝 六

谷 安正

- 實驗誤差論 一〇・七
- 實驗彈性學 三〇

溪 世尊

- 孫子經典餘子 三三

谷井千次郎

- 蒸餾飲料及リキュール酒類(編) 二四〇

谷口吉郎

- サイロ 二五・二八〇

谷口國松

- 電氣機關車工學(共) 一四

谷口光平

- チルド鑄物 二六・二七

谷口三郎

- 基礎工及土木施工法 四〇・五
- 土木施工法 五

谷口 忠

- 耐震構造學の發達 二・三五
- 耐震構造汎論(共) 二

谷口長一郎

- 金鏡精鍊法(共) 一五

谷口政勝

- 醋酸化法人造絹糸製造法(共) 二六

タニコフ(譯)

- 軍備と國民經濟 三二

谷下市松

- 工業振動學(譯) 七

谷村豐太郎

- 計算圖表學 六
- 計算圖表學(編) 七
- 圖表學綱領(編) 元

谷山 巖

- 鐵及の鋼鑄物 一七

ダニレフスキー(露)

近代技術史

七

種田吉豊

楠家全書

三三

タハータン

田端耕造

ガラス工業

一九・三六

硝子中の硼酸定量法に就て(共)

二六

玉木繁治

無線電話受話装置の原理と組立

一四

玉木正英

橋家神軍之傳(編)

三五

玉置徐歩

化學試薬純度試験法

二〇一

玉宮善治郎

航空路及び航空標識

二九六・三〇〇

玉村春夫

現代建築學の基礎(譯)

二五〇

田丸節郎

炭素の燃焼による直接起電燃料

二六・三六

電池(共)

二六・三六

田丸卓郎

流體力學

三三

民野好

唧筒設計

六

田村英太郎

朝鮮鑛床調査要報(調)

二六

田村熊次郎

製絲學新講

三三

田村維則

征清戰史(編)

三六

田村典瑞

工業試験法

二

田村直太郎

測量技術の實際

三三

田村明一

硫化ソーダ法による新定性分析法

一五

田村元治

機械部分の縮結法(共)

九・二〇

田山利三郎

伊豆半島地質概報(共)

一六

關東構造盆地替に其の西邊部の地形及び地質に就て(共)

一六

北部マリアナ群島の地形・地質並に珊瑚礁

一五

南洋群島西部海嶺及び群島の地盤運動に就いて

一五

南洋群島の島の配列と海底地形

一五

バラオ群島の地形・地質並に珊瑚礁

一五

ボナペ島(Ponape I.)の地形・地質並に珊瑚礁

一五

マニシャル群島珊瑚礁の地形學的考察

一五

ヤップ群島(Yap Islands)の地形・地質並に珊瑚礁

一五

蘭領東印度・アル群島(Aru-Islands)の地形・地質並に珊瑚礁

一五

多羅尼忠郎

北海道鐵山略記(編)

一五〇

ダリ エ(佛)

海戰史論

三三

依國一

古來の砂鐵製鍊法(編)

一五

鐵と鋼

一八

本邦に於ける製鋼平爐の形狀及び其大さ(共)

二・一八

田原哲次郎

製糖工業

二四三

田原良純

黃色血滴鹽及爾餘ノ藏化合物(共編)

一九・二〇

苛性加里(共編)

一九・二〇

個里設林(共編)

一九・二〇

格魯兒加爾基(共編)

一九・二〇

格魯兒加爾基(共編)

一九・二〇

クロ、フォルム(共編)

一九・二〇

重格羅設酸加里等(共編)

一九・二〇

臭素及臭素鹽類(共編)

一九・二〇

重炭酸加里(共編)

一九・二〇

硝石亞硝酸加里(共編)

一九・二〇

「ステアリン」酸及他ノ脂肪鹽類(共編)

一九・二〇

石鹼(共編)

一九・二〇

炭酸加里(共編)

一九・二〇

澱粉及澱粉糖(共編)

一九・二〇

抱水格魯拉爾(共編)

一九・二〇

木材乾留工業(共編)

一九・二〇

沃度加里及其他沃度製品(共編)

一九・二〇

單 鏗 (宋)

吳中水利書 七三

單 子 元 (民)

明代建築大事年表 (共編) 二六四

譚 吉 璉 (清)

歷代武學考 三三四

譚 錫 疇 (民)

四川西康地質誌 (共) 二六〇・二六一

丹 桂之助

蘭領東印度群島地質論 (譯) 一六三

丹波敬三

酒精製造法 (共編) 一九・二四

黄色血滴鹽及爾餘ノ藏化合物

(共編) 一九・二〇三

香料總論 (共編)

脂肪及脂肪油類 (共編) 一九・三三七

臭素及臭素鹽類 (共編) 一九・三〇三

硝石亞硝酸加里 (共編) 一九・三〇三

人工營養品 (共編) 一九・二四・四三

西洋蠟燭 (共編) 一九・三三七

調香術 (共編) 一九・三三六

天然香料 (共編) 一九・三三八

酸酵總論 (共編) 一九・三三八

丹波敬三 (續)

葡萄酒製造法 (共編) 一九・二四〇

沃度加里及其他沃度製品 (共編) 一九・二〇一

チーケク

茅 元 儀 (明)

武 備 志 三三

チエルニホフ (露)

現代建築學の基礎 二二五

建築ファンタジア (編) 二五〇

チェンバース (英)

美術的建築 二八九

洋風建築設計者の虎の巻 二七三

近坂百一

測量 (共) 二四

近重眞澄

金 相 學 一八一

工藝用金屬着色法及電鑄法 (共) 一八〇

東洋鍊金術 一八五

近間佐吉

模範日本住宅 二八四

和洋住宅建築集成 二七五

知久健夫

エレクトレットに關する研究 二〇天

苛性加里液中に於ける「ペーレスト」

式銅極の蓄電池特性 二〇天・二〇七

活物質中に炭を混ぜる鉛蓄電池極

板の特性に就て 二〇六・二〇八

懸賞應募蓄電池見本に關する實驗

(共) 二〇天

第二回懸賞應募蓄電池見本に關す

る實驗 (共) 二〇天

第三回懸賞應募蓄電池見本に關す

る實驗 (共) 二〇七

蓄 電 池 二〇七

放電容量より見たる鉛蓄電池陽極

活物質の孔性度に就て 二〇六・二〇八

ペーレスト型極板の放電容量に

就て 二〇六・二〇八

ペーレスト型陽極板深部の滲透

に依る活性化に就て 二〇六・二〇八

リサージの化成進展に就て 二〇六・二〇八

千種虎正

測量 (共) 二四

筑豊石炭鑛業會

筑豊石炭鑛業會月報 一七三

筑豊石炭鑛業會五十年史 一七三

筑豊石炭鑛業組合月報 一七三

筑豊石炭鑛業組合統計月表 一七三

筑豊石炭鑛業組合統計表 一七三

筑豊石炭鑛業要覽 一七三

筑豊石炭鑛業組合事務所

炭塵爆發試驗裝置調査報告 一七〇

筑豊五郡石炭探掘鑛區一覽 一七一

チシツ

地質調査所

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

青森縣大釋迦油田地形及地質圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

秋田縣男鹿島油田地質及地形圖 一七五・一七六

地質調査所〔續〕

新潟縣加茂油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
新潟縣村上油田地質及地形圖	一七〇・二六
說明書	
新潟縣與板油田地質及地形圖	一七〇・二六
新潟縣與板油田地質及地形圖	一七〇・二六
說明書	
日本地質鐵產誌	一七〇・二六
日本帝國地質圖	一七〇・二六
日本帝國地質圖幅	一七〇・二六
福岡縣豐前及筑前煤田地圖及說明書	一七〇・二六
北海道空知油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
北海道空知油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
北海道宗谷油田地質圖	一七〇・二六
北海道宗谷油田地質圖說明書	一七〇・二六
北海道天鹽油田地形及地質圖	一七〇・二六
北海道天鹽油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
本邦産石炭分析表	一七〇・二六
山形縣大石田油田地形及地質圖	一七〇・二六
山形縣大石田油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	

地質調査所〔續〕

山形縣新庄油田地形及地質圖	一七〇・二六
山形縣新庄油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
山形縣最上油田地形及地質圖	一七〇・二六
山形縣最上油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
山形縣最上油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
千谷好之助	一七〇・二六
秋田縣男鹿島油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
秋田縣檜巢油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
秋田縣能代油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
秋田縣二ツ井油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
秋田縣本莊油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
新潟縣大面油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
新潟縣加茂油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	
新潟縣與板油田地形及地質圖	一七〇・二六
說明書	

チタ―チユ

千葉茂太郎	一六
工業數學(共)	
真空管回路	一四〇・四
真空管並に其高周波工用上の應用	一四〇
電氣爐波器	一三九・一四〇
特殊通信工學	一三六・一四〇
無線工學公式並に圖表集	一三九・一四〇
無線工學實驗法	九二・一四〇
千葉武夫	一六
電力系統の自動制御方式	一六
茶式建築及庭園研究會	二八三
茶式建築及庭園	
チャーチル(英)	三二
世界大戰	
中央建築會	二七四
名古屋市廳舍競技設計圖集	
中央陶瓷試驗場	三六
中央陶瓷試驗場工作報告	
〔中華民國〕國立北平研究院地質學研究所	一五
地質彙報	

〔中華民國〕國立編譯館礦物學名詞

審查委員會	一三
礦物學名詞	
中華民國地質調査所	一五
地質彙報	
地質專報	一五
中國鑛業紀要	一五・一六
第三次中國鑛業紀要	一五・一六
第四次中國鑛業紀要	一五・一六
第五次中國鑛業紀要	一五・一六
北京西山地質誌	一六
中國營造學社	一三
曲阜孔廟專號	
中國營造學社彙刊	一三
中條清三郎	一六
電氣計算法	一六
電機試驗法	一六
電機設計法	一六
中條義守	一三
燃料の節約と汽罐の保全	
忠誠堂	一七
滿洲事變紀念大寫真帖	

チヨ一チン

張 一 龍(明)	武庫纂略(共編)	三三	張 一 龍(明)	武庫纂略(共編)	三三	張 一 龍(明)	武庫纂略(共編)	三三
張 岳(明)	天時占驗	三〇・三二	張 岳(明)	天時占驗	三〇・三二	張 岳(明)	天時占驗	三〇・三二
張 居 正(清)	尉繚子直解(增訂)	三七	張 居 正(清)	尉繚子直解(增訂)	三七	張 居 正(清)	尉繚子直解(增訂)	三七
三略直解(增訂)	司馬法直解(增訂)	三六	三略直解(增訂)	司馬法直解(增訂)	三六	三略直解(增訂)	司馬法直解(增訂)	三六
李衛公問對直解(增訂)	六韜直解(增訂)	三三	李衛公問對直解(增訂)	六韜直解(增訂)	三三	李衛公問對直解(增訂)	六韜直解(增訂)	三三
張 繼 孟(明)	營陣圖說(共輯)	三七・三二	張 繼 孟(明)	營陣圖說(共輯)	三七・三二	張 繼 孟(明)	營陣圖說(共輯)	三七・三二
張 皇 威(明)	火攻急務	三七・三二	張 皇 威(明)	火攻急務	三七・三二	張 皇 威(明)	火攻急務	三七・三二
攻城條略	守城條略	三六・三二	攻城條略	守城條略	三六・三二	攻城條略	守城條略	三六・三二
水戰急務		三三・三六・三二	水戰急務		三三・三六・三二	水戰急務		三三・三六・三二
張 思 琳(明)	武庫纂略(共編)	三三	張 思 琳(明)	武庫纂略(共編)	三三	張 思 琳(明)	武庫纂略(共編)	三三
張 晉 雄	選信省の建築	二五・六二	張 晉 雄	選信省の建築	二五・六二	張 晉 雄	選信省の建築	二五・六二
張 澍(清)	司馬法(編)	三六	張 澍(清)	司馬法(編)	三六	張 澍(清)	司馬法(編)	三六
張 宗 良(清)	普法戰紀(譯)	三二	張 宗 良(清)	普法戰紀(譯)	三二	張 宗 良(清)	普法戰紀(譯)	三二
張 紹 學(清)	軍器則例(共編)	三三	張 紹 學(清)	軍器則例(共編)	三三	張 紹 學(清)	軍器則例(共編)	三三
張 泰 交(清)	歷代軍戰叙略(編)	三五	張 泰 交(清)	歷代軍戰叙略(編)	三五	張 泰 交(清)	歷代軍戰叙略(編)	三五
張 鵬 翮(清)	河防志	三七	張 鵬 翮(清)	河防志	三七	張 鵬 翮(清)	河防志	三七
江防述略	趙 學 敏(清)	二四	江防述略	趙 學 敏(清)	二四	江防述略	趙 學 敏(清)	二四
火 戲 略	趙 光 裕(明)	三三	火 戲 略	趙 光 裕(明)	三三	火 戲 略	趙 光 裕(明)	三三
武家叢(註)	趙 子 禎(明)	三三	武家叢(註)	趙 子 禎(明)	三三	武家叢(註)	趙 子 禎(明)	三三
車 銃 圖	神 器 譜	三四	車 銃 圖	神 器 譜	三四	車 銃 圖	神 器 譜	三四
趙 商 英(宋)	素 書(註)	三九	趙 商 英(宋)	素 書(註)	三九	趙 商 英(宋)	素 書(註)	三九
趙 蕤(唐)	長 短 經	三〇	趙 蕤(唐)	長 短 經	三〇	趙 蕤(唐)	長 短 經	三〇
趙 秉 裕(清)	素 書(校)	三九	趙 秉 裕(清)	素 書(校)	三九	趙 秉 裕(清)	素 書(校)	三九
趙 璠(清)	軍器則例(共編)	三三	趙 璠(清)	軍器則例(共編)	三三	趙 璠(清)	軍器則例(共編)	三三
趙 本 學(明)	趙註孫子(註)	三〇	趙 本 學(明)	趙註孫子(註)	三〇	趙 本 學(明)	趙註孫子(註)	三〇
趙 寤(清)	江防集要(編)	三四	趙 寤(清)	江防集要(編)	三四	趙 寤(清)	江防集要(編)	三四
朝鮮銀行調查局	朝鮮ノ石炭及發電水力	一七	朝鮮銀行調查局	朝鮮ノ石炭及發電水力	一七	朝鮮銀行調查局	朝鮮ノ石炭及發電水力	一七
朝鮮銀行調查部	朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利 用トニ就テ	一五	朝鮮銀行調查部	朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利 用トニ就テ	一五	朝鮮銀行調查部	朝鮮ニ於ケル石炭ノ需給ト其ノ利 用トニ就テ	一五
朝鮮警察協會	火藥講演集	二四	朝鮮警察協會	火藥講演集	二四	朝鮮警察協會	火藥講演集	二四
朝鮮建築所	建築所事業概要	二五	朝鮮建築所	建築所事業概要	二五	朝鮮建築所	建築所事業概要	二五
朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 決議事項	一四	朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 決議事項	一四	朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 決議事項	一四
朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 第一節調查報告書	一四	朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 第一節調查報告書	一四	朝鮮鑛業會	朝鮮鑛業會臨時鑛業調查委員會 第一節調查報告書	一四
朝鮮工業協會	朝鮮の工業と其の資源	六	朝鮮工業協會	朝鮮の工業と其の資源	六	朝鮮工業協會	朝鮮の工業と其の資源	六
朝鮮鑛業研究會	朝鮮工業要覽	六	朝鮮鑛業研究會	朝鮮工業要覽	六	朝鮮鑛業研究會	朝鮮工業要覽	六
朝鮮史編修會	鑛管兵編伍册殘卷	三三	朝鮮史編修會	鑛管兵編伍册殘卷	三三	朝鮮史編修會	鑛管兵編伍册殘卷	三三
朝鮮總督府	鴨綠江橋梁工事概況	六	朝鮮總督府	鴨綠江橋梁工事概況	六	朝鮮總督府	鴨綠江橋梁工事概況	六
京義線工事概況	鐵區一覽	一五	京義線工事概況	鐵區一覽	一五	京義線工事概況	鐵區一覽	一五
上水協議會議事錄	朝鮮航路標識便覽表	二六	上水協議會議事錄	朝鮮航路標識便覽表	二六	上水協議會議事錄	朝鮮航路標識便覽表	二六
朝鮮土木事業誌		二六	朝鮮土木事業誌		二六	朝鮮土木事業誌		二六

朝鮮總督府官房土木部 治水及水利踏査書 七	朝鮮總督府官房文書課 朝鮮の鑛業 三五	朝鮮總督府殖産局 朝鮮鑛業の趨勢 一五 朝鮮鑛區一覽 一五 朝鮮の金銀鑛業 一五 朝鮮の石炭鑛業 一五 朝鮮の鐵鑛業 一五	朝鮮總督府殖産局鑛山課 朝鮮特種鑛物資源調査報告 一六 朝鮮總督府商工局 朝鮮鑛産地 一五	朝鮮總督府水産試驗場 朝鮮近海海洋圖 二六 朝鮮總督府地質調査所 石炭乾餾試驗報告 二三 石炭風化試驗成績報告 一七 朝鮮鑛床調査報告 一六 朝鮮鑛物誌 一六 朝鮮地質鑛床分布圖 一六 朝鮮地質調査要報 一六	朝鮮總督府遞信局 電氣事業要覽 二〇 發電計畫及送電網計畫書 二三 發電水力調査書 二三	朝鮮總督府鐵道局 鴨綠江橋梁工事報告 六	朝鮮總督府內務局 朝鮮河川調査書 七 朝鮮窮民救済治水工事年報 七 朝鮮直轄河川工事年報 七	朝鮮總督府燃料選鑛研究所 選鑛製煉試驗報告 一八 朝鮮總督府殖産局燃料選鑛研究所 石炭試驗報告 二三 朝鮮炭田調査報告 一七 平安南道南部無煙炭炭田 一七 平安南道北部無煙炭炭田地質圖 一七	朝鮮總督府臨時土地調査局 圖根測量縱橫線差算出表 七	陳廷對(明) 地利海防險要 三〇・三一	陳 亮(宋) 龍川先生酌古論 三三	陳 播(明) 師律提綱 三三・三六	陳 傅良(宋) 歷代兵制 三七	塚本 靖 支那建築(共編) 支那建築解説(共編) 日光廟建築論(共) 日本の佛敎建築概説 二〇 二一 二二	津川俊夫 住宅其他の防護室 二七・二八	築山閏二 内燃機關燃料 二 柘植重美 描 圖法(共) 六	柘植芳男 學校(共) 二五・二六	辻 二郎 光彈性學と理研光彈性裝置(共) 彈性實驗法 一〇・一一	辻井 靜二 建築構造力學 二七	辻村太郎 一九三一年巴里萬國地理學會議 乾燥地形・氷蝕地形及びカルスト地形 一五	陳 克(宋) 東南防守利便 三三	塚本 越夫 有機化合物熔融點表(共編) 一五	ツカ―ツル 都賀庭鐘 天工開物(校) 一四	塚田太郎 方向探知器(共) 二九・三〇	塚本 閣治 小型映畫攝影と映寫 三三・三四
-----------------------------	---------------------------	---	--	---	--	----------------------------	--	--	----------------------------------	---------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------	--	---------------------------	---	------------------------	---	-----------------------	---	------------------------	------------------------------	--------------------------------	---------------------------	-----------------------------

辻村太郎(續)

環太平洋地域の地理

景觀地域

景觀の研究

斷層地形

辻元謙之助

熱ノ合理的使用

辻本滿丸

肝油の研究

都筑通督

本邦道路橋樑覽(編)

津田敬武

鳳凰堂の研究

津田信夫

金工

津田信良

現代工業常識(編)

和洋建築規矩術

津田吉文

最新基本電氣磁氣測定法

土田盛一

燃料酒精講演集

燃料酒精座談會筆錄

土御門晴善

絹絲化學

土屋 壽

機械工學活用表

土屋純一

清國北京紫禁城建築調査報告

土屋竹松

電動機應用(共)

土屋 直

二・三の土木材料の比熱測定結果

に就て(共)

土屋紋藏

測量(共)

堤 繁

揮發油の合成

メタンより水性ガスの生成

堤 董眞

兵學提要(譯)

堤 秀夫

電氣磁氣學(共)

電子論

綱島政吉

架空索道及其運材能力

常岡俊三

合成液體燃料

坪井誠太郎

火成岩成因論

カーネギー研究所地球物理學

實驗所の岩石學上の業績

鑛物及び岩石の光學的鏡檢法

坪井忠二

大阪及び海洋の生成に關する地球

物理學的諸論說

測地學的方法によつて見出され

た地殼の變形

地球物理學的に見た東北日本と

西南日本

坪井道三

機械設計(共)

工學獨逸語解釋研究(共)

獨英和對譯機械用語集

坪井美雄

銅鑛製煉法

坪井善勝

床版の計算(譯)

壺井義知

本朝刀劍略記

坪谷幸六

鑛業工學(共)

地質鑛物學概論

本邦の硫黃及び燐礦

津屋弘造

本邦火山の構造

ツラットマン(米)

鐵道軌道論

鶴岡鶴吉

應用力學

四連モーメントの定理とその應用

(共譯)

土壓及び地盤の支持力(共譯)

遞信省電氣局

歐米各國に於ける電氣事業並に其の行政	二〇〇
歐米に於ける電氣實驗所	二〇〇
許可水力地點要覽	二〇三
水力調査書	二〇三
電氣事業一覽圖	二〇八
電氣事業概況	二〇八
電氣事業月報	二〇三
電氣事業調査資料	二〇八
明治四一年電氣事業要覽	二〇九
明治四二年電氣事業要覽	二〇九
明治四三年電氣事業要覽	二〇九
明治四四年電氣事業要覽	二〇九
大正元年電氣事業要覽	二〇九
第八回電氣事業要覽	二〇九
第九回電氣事業要覽	二〇九
第一〇回電氣事業要覽	二〇九
第一一回電氣事業要覽	二〇九
第一二回電氣事業要覽	二〇九
第一三回電氣事業要覽	二〇九
第一四回電氣事業要覽	二〇九
第一五回電氣事業要覽	二〇九
第一六回電氣事業要覽	二〇九
第一七回電氣事業要覽	二〇九
第一八回電氣事業要覽	二〇九
第一九回電氣事業要覽	二〇九
第二〇回電氣事業要覽	二〇九
第二一回電氣事業要覽	二〇九

遞信省電氣局(續)

第二二回電氣事業要覽	二〇九
第二三回電氣事業要覽	二〇九
第二四回電氣事業要覽	二〇九
第二五回電氣事業要覽	二〇九
第二六回電氣事業要覽	二〇九
第二七回電氣事業要覽	二〇九
第二八回電氣事業要覽	二〇九
第二九回電氣事業要覽	二〇九
發電水力地點要覽	二〇九
發電水力調査概況	二〇九
發電水力の標準使用水量並に水力火力併用に關する研究	二〇九
流量要覽	二〇九

遞信省電氣試驗所

電氣計器型式集	二〇六
電氣試驗所彙報	二〇六
電氣試驗所研究報告	二〇六
電氣試驗所事務報告	二〇六
電氣試驗所第一部彙報	二〇六
電氣試驗所第二部別刷集	二〇六
電氣試驗所第三部別刷集	二〇六
電氣試驗所調査報告	二〇六
電氣試驗所報告	二〇六

遞信省電務局

電信沿革史	二〇六
電信沿革略史	二〇六

遞信省電務局(續)

電務研究資料	二〇六
電務年鑑	二〇六

遞信省臨時調査局海事部

英國ノ造船及造機業(譯)	二〇四
鐵筋混凝土船舶ニ關スル調査	二〇四
佛國ニ於ケル主要開港ニ關スル調査	二〇六

遞信省臨時調査局電氣部

印度ニ於ケル電氣事業並電氣用品市場	二〇九
濠洲比律賓及蘭領印度に於ける電氣用品市場調査報告書	二〇五
纖維質絶縁物に關する調査	二〇三
大正三年八月以降ニ於ケル本邦電氣事業ノ狀況	二〇八
電氣化學工業ニ關スル調査	二〇六
電氣工業用材料ノ需給ニ關スル調査	二〇五
電氣用絶縁物ニ關スル調査資料	二〇三
獨逸及奧國の電機工業	二〇八
米國に於ける電氣事業の概況	二〇九
米國及加奈陀に於ける電氣事業並發電水力の概況	二〇九
本邦製護絶縁電線に關する調査資料	二〇三

遞信大臣官房文書課

英米ニ於ケル電話事業	二〇八
英米ノ市外電話事業	二〇八
ティモシエンコ(米)	二〇七
工業振動學	二〇七
材料力學	二〇三
彈性體の力學	二〇三
テイラー(英)	二〇九
コロイド化學	二〇九
テイイチェンス(獨)	二〇九
流體力學(其)	二〇九

テウーテ

出浦高介	二〇九
建築請負の制度及法律概論	二〇九
的樓那限(佛)	二〇六
佛蘭西各屆智幾	二〇六
出口雄三	二〇六
(臺灣) 臺灣糖業及糖物調査報告(共)	二〇六
勅使河原健樹	二〇六
電氣鐵道用變電所	二〇六

寺澤寛一

應用數學(共編)
理論電氣磁氣學(共譯)

二六
二三

寺島成信

海運篇

二五三

寺田幸照

兵法奥義捷徑

三六

寺田貞次

交通地理

二五

寺田正淨

兵法登假集

三六

寺本圭助

セルロイド簡易加工法

二七

デーア(米)

甘蔗糖學

二二

テラー(米)

航空用發動機の設計に就て

二九

デーリ(米)

構造地質學講話

二五

テン

田奇瑋(民)

湖南水口山鉛鋅鑛報告(共)

二五

電氣學會

最近の無線通信工学
綜合報告

三六

電氣學會五十年史

二六

電氣學會雜誌(第一)總目錄

二九

電氣學會雜誌(第七)總目錄

二九

電氣機器最近の發達

二六

電氣工學に於ける數學の應用

二五

電氣工學年報

二七

電子工學の理論と應用

二四

電氣工學ポケットブック

二五

電氣に關係ある音響學と其の應用

二五

電氣に關する物理學最近の諸相

二五

電氣の火力發電所

二四

電氣の送電問題

二五

電氣の送電問題

二七

電氣の送電問題

二五

電氣の送電問題

二五

電氣學研究所

實用電氣學問答

二二

電機學校

交流理論

二二

送電配電

二五

蓄電池

二七

電氣技術者資格檢定試驗問題並に解答

二六

電氣教育研究會

配電法

二五

電氣協會

屋內電氣工事施設要則

二六・二七

架空電線路建設要則

二五

地中電線路建設要則

二六

電氣協會十年史

二七

電氣事業會計解説

二二

電氣事業關係判決集

二二

電氣協會關西支部

電氣協會關西支部十年史

二七

電氣工作物風水害豫防調査委員會調査報告書

二二

電氣大博覽會報告

二六

元中央電氣協會史

二七

電氣協會關東支部

火力發電所用語集

二四

十五年史

二七

水銀整流器講習錄

二五

電氣協會關東支部(續)

電氣材料ポケットブック

二五

電氣用材料仕様書

二五

電氣協會工手養成所

開閉器に就て

二二・二六

簡易照明と暖房

二二・二四・二六

計器と電流制限器

二二・二六

檢査に就て

二二・二七

建築設計圖面の見方

二二・二七・二五

事故處置

二二・二七

扇風機

九・二二

電氣協會工手養成所パンフレット

二二

電氣とは

二二・二三

電線と接續材料

二二・二六

電燈から引込まで

二二・二七

電動機

二二・二八

電燈器具に就て

二二・二五

電熱器に就て

二二・二六

内線電氣工手必携

二二・二七

配線圖の書き方

二二・二七

「ヒューズ」と接地

二二・二七

木製線種鉛被線工事

二二・二六

電氣協會調査部

電氣事業資料

二六

電氣協會電氣計器大阪試驗所

電氣計器大阪試驗所彙報

二六

電氣協會電氣計器東京試驗所 復興十年史	三三	電氣日報社 電氣事業國策論叢	三三	電通社 交通と電氣	二〇	土居禎夫 本邦人絹工業の現在及び將來	二二六
電氣經濟研究所 日本電氣經濟年史	二〇六	電氣之友社 電氣工事人便覽 大正一一年電氣年鑑 大正一五年電氣年鑑 昭和三年電氣年鑑 昭和五年電氣年鑑 昭和六年電氣年鑑 昭和七・八年電氣年鑑 昭和八・九年電氣年鑑 昭和一〇年電氣年鑑 昭和一三年電氣年鑑	二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七 二〇七	電燈五十年記念會 電燈五十年記念會誌	二二	土居寬通 煖房及換氣設備 煖冷房及換氣	二五・二六 八八・八六
電氣經濟時論社 電報事業年報	二三	電氣文化振興會 新電氣供給規定集	三三	傳 友 社 大正七年電氣年鑑 電信學階梯	二七 二七	土居松市 鐵筋コンクリート家屋構造	二六八
電氣工學編輯部 電線計算表	二二七	電車製作調査委員會 最新電動客車明細表及型式圖集	二四	獨 逸 國 際 住 宅 協 會 不良住宅地區改良事業	二五	獨逸國際住宅協會 獨逸コンクリート協會 鐵筋コンクリート構造	二五 二五 三・二五
電氣工作物震災豫防調査會 電氣工作物震災豫防調査會調查書	二〇	電氣文化振興會 新電氣供給規定集	三三	獨逸產業合理化協會經濟的製造 工業委員會	九 九	獨逸產業合理化協會經濟的製造 工業委員會	九 九
電氣作業安全心得制定委員會 電氣作業安全心得	二七	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七
電氣事業研究會 電氣事業界當面の緊要問題 電氣事業研究資料	二〇 二〇 二八	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七
電氣新報社 明日の電氣事業	二三	電信電話學會 通信工學ポケットブック 通信工學邦文外國雜誌 電信電話學會雜誌	二六 二六 二六 二六	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七
電氣製鋼研究會 電氣製鋼	二六	電信電話學會論文翻譯委員會 軌道回路 電波傳播	二八 二八 二八	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七	獨逸油脂學術研究本部 獨逸油脂工業標準試驗法	二七

ドゥヴィレル(佛)

内燃機關

飛行機の力学

遠山 繁

測量學大意

梶野明二郎

最新醬油醸造論

最新醬油味噌醸造法

戸川 政治

航空輸送

常磐書房

高等建築學

高等土木工學

徳江 徳

内燃機關(共譯)

徳川義直

軍書合鑑

徳島 縣

阿波戦時記

徳田貞一

孤狀山脈

日本地體構造序論

徳永重康

三疊紀(共)

常磐炭田地ノ地質

哺乳類

徳永 庸

一般建築構造

徳野嘉七

日本酒改良實業問答

戸倉英一

土木設計便覧

塗工之魁新聞社

塗料年鑑

戸田武雄

機械の經濟學

獨國海軍軍令部

北海海戦史

トッド(米)

保護繼電器

利根川金之助

金鐵精鍊實施法

金鐵の製鍊

金鐵の選鑛と汰鑛の處理法

利根川守三郎

電話の理論と其應用

鳥羽正雄

城郭の變遷

日本城郭史(共)

飛永甚治

汽罐・汽機

最新蒸氣タービン

最新力学及材料強弱學

内燃機關

商車の設計並齒切法

土木學會

昭和九年關西地方風水害調査報告

大正十二年關東大地震災害調査報告

告

土木工學用語集

土木工學論文抄録

土木工事寫真集

明治以前日本土木史

土木研究會

土木技術に關する仕様及諸規定

土木研究資料編纂會

土木研究資料

日本治水史

土木工業社

護岸と水制

最近道路橋設計實例集

土木政法會

現行土木法令

交通土木法規總攬

土木法令研究會

土木關係法令集

土木寮

堤防橋梁積方大概

トマートリ

苦名孝太郎

架索索道計算法

苦米地 貢	趣味のテレビジョン 趣味の無線電話	一四三 一四〇
富井六造	電氣化學	二二・二五
富岡百鍊	孫子約説(校)	三三〇
富岡 弘	増感及減感法	三二・三四
富塚 清	航空原動機 航空發動機(共) 内燃機關史	二九六 八八・九六・二九 九五・九六
富田久三郎	工業數學初步	一六・九
富田 達	アルカリ岩	一五七
富田芳郎	軟質砂石の機械的分析に就て	一五
富永長治	建築施工用機械設備	二五・二六
富永 齊	電氣化學	一九・二五
富久力松	ワイスコースの研究 人造絹絲	三六 三六
富山 保	電氣化學工業	二五
トムソン	電氣及磁氣學	三三
外村徳三	電極・黒鉛・カーボランダム(共)	二五・二七
友田宜孝	化學機械學 化學工業 砂糖工業 醸造及清涼飲料水(共) 澱粉工業	二五 一九 一〇〇・二四 一〇一・三六 一〇〇・四三
友田三八二	電氣計器(共)	二六
友部正介	邊籾紀聞	三五
友松仙藏	鐵筋混凝土施工法	三〇
富山縣	黒部川用水合口事業誌	七
外山修之	油脂類	三六
豊口克平	現代家具製作の知識(共)	二九
十代田三郎	商店建築(共) 商店の平面計畫 新金屬板構造と金屬建具	三三・三六 二七 三三・三六
豊田克平	標準家具	二五・二九
豊田研究室	第三回蓄電池發明懸賞募集審査報告書 電池に関する特許文獻 豊田研究彙報	二七 二六 二六
豊田四郎	三角測量 多角測量及其應用	三六 三六
豊原信一郎	タングステンとモリブデン 銅と亜鉛	一六五 一六五
トラウニイク(獨)	電氣鐵道	一四
鳥居巖人	電氣鐵道論集(編)	一四
鳥居敬造	〔臺灣〕新竹州苗栗及竹東油田調査報告(共)	一七
鳥居秀夫	〔臺灣〕臺南州新北油田調査報告	一七
西水孜郎	農業の地域性	一八
鳥山四男	高壓電氣工學原論 高電壓發生裝置(共) 電氣絶縁論	一三 一三 一三

トルガシエフ(録)
北滿之石炭 一七三

トートーワ

陶希聖(民)
唐宋官私工業(校) 六

陶弘景(梁)
古今刀劍錄 三三

藤壽山
鑛山紀年錄 一四

東亞同文會
支那工業綜覽 六

ドーヴノイ(英)
電氣鐵道 一四

東奥日報社
滿洲事變第八師團戰功史 三七

東學社
航空機工学大講座 二六
最新建築工学 二五
實用建築講座 二五

東瀾智海
鑄錢圖解(校) 一七

統監府通信管理局
韓國通信線路圖 二七

統監府通信事業第一回報告 二一
統監府通信事業第二回報告 二二
明治四十年度統監府通信事業
第二年報 二六

明治四十一年度統監府通信事業
第三年報 二六

東木龍七
微地形論 一五

東京朝日新聞社
戰爭美術展覽會圖錄 三四
日本寫真年鑑 三五

東京化學器械同業組合
化學機械目錄 二五
化學之友拔萃集 一六

東京瓦斯株式會社
東京瓦斯株式會社沿革及事業略史 三四
東京瓦斯五十年史 三四

東京經濟新報社
二年兵役論 三六

東京鑛山監督局
東京鑛山監督局管内鑛區一覽 一五

東京鑛山監督署
鑛業概覽 一四
日本鑛業誌 一四

東京工學研究會
測量重要諸表 五七
土木工學公式便覽(編) 五七
土木工事歩掛と單價表 五七
トランシット測量 五七
平板測量及水準測量 五七

東京工業研究會
機械學問答 六

東京工業試驗所
鹽素製糖法ニ關スル研究 二四
「カセイソ」接合劑ノ強度ニ關スル
研究 二四
加里原料調査報告概要 二四
澱粉糊研究報告 二四
東京工業試驗所年報 二五
東京工業試驗所報告 二五

東京工業試驗所(續)
糖類ノ鹽素酸化ニ關スル研究 二四
木材「バルブ」ニ關スル研究 二七

東京工業大學
東京工業大學學報 二

東京工業大學工業經濟調查部
工業現勢 一四
新興工業の吟味 一

東京高等工業學校
東京高等工業學校校報 三

東京高等商業學校
電氣鐵道調査報告書 一四

東京市
下水道水質試驗方法 八四
下水道設計標準圖 八四
下水道要記 八四
第二回東京市下水道年報 八五
東京市下水道改良實施調査報告書 八四
東京市下水道事業概要 八五
第八回東京市下水道事業年報 八五
東京市下水道災害調査報告 八五
東京市高層建築物調査 二六〇

東京市〔續〕

東京市中央卸賣市場築地本場建築 圖集	二七四
東京市廳舎建築設計懸賞競技入賞 圖集	二七四
東京市政調査會 運河事業ニ關スル調査	二八
街路照明	二三四
大建築物煖房資料	二八六
本邦瓦斯事業ニ關スル調査	二三四
本邦軌道事業ニ關スル調査	二六〇
本邦水道事業ニ關スル調査	二八四
本邦地下鐵道事業ニ關スル調査	二六二
本邦電氣供給事業ニ關スル調査	二二九
我國水力電氣の利用限に就て	二二三
東京市電氣局 伯林市街電氣鐵道の發展	二四
東京市電氣局庶務課 電氣軌道事業關係統計資料	二四
東京市電氣研究所 東京市電氣研究所研究報告	二〇八
東京市電氣研究所調査報告	二〇八

〔東京市土木局〕都市美協會

現代之都市美 建築の東京	二八
大東京建築祭建築設計競技 銀座街共同建築	二二九
東京市道路局 歐米都市ニ於ケル鋪道及橋梁調査 報告書	二六六
東京商工會議所 壓縮空氣設備の設計と運轉(譯)	二九
化學工業講話	二九
機械工業講話	二七
機械的動力傳達裝置(譯)	二九
工場に於ける寸法の測定法(譯)	二
工程管理(譯)	二
最新自動車修繕工場(譯)	二四
特殊計算尺(譯)	二七
珙那鐵器工業の進出 躍進する我國の羊毛工業	二二七
府立東京商工獎勵館 金屬材熱處理七講	二七
建築資料	二五
商店建築及計畫圖案	二〇・二九
電氣鑄接六講	二九

東京震災記念事業協會

大正地震災記念建造物競技設計 圖集	二四
東京製鋼株式會社 鋼索(ワイヤロープ)	二六
東京稅務監督局 清涼飲料製造法	二四
東京稅務監督局鑑定部 酒造工場科學的管理法	二九
東京地學協會 支那地學調査報告	二六三
東部西伯利亞礦物分布圖	二七
東京地下鐵道株式會社 上野淺草間開通記念 上野淺草間建設工事概要	二六
東京地方遞信局 管内電氣事業覽要	二〇
東京帝國大學 東京帝國大學紀要	二
東京帝國大學工學部 東京帝國大學工學部學術報告	二

東京帝國大學工料大學

東京帝國大學工料大學學術報告	二
東京帝國大學工料大學紀要	二
北京皇城裝飾	二九〇
東京帝國大學航空研究所 東京帝國大學航空研究所彙報 東京帝國大學航空研究所雜錄 東京帝國大學航空研究所報告	二九七 二九七 二九七 二九八
東京帝國大學礦物學研究室 日本礦物結晶圖譜 本邦礦物結晶圖譜	二六五 二六五 二六六
東京帝室博物館 清國北京皇城寫真帖 東京帝室博物館天產部陳列品目錄	二六三 二六三 二六五
東京鐵道局運輸課 砂利に關する調査	二五
東京鐵道局電氣課 電車線路施設心得	二五
東京電氣株式會社 マツダ研究時報 マツダ新報	一一〇 一一〇 一一〇
我社の最近二十年史	一一三

東京電氣無線株式會社
無線資料 一四

東京電燈株式會社
東京電燈株式會社開業五十年史 一三
內線規程 二七

東京土木建築業組合
東京土木建築業組合沿革史 四二五

東京府荒玉水道町村役場
荒玉水道誌 四

東京府江戸川上水町村組合
江戸川上水道誌 四

東京府土木部
東京都市計畫環狀道路改修工事報告書 四
道路交通情勢調査報告書 三

東京府土木部橋梁課
東京府橋梁設計圖集 九

同濟號書房
工業藥品大辭典 一〇一

湯若望(獨)
火攻要略 三三
火攻要諸器圖 三三
增補則克錄 三六

水子
武器圖考 三四

東條英
砲將須知(譯) 三五

東條喜一
機械(共) 六
電氣機械試驗法 二九

燈臺局
燈臺年報 二六

東寧杞憂居士
東西戰後策 三五

東北帝國大學金屬材料研究所
金屬材料研究所年報 元
鐵鋼顯微鏡組織 一三

東北帝國大學工學部金屬工學科
研究報告 一八

東北帝國大學附屬電氣通信研究所
東北帝國大學電氣通信工學研究論 一七
文

東北帝國大學理學部
地質學古生物學教室研究邦文報告 一五

東部鐵道管理局工務課
松野隧道崩壞復舊工事誌 七

東邦電力株式會社調查部
米國超電力聯系に關する組織 二九

遠山景元
等海内循錄 三三・三四

遠山 愿
砂糖精製法講話(共譯) 二二

當山道三
初級工業力學 一九
地質工學(共) 一四

東洋協會調查部
支那當面の國防作戦計畫 一〇一

東洋經濟新報社
戰時經濟法令集 三三

道路改良會
道路職員必携 三三
道路の改良 三

東和公司
博山石炭鑛業概要 一七

十一

内外資料協會
液體燃料 三三

內閣印刷局
兵役法關係法規(昭和二年改正) 三六

內閣記錄局
兵制 門 三六

內閣資源局
重要礦物資源資料目錄 一五
全國公私試驗研究機關試驗研究項目要覽 二

內閣情報部
大戰間獨逸の諜報及宣傳 三一
大戰間に於ける佛國の對獨宣傳 三一

内藤卯三郎

電磁氣學要論 二二

内藤邦策

航空機 三〇〇

自動車 一〇三

發電機 二九

内藤多仲

建築構造學 二七

建築構造要覽 二七

建築の熔接(共) 一八・一九

最新建築構造學 二六七

耐震強度計算書式及規準 二七〇

耐震強度計算書設計實例 二七〇

耐震構造論 二七〇

鐵骨構造施工指針(共) 三二・三三

内藤游

汽罐燃料焚燒法 三〇

實用瓦斯便覽 三〇

燃料研究資料 三〇

燃料論集 二八

内燃機關研究會

内燃機關譯文獻集 六

内務省

戰時援護事業と慈惠施設 三三三

特別保護建造物及國寶帖 二〇〇

内務省衛生局

結核病院及結核療養所ノ建築法 二九

結核豫防法 二九

内務省大阪土木出張所

敦賀港改良工事誌 八

内務省社會局

英佛獨ニ於ケル住宅法制 二九

内務省社會局社會部

外國に於ける不良住宅地區改良事業(譯) 二九

内務省社會局勞働部

綿紡織機械安全設備(譯) 三三

内務省社會局勞働部監督課

有害工業解説(譯) 二

内務省宗教局

特別保護建造物及國寶目錄 二〇〇

内務省地方局

英佛兩國に於ける戦後改造問題・戦後に於ける獨逸の都市移住政策 三三

歐洲諸國糧食調節策・英國及加奈陀に於ける食糧問題・米國に於ける食糧問題・巴里市肉類價格の騰貴及其調節策・獨逸の都市に於ける食料品の供給 三三

社會問題・佛獨の農業及財政 三三

戦時及戦後に於ける列國の人口問題 三三

戦時及戦後に於ける列國の勞働問題 三三

戦時に於ける里昂市經營事業・戦争と社會問題 三三

戦時の財政經濟・軍國氣質 三三

戦時列國地方資料 三三

獨逸戦時に於ける地方勞力の分配 三三

廢兵軍人遺族の救護 三三

婦人の後援事業・婦人勞働問題 三三

列國戦時に於ける酒精の節制 三三

列國戦時に於ける食料の供給 三三

内務省土木局

九頭龍川改修工事 七

砂防工寫眞帖 七

第三回萬國道路會議復命書 七

治水事業ニ關スル統計書 七

内務省土木局(續)

直轄工事年報 三

利根川・信濃川・澁川・木曾川山地砂防工事歴 七

利根川第一期改修工事 七

土木工要錄 三

統計年報 三

淀川改良工事 六

内務省土木試驗所

「アスファルト」(合材混合の際に於ける「アスファルト」の粘度 三

瀝青質混合物に關する研究 三

瀝青質材料針度に就て 三

瀝青質材料標準試驗方法 三

「ヴァイアログ」による路面凹凸測定 三

簡易舗裝に關する試驗報告 三

急硬性「セメント」に關する試驗 三

石材類標準試驗方法 三

土木工事用材料標準試驗方法 三

土木試驗所彙報 三

土木試驗所報告 三

本邦道路橋輯覽 六

内務省東京土木出張所

江戸川水利統制 七

利根川改修工事概要 六

内務大臣官房都市計畫課

市街地建築物法の效果
市街地建築物法の話
二九二
二九三

ナウカ社

最近のソヴェト建築
ソヴェト建築思想(譯)
二四四
二五〇

直木倫太郎

技術生活より
土木工学水理學
七
七

ナカイ—ナカケ

中井愛次

本邦海工構造物設計大輯(編)
八〇

中井將一

擴聲器(譯)
ト—キ—
一四一
一四六

中井武雄

代用品工業(共編)
二四八

中井良太郎

兵役法詳解
三六

中居義倚

集要他藥新書
三五

永井一雄

臺灣産「樟牛油」及「油樹油」研究
報告(編)
三七

永井健三

傳送回路網學(共)
三七

永井彰一郎

珪酸鹽工業
珪酸鹽工業要覽
混合セメントの知識
石灰・石膏・プラスチック類(共)
二四・二五
二五
二五
二四・二五

セメント及び漆喰類

セメント概論
耐火材料及び其の試験法
耐火物
耐火物の化學と試験法
無機化學工業
無機工業材料
無機質化學工業材料(共)
窯業
窯業品の化學製造及試験法
煉瓦・瓦・タイル及耐火物
一四・一七
一九・二七
四〇・三六
一〇・三
二六・四六
二六
一九
一九・二七
二五
二五
二〇・二六・二六

永井長治

「ランカシヤ」縮工業及「ヨークシヤ」
毛工業ノ概況
三五

永井時一

金澤コンクリート試験鋪裝報告
(共)
三〇

永井博

車輛用機關
九五・九七

永井弘之

天然瓦斯の鹽素置換に關する
集報
三四・三五・
三五

永井保興

製絲家必携
三三

永井雄三郎

液體燃料の合成
燃料・燃焼及潤滑油(共)
一九・三三
九五・三〇

長井熊吉

河川工事施工法(共)
五

長井忠三郎

錦囊測量全書
五

中泉正徳

醫學的レントゲン寫眞
三三・三四

中江大部

石鹼製造化學
油脂工業化學
三六
三六

中尾清藏

所謂關東ロームの機械的並びに
鑛物學的研究
一五七

中尾保

西洋建築史概要
二五七

水雄節郎

瓦斯發動機と瓦斯力發電所
起重機
九七・二四
九八・九

長尾巧

古第三紀
筑豊炭田地圖
一五・一六
一七

長尾不二夫

チーゼル機關の燃料噴射及燃焼
燃料噴射及燃料ポンプ(共)
船用機關及陸上用内燃機關(共)
六
九五・九六
九五・九五

長岡外史

航空篇
二九七

中島銳治	英和工學字典(共編)	八	中島飛行機株式會社 研究報告	二九八	永田念郎	耐震建築	二五・二七〇	中西副松	軍事教育の本領	三〇〇	
中島顯三	膠着劑	二五二	永島福太郎	石山合戦(共)	三〇四・三〇五	永田年	鐵筋混凝土工學 鐵筋コンクリート設計法	二八・四〇 三〇・四四	中西不二夫	發動機の力學(共)	九〇・九六
中島茂	振動學入門(譯)	二四二	長島躬行	陰極線式テレビジョン ブラウン管及び光電管	一四二・一四三 一三九・一四一	中津市役所	中津町上水道誌	五	長沼宗敬	握奇(經)八陣集解	三三・三七 三四
中島武	航空時代	二九七	永積純次郎	近代の鑛山	一四	中西健治	硝子及其加工法	二〇二・二〇六	戰格	田帥陣營篇	三四
中島武太郎	實用色染學	三三九	鑛山の計畫及設計	一六	中西岩次郎	鉛アンチモン合金の水素過 電壓(共)	二〇六	兵要錄	兵要錄抄錄	三六	
中島正	纖維素及び其誘導體の研究	三三五	鑛山變災	一七〇	中津市役所	中津町上水道誌	五	兵要錄筆記	兵要錄筆記	三六	
中島友正	實用電氣機械	二二八	鑛山用器具及機械	一六九	中津市役所	中津町上水道誌	五	中根勇吉	滿洲に於ける柞蠶製絲業	三四	
中島長守	中島流砲術傳書(共編)	三三〇	探鑛學	一六八	中津市役所	中津町上水道誌	五	中野清二	制御方式及び配電盤(共)	二六	
中島正巳	電鑄及電鑄(共)	一〇五・一〇五	探鑛學通論	一六八	中津市役所	中津町上水道誌	五	中野竹四郎	牧畜	一五八	
中島工學博士記念事業會	日本水道史	八四	探鑛用品	一六九	中津市役所	中津町上水道誌	五	中野直信	實用ケーブル施工法	一四	
			製鐵	一六三	中津市役所	中津町上水道誌	五	初等電信電話	初等電信電話	一三七	
			永田義算	風景寫眞の作り方	二二三	中津市役所	中津町上水道誌	五			
			永田贊典	邊論合璧(編)	三三五	中津市役所	中津町上水道誌	五			
			永田二龍	風景寫眞の作り方	二二三	中津市役所	中津町上水道誌	五			

ナカニ―ナカミ

中野弘策	機械材料金屬學初歩	六〇	長野宗四郎	近世化學工業(共)	一九	中原虎男	纖維工業	三三	中間 清	最新道路工學	三
中野 實	坑氣調整學(共)	一七	長野梯介	冷凍及び冷凍機械	二四	中原正虎	木材の人工乾燥と木取	二四	永廻 登	吸着と收着	一九・二七
中野彌吾(楚溪)	國寶綜覽	二五	長野昌隆	電解腐蝕に依る製版法の研究(共)	二六	中原益治郎	金屬塑性學(共)	一六	中松盛雄	發明篇	五
竹生島建築裝飾(編)		二九	中橋末吉	有機化合物熔融點表(共編)	一五	永原與藏	新らしき和風家具	二九	永松秀夫	歴 延 法	二六・二七
中野義雄	化學機器圖集(共編)	二五	長濱慶三	航空寫眞の寫し方	三二・三三	加工裝飾法	一〇	長見公祐	世界人造絹絲工業	三六	
永野英輔	最近乾式試金術(譯)	一八〇	整色及赤外寫眞術	三二・三四	竹工加工法	一〇	水峯源吉	電氣銲接	一八		
仲野雄介	河川工事施工法(共)	五	整色寫眞	三三・三四	特殊材料	一〇	水峯尙次	溼青乳劑及ビテュマルス鋪裝に關する試験(共)	四六・四五		
	構築材料(共)	五	中原淳藏	實用力学	九	塗 工 法	一〇・一八	石炭瓦斯のアスファルト・セメントに及ぼす影響	四六・五		
	水路と溜池(共)	九	自動車の知識(共)	一三	木工加工法	一〇	大氣中に於けるアスファルト・セメントの變化	四六・五			
	測量設計實用表(編)	七	中原貞二郎	韓國土木事業調査書(編)	三	木竹加工法	一〇	鋪裝コンクリート工に及ぼす氣象作用の影響並に之に應ずる設計及工法に就て(共)	四七		
	測量設計實用表(後編)(編)	七	陸地測量部三角點利用法	三	木竹基本工作講座	一〇					
	土木工事設計資料	五			木竹工具	一〇					
長野重石衛門		九			木竹材料	一〇					
琵琶湖築堤問題に就て		九			中堀幾三郎	完全スタヂア表	七				
					測量常用諸表	七					
					長距離補助表	七					

ナカムーナカヤ

中村朝吉 非結晶性多孔質無水硫酸ノ製法及ヒ 其ノ應用試験(共)	二七	中村義一 滿洲に於ける高粱酒醸造業	二四〇	中村孝也 新田義貞の鎌倉攻略 藤島合戦	三四・三五 三四・三五	中之達太郎 (續) 除塵装置と汚水處分 耐震強度計算の手引	二八五 二〇
中村猪市 コンクリート・鐵筋コンクリート 便覽	二六・二九	中村清 冷凍法と其應用(共)	二四	中村靜雄 電池及蓄電池(共)	一〇五・一〇六	中村傳治 商店建築	二五・二六〇
中村一 バルブ篇	二六・二七	中村清彦 日本鐵業法	一八	中村進午 戰時國際公法	三四	中村虎一 工場要項(共)	二七九
中村惠亮 最新旋盤使用	一〇一	中村經年 繪本孫子童觀抄	三〇	中村新太郎 始生代及原生代 滿蒙の地理地質	一五・一六 一六	中村直勝 笠置山の合戦 四條畷の合戦 多々良濱の合戦 筑後川の合戦 八幡の合戦	三〇四・三〇五 三〇四・三〇五 三〇四・三〇五 三〇四・三〇五 三〇四・三〇六
中村勝哉 渡邊節作品集(編)	二五	中村謙一 近世橋梁學	三	中村只八 新式規矩術(共)	二七五	中村元 架空索道運搬法 鋼索運輸	六 六・一四六
		中村小四郎 滿洲に於ける炭田并炭質調査	一七	中村達太郎 新らしき建築學階梯 開渠と管渠の圖計算 家屋排水の話 火災防止建築設備 簡易構造強弱(共) 換氣暖房の計算必携 給水給湯及消火設備 建築學階梯(編)	二四九 二五 二六六 二六五 二六五 二六五 二六六 二六六 二四八	中村寬 アパートメントハウスと其の 管理法 住宅經營	二五三・二六二 二五三・二六二 二五三・二六二
		中村恒 纖維素及其工藝	三五	建築學階梯(編)	二五〇・二五五		
		中村康之助 工業常識 動力(譯)	一 九	建築材料 建築隨想	二五・二五五 二五〇・二五五		

中村三男	油脂及其製品	100・316
中村與資平	美術的建築(譯) 洋風建築設計者の虎の巻(譯)	269
中村隆壽	化學兵器 化學兵器の理論と實驗	377
中村林次	電弧熔接工場設備	189
中元藤英	竹の利用と其加工	224
中谷宇吉郎	氣體内放電現象 火花放電の近年の研究	224
中谷達次郎	火藥製造學 空中固定硝酸製造法	224
中山 實	實用測量學 測量計算表	377

中山元晴	銀 行 最新市街地建築法の解釋	357・79
中山龍次	歐米に於ける放送事業調査報告	123
長山 貫	海防私議	324・335
ナカーナン		
名古屋高等工業學校	名古屋高等工業學校學術報告	3
名古屋高等工業學校創立二十五周年記念會論文集編纂委員	記念論文集	2
名古屋市役所	名古屋市水道事業概要	5
名古屋遞信局電氣課	管内電氣事業要覽	13
那須信治	地 震 學 地震計に依る地下探索法	44・53

夏見寛治	ゲーヂと精密工具	103
七日會	國家の重要政策上より見たる 鐵道電化	7
鍋島家編纂所	佐賀藩銃砲沿革概要	33
波田強一	建築材料	353・354
滑川昌章	最近飛行學原論	297
納屋松藏	參千圓以下で出来る趣味の住宅	22
檜崎敏雄	軍用航空と民間航空	29
奈良原輝雄	最近瀝青鋪裝 自動車及自動自轉車故障發見 修正法	6

那 蘭(英)	航海簡法	254
成澤茂馬	我軍國主義	303
成田 努	バルブ	377
成瀬勝武	橋 梁 橋梁工學	27
成瀬金太郎	味噌釀造法	241
成瀬政男	商 車	9
南郷龍音	滿洲に於ける燐寸工業	255
南日 實	材料強弱及彈性學	23
難波捷吾	電波傳播に關する諸問題 電波傳播理論 方向探知器(共)	140

難波理一郎

早稻田大學故大隈總長記念大講堂

競技設計圖集

二七五

南明寺國寶建造物本堂修理

事務所

南明寺國寶建造物本堂修理工事

報告書

二七三

ニイニシカ

新潟縣

加治川改良工事報文

七

新潟縣麻織物試驗場

麻紡績と其の織物

二三三

新潟市役所

上水協議會議事録

三

新潟週報社

電氣事業市營の提唱

三三

新納忠之介

淨瑠璃寺文様(編)

二九

西井 潔

飛行機の力學(共譯)

二九

西尾銈次郎

枝幸砂金論

二九

第四紀層の Diagenesis (續成作用) に就いて

一五

西尾 壽造

戰闘綱要草案研究記事(編)

三九

西尾 政典

理論應用桁樑新書(譯)

五〇

西岡 義融

本派本願寺の建築(編)

二二三

西垣 晋作

曲線設定ハンドブック

五九・五三・四九

(A-C) 曲線設定法

五九・六

西垣 富太

潜航艇圖說

三三

西川 麻五郎

麥酒釀造法(譯)

二四〇

西川 榮三

アスファルト混合タールの鋪裝材としての性質

四八・五五

ぼす氣象作用の影響特にその薄層の場合の性質變化(共)

四八・五

瀝青鋪裝目材試驗成績(共)

四八・五

瀝青乳劑試驗成績

四七・五

瀝青乳劑の試驗成績より見たる品質の比較及其の轉近の趨勢に就て(共)

四八・五

瀝青鋪裝切取供試體の試驗結果より見たるその性質の比較(共)

四九・五

瀝青鋪裝切取試驗體の性質(共)

四七・六

河水のポルトランド・セメントに及ぼす影響(共)

四七・五

現場に於ける瀝青乳劑製造の設備及び製法并にその乳劑の性質に關する試驗(共)

四九・五

國産瀝青乳劑試驗成績

四九・五

瀝青土鋸裝織目用エラストイト試驗(共)

四七・五

混成タールの性質に及ぼす氣象作用の影響特に薄層の場合に於ける性質變化(共)

四九・五

種々の土木工事用材料に關する試驗(共)

四八・五

西川 榮三(續)

タールとアスファルトとの混合物の鋪裝材としての性質

四八・六六

タール鋪裝と水稻の發育との關係

四八・六七

鐵線蛇籠の防銹塗料に就て

四九・三三

土木工事用金屬材料分析試驗(共)

四八・五四

本邦鋪裝用タールの性質

四七・四八・六

滿洲産タール・重油・中油及び重油に依るカット・バック・タール等の補裝材料としての性質(共)

四九・六六

西川 正治郎

田邊朝郎博士六十年史(編)

七

西川 新太郎

土木工學橋梁編(編)

六七

西川 孝次郎

工用金屬材料學

二七

材料強弱學

三三

西川 友孝

材料の新研究(編)

三

庭園工藝と室内裝飾

二八九

都市の新計畫(編)

八二

西川友武	金屬家具	二五・二九	西陣新興會	關東の機業	三三	西田與四郎	都市の計應	八五・八	西村吉太郎	壓延法	二六・二七
輕金屬家具	二九	西田卯八	世界製鐵大觀	一八	仁科 存	磁性材料	三七・三八	西村時彦	鐵炮傳來錄	三四	
現代家具製作の知識(共)	二九	石油研究	一七	西畑 常	工事實例青山隧道編	七	西村寅三	粕酢醸造論	二四〇		
西川秀男	テレウキジョン装置の製作法(共)	一四三	西田屹二	木材化學(共)	三	實用セメント學	二四	近世醬油釀造法	二四〇		
ニシカ―ニツト			西田順一	誰にもできる乾電池及濕電池製作法	二七	隧道工事編	七一	西村秀雄	アルミニウム及其合金	一〇・一一	
西崎弘太郎	蛋白質化學	二〇四	西田傳五郎	砒酸鉛の化學的研究	二〇三	西松二郎	東京近傍地質編(譯)	一六	金屬材料	七七	
西崎太郎	電氣通信概論(共)	二七	西田博太郎	織物原料篇	二九	西松唯一	火藥學	二四	金屬材料分析法	一〇・七	
西澤勇志智	化學兵器	一九・三七	化學工業(共編)	一九	火藥工業	一九・二四	西村伊作	樂しき住家	二八三		
工業化學讀本	一九	化學工業編	一六	西村伊作	明星の家	二八四	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇	西村龍介	詳解寫眞處方全集	二〇・二四
香料及香粧品	二〇・二八	工業篇	六	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	西村榮十郎	二四〇		
纖維素塗料	二〇	浸染篇	三九	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇
毒ガスと煙	二七	整理篇	三九	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇		
日本火術考	三五	精練漂白篇	三三・三〇	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇		
花火の研究	三四	大日本之化學工業(編)	一六	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇		
有機工業藥品製法	二〇・二五	硫化染料製造法(共)	三〇	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇		
冷凍及び冷蔵	二〇・四四	理論應用近世色染法	三九	西村兼文	鹿兒島征討日記(編)	三〇六	西村榮十郎	味噌醬油釀造篇(編)	二四〇		

西山喜次

金屬及合金とX線(共)

二六・二八

西村 博

清酒釀造經過に關する調査
成績(共)

二二九

二反田 孝

機械設計及製圖(共)

二九

日東書院

滿洲事變實誌

三〇七

ニッポン

日本印刷表現研究所

襖壁紙文様集

二九〇

日本ウエスチングハウス照明
研究会

電燈照明

二一五

日本衛生學會

名産食品製造法

二四三

日本學術振興會

金屬材料

二七〇

全國試驗研究調査機關要覽

二〇

染料年報

二〇〇

日本學術振興會學術部

電氣ニ關スル外國特許要覽

二〇六

日本學術振興會學術部第一三
小委員會

我國に於ける觸媒作用の研究

一五

日本型録編輯會

日本標準機械總覽

七

日本火藥製造株式會社

火藥講演集

二四

日本岩石鑛物鑛床學會

岩石鑛物鑛床學

二七

日本罐詰協會

罐詰製造講義

二四

罐詰要覽

二四

日本機械學會

日本機械學會論文集

六

日本機械聯合會

日本標準工具型錄

二〇〇

日本銀行

日本銀行増築工事竣工記念
寫眞帖

二六〇

日本銀行調査局

石油ノ需給ト秋田油田

二七

筑豊石炭調査

二七

新潟縣下ノ石油業ニ關スル調査

二七

福島縣電氣事業ノ概況

二八

日本銀行臨時調査委員會

戰時財政經濟法規集

二四三

日本藝術學會

田上義也建築畫集

二五

日本建築協會

學校建築圖集

二七三

學校建築圖集

二七三

建築と社會

二五五

市街地建築物法令

二九三

都市武裝促進委員會演習部報告

二七〇

日本建築協會創立滿十五年
記念出版委員會

住宅圖案集

二七三

住宅圖案集

二七三

日本建築士會

建築士法成立ニ關スル諸家ノ意見

二九

日本古今海事圖書編輯會

日本船舶構造の變遷

二四

日本工學會

工學論文要錄

二

日本鑛業會

鑛業術語集

二九

日本鑛業會誌總目次

二九

日本鑛業會誌總目錄及索引

二九

日本工業俱樂部萬國工業會議
事務所

萬國工業會議報告

二四

日本工業新聞社

工業年鑑

二五

標準機械用語

二七

日本鑛業新聞社

重 石

二四

水 鉛

二六

日本工業品研究會	一五	日本人絹聯合會	三六	日本通運株式會社大阪支店	三七	日本電氣工藝委員會(續)	二八
實地應用化學工業品製造法		人絹計表		大阪城公園鶴ノ池ヨリ見たル		日本電氣工藝委員會調查報告集	二九
日本鑛山協會	一七	日本ステープル・ファイバー	三三	天守閣		日本電氣工藝委員會標準規程	三〇
鑛山講話		同業會		日本鐵鋼協會	三八	標準規程及標準仕樣書	三一
鑛夫宿舍の建築に關する	一八〇	躍進ステープル・ファイバー工業の	三七	製鐵用術語集	一八	油入遮斷器及油入閉開器標準規程	三二
調査報告		現況		鐵と鋼	一八	標準仕樣書	三三
日本鑛山協會資料	一八九	日本赤十字社	三四	日本テレビジョン學會	二四	日本電池株式會社	三三
日本交通協會		日米英佛伊五國赤十字社委員		テレビジョン年報	二四	日本電池株式會社二十年史	三三
自動車工業漫談	一四	會議事錄(譯)	三四	日本電氣工藝委員會		日本電力株式會社	三三
日本産業調査會	一〇六	日本石油株式會社	一七	瓦斯填充タンクステン電球標準仕樣書	二五	日本の發電所	三四
電氣大觀		日本石油史		指示電力計標準仕樣書	二七	日本電力協會	
日本史籍協會	三九	石油便覽	一七	眞空タンクステン電球標準仕樣書	二五	日本の發電所	三四
長崎警衛記録		日本石油株式會社營業部	一七	増補電氣工藝術語集	二六	日本糖業調查所	三四
日本實業化學會	一九	染料工業島瞰圖	三〇	鐵塔及鐵柱設計標準(編)	二五	日本糖業年鑑	三四
化學工業發明辭書		日本染料製造株式會社	三〇	電氣機器の周波數變更に關する	二九	日本土木建築請負業聯合會	三五
日本釀造協會關東支部	二九	事業大觀	二八	調査		我國の土木建築事業	三五
實踐酒造工人必携		日本中央蠶絲會	三三	第四種可撻紐線標準仕樣書	二六	日本評論社	
日本照明委員會	一四	絹新製品ニ關スル調査	三三	第二回増補電氣工藝術語集	二六	現代日本工業全集	九
一九三一年國際照明委員會論文				第三回増補電氣工藝術語集	二六	日本ペイント製造株式會社三十	
報告集	一四			第四回増補電氣工藝術語集	二六	年史	三三
照明及電熱術語集	一四・一六			電線標準	二六		
				電線メートル式表示法	二七		
				電流計及電壓計標準仕樣書	二七		
				日本電氣機器標準定格に關する	二九		
				調査			

日本ポルトランドセメント

同業會

コンクリート及鐵筋コンクリート集覽

二六・二九

コンクリート現場試驗報告書

コンクリート講習會講演集

實用のコンクリート

セメント界彙報

セメント界彙報外分類總目次集

セメントコンクリート道路

鐵筋混凝土計算初步便覽

日本ポルトランド・セメント

業技術會

日本ポルトランド・セメント業

技術會委員報告

日本紡織研究所

紡織年鑑

日本放送協會

全國ラヂオ調査報告

日本放送協會業務統計要覽

日本放送協會調査時報

放送

ラヂオ年鑑

日本無線電信株式會社

日本無線電信株式會社の使命

本邦對外無線電信に就て

無線電信と中立(譯)

日本木材研究會

日本ベニヤ板工場總覽

ベニヤ板ニ關スル調査

日本木材工藝協會

日本木材工藝

日本羊毛工業會

羊毛工業統計年表

日本ラヂオ協會

標準ラヂオ大辭典

日本ラヂオ通信學校

ラヂオ受信機・組立知識

日本歴史地理學會

日本兵制史

日本冷凍協會

冷凍便覽

ニユーニワ

乳井 貢

城制規矩

城制法

丁見術細目圖解

紐育高速鐵道局

紐育高速鐵道設計基本示方書

仁禮 敬之

清佛海戰日記

丹羽 健藏

下水工學

上水道の計畫及設計

水理學解說

丹羽 鑛之輔

保安裝置

丹羽 重光

機構學

丹羽 利男

化學兵器

丹羽 藤吉郎

製藥全書(共編)

丹羽 長道

航空寫眞

丹羽 保次郎

音響工學

寫眞電送

テレビジョン

電話

特殊電氣回路

無線寫眞電送

有線電話(共)

ヌキヌマ

貫名 基

最新內燃機關

拔山 四郎

熱機關

熱傳導測定法

拔山 大三

空中電氣學

交流理論

拔山 平一

電磁氣學

二三・三四

二〇・二四・四六

九・四二

九・四三

一〇・一七

一三五

一三九・四三

一三六・一三八

六

六

一〇・一八

一一三

一一三

一一三

布川通璞

海岸備要(校)

三三

布目四郎吉

綱鐵加工法
鐵及鋼の歴延作業法

一八三
一七七

沼 正治

工作機械

八九九

ラッカー硝化綿塗料

三三

沼倉三郎

電氣磁氣測定

一一〇・一一七

沼倉秀穂

誘電體論

二四

沼田多稼藏

日本陸戰新史

三〇五

ネキ―ネン

根岸 博

應用音響學(譯)

一〇一

根岸門藏

利根川治水考

六

根來簡二

獨和工學辭典

九

ネスビット(米)

送電回路の電氣特性

二五

ネット―(獨)

涅氏冶金學

一八〇

冶金學

一八〇

燃料協會

最新燃料大觀

三三〇

實用燃料便覽

三三〇

燃料大觀

三三〇

燃料問題圖說

三三

ノイ―ノロ

ノイマン(獨)

近世道路工學

三

野口光嘉

煖房と換氣

二六六

野口尙一

應用彈性學

三〇

カム及び斜板

九〇・九二

野口尙一(續)

機械力學

六八・九二

機構學

六八・九二

起重機及運搬機

六九・九二

コイルばねの振動の研究

二四三・二四六

殻層層を通過する空氣流に就いて

二四六

材料力學

三三・九二

調整裝置

九二・九二

傳動裝置及實驗法

一一〇・七・九二

輪 送

一九三・四六

リンク裝置

九二・九二

野口孝重

電氣化學并に電氣滲透(共)

二〇五

野口登一

機械工業力學

九

機械材料強弱學

六

野口孫一

野口博士建築圖集

二五

野口 誠

水力電氣(共)

二二

發電水力

二二

野上八重治

鐵道車輛講義錄

六

野坂喜代松

普通測地學(編)

五

野坂相如

土木建築構造力學(共)

五〇・三七

野坂孝忠

土壓論から見た關西線繼の瀨隧道
附近地之りの一考察

一七

野崎誠近

吉祥圖案解題

二八

野崎林太郎

交流理論と其實際

三

野澤房敬

混凝土配合の設計(編)

六

混凝土用型枠

六

土木建築工事と機械

五〇・三七

野津正忠

機械圖面の讀方

五

理論應用計算尺精義

六

野津正之助

計算尺原理及使用法

六

機械材料強弱學

六

野田清一郎
實驗電氣工學 一〇五

野田哲夫
飛行機の力學(共譯) 二九

野田俊彦
建築法令 二五・二九
建築論 二九・三五

野田松男
密着印畫法(共) 三三・三三

野中正雄
水力及火力發電所 三四

野原作夫
應用電氣化學實驗 二〇五

登尾源一
文化小作家 二八四

野村 孝
電燈及電力 一三六

野村茂治
住宅 一八二

どうすれば住宅が住み良くなるか 二六四

野村秀雄
石炭粘結状態及び其の試験法(共) 三九・三三

野村龍太郎
工學字彙(共編) 八
測量教科書(共抄譯) 四

野呂景義
釜石鐵山調査報告(共) 一五〇

野呂長四郎
近世建築用材料 二六五

農業土木學會
本邦排水工事圖譜 七九
「メートル式」水流計算要表 七三

農商務省鑛山局
亞鉛鑛鐵床調査報文 一六七
大阪鑛務署管内鑛區一觀 一五三

釜石鐵山調査報告 一五〇
金銀鐵床調査報文 一六七
黑鐵鐵床調査報文 一六七
鐵業特許一覽 一七〇
鐵山發達史 一八八

農商務省鑛山局(續)
探鑛法調査報文 一六九
製鐵ニ關スル參考資料 一八三
石炭調査概要 一七〇
鐵鋼調査概要 一六五

東京鑛務署管内鑛區一覽 一五二
東部内蒙古産業調査 一五二
日本鑛産地 一四九
福岡鑛務署管内鑛區一覽 一五二

本邦鑛業一斑 一四九
本邦鑛業ノ概要 一四九
本邦鑛業ノ趨勢 一四九
本邦重要鑛山要覽 一四九

農商務省工務局
機械工業 六
輕發動機用燃料ニ就テ 三六
護謨工業ニ關スル調査 二四七
工業調査彙報 三三
燐素工業ニ關スル調査 一五二
獨逸加里工業狀況 二四八

農商務省山林局
塊太利ニ於ケル野溪留工事 六
海軍工業ト木材ノ關係ニ就テ 三〇
架空索道及其運材能力 一四
軍需用材ニ關スル調査 三八
砂防工事調査書 七
電柱ニ關スル調査 二六

農商務省農務局
英米兩國ニ於ケル製鐵業及機械 一八四
器具ニ關スル報告 一八六
人造絹絲ニ關スル調査 二四六
獨米兩國ニ於ケル「セメント」工業 二五
米國ニ於ケル罐詰業 二四四

農商務省農務局
第四次全國製絲工場調査表 二五三
第五次全國製絲工場調査表 二五三
第六次全國製絲工場調査表 二五三

農商務省山林局(續)
本邦ニ於ケル製紙原料木材「バルブ」ノ現況 二七七
松脂及松精油ニ關スル調査 二七七
木材乾留事業ニ關スル調査 二二三
木材ノ工藝の利用 二四
我邦ニ於ケル木造洋風家屋ト其廢朽 二七一

農商務省商工局
歐洲ニ於ケル電氣化學工業等ニ 二〇九
空中窒素固定法ノ趨勢ニ就テ 二〇九
歐米各國美術工藝圖案ニ關スル報告 二八七
瓦斯事業要覽 二八四
香料及香粧品 二三八
北米合衆國窯業調査報告 二三五

農商務省農務局
英米兩國ニ於ケル製鐵業及機械 一八四
器具ニ關スル報告 一八六
人造絹絲ニ關スル調査 二四六
獨米兩國ニ於ケル「セメント」工業 二五
米國ニ於ケル罐詰業 二四四

農商務省農務局
第四次全國製絲工場調査表 二五三
第五次全國製絲工場調査表 二五三
第六次全國製絲工場調査表 二五三

農商務省農務局(續)

第七次全國製絲工場調査表
糖業要覽

二三三
二三三

農商務省農務局地質課

地質調査報文分析之部

二五四

農商務省臨時產業調査局

染料工業

二三九

農林省蠶絲局

製絲業實態調査成績
全國器械製絲工場調
第一一次全國製絲工場調査

二三三
二三三
二三三

農林省山林局

歐洲各國ニ於ケル治水事業ノ現況
自動車發動機燃料としての木炭瓦斯
ねむのきト砂防植栽成績
ベニヤ板ニ關スル調査
木材と建築
やまはんのきト砂防植栽成績
やまももト砂防植栽成績

七
一〇四
共
二六五
二六六
共
共

農林省水産局

補助漁港修築工事計畫概要

八

農林省農務局

第九次全國製絲工場調査
第一〇次全國製絲工場調査
本邦内地ニ於ケル麥酒用大麥及麥酒
ニ關スル調査

二三三
二三三
二四〇
二四〇

農林省農務局耕地課

農村住宅設計圖案

二四四

八一ハツ

巴 爾 博(民)
楊子江流域地文發育史

二〇

馬 愚(清)
軍器則例(共校)

三三三

パウエル(米)
航空醫學

三〇〇

パウム(米)
全米電力問題解決としての水
力開發及送電線に關する研究

二〇

芳賀惣治
電池及蓄電池(共)

二六

萩野道二
測器詳解(共)

二九五

萩原拳吉
電氣化學(編)

二〇五

萩原俊一
發電水力
發電水力工学

三三
四〇・三三

萩原古壽
電氣事業及其經營

三三

伯 麟(清)
欽定兵部處分則例(共編)

三六

伯野慶三
電動機の應用と其運轉經濟

三〇

博物館博物科
有用木材捷覽

二四

白 爾 捺(英)
井礦工程

一七・一四

箱守新一郎
基礎工業分析
合成燐光體

二
一〇一

土師寅造
同期機

三三

橋口源太郎
發電氣電動機取扱法(譯)

二九

橋爪源太郎
靜岡縣管下伊豆國地質取調報告

一六

橋爪準一郎
自動車工業漫談

一〇

羽島耀清
武術流祖錄(共編)

三四

橋村正治
纖維質絶緣物に關する調査(共)

三三

橋本宇一
金屬着色

二六・二九

橋本 精
瓦斯倫自動車

一〇

橋本慶金
透視圖及實例
透視圖法

三九・三五
三九・三五
二

橋本徹之	四・六	長谷川如是閑	三〇三	幡野佐一	一三三	服部武彦〔續〕	三〇三
都市鐵道工學		戰爭論		高壓裝置の理論と實際(共)		臺灣金瓜石鑛山に於ける土木建築用骨材の試驗成績(共) 一三・五五・二六	
橋本祐三郎	二五	長谷川保定	二二〇	蜂谷知十雄	一九四	郵便切手の刷色堅牢度比較試驗成績(共)	二・三三
建築論(補)		實用寫眞術		瓦斯發生爐ノ操業			
燃料(補)	二七	畑保之	三三・三四	八田志津馬	二〇		
橋本基		現像法		實用機械設計		服部延春	九三
聚樂(編)	二五	秦眞次	三三	八田四郎次	二〇・四六	實用機械製圖	
パスク(英)		帝國の國防		アルカリ液に依る炭酸ガスの吸收速度に就いて	二四六	服部兵次郎	三〇七
地質斷面圖の幾何學的作成法	一五	秦常造	三三	液ガス接觸裝置の基礎的研究	二四六	戰跡を顧みて	
長谷川一郎	六・九	水銀整流器(共)	三三	化學工業	一九・九九	服部報公會	一七
工作機械(共)		畑石輝治	五	吸 收	一九・四六	研究抄録(物理學及工學)	
汎用工作機械(共)	九	最新日本工業通論(共)		蒸溜・吸收	一九・九七	服部宗三	九
長谷川熊彦	一五	畑中健三	五	濾過及粉碎と其機器	一九・二〇	ばね	九・九二
砂 鐵		各種工事の見積と其價格	五	服部一治	二〇	ばね及緩衝裝置	
長谷川源太郎	一九	工事請負實務	二七	直 流 機		ハナ―ハム	
實用電鍍法		最新工事請負便覽	五	服部勝吉	二九	花井健吉	五
長谷川正道	二七	土木建築工事請負便覽	五・七	古建築巡禮	二九	測量集成(共)	
兵器大觀		名橋巡ぐり	六	中世の建築	二九	花井重次	一五
長谷川眞治	二五	高中武吉	二五	日本建築史	二五	河岸段丘	
和洋折衷の住宅		放電電燈とネオンサイン		日本古建築史	二五		
				服部武彦	二五		
				セメント工業に關する調査(共)	二・二五		

花井卓藏	軍艦金剛の建造請負に關する事件を論ず	三〇〇	馬場禮次郎	直流電機の故障と取扱法	三〇〇	濱田成徳	眞空管工学 特殊眞空管 熱電子放出理論	二七・二〇 二九・一四 一九・一四	ハヤハシ	早川富正 架空送電線路用鐵塔の強度計算法	二六
花形觀司	變電設備	一〇四・一二	濱田八之助	金屬蝕蝕及着色法(編) 軸承金屬及其驗證法(編) 石炭の化學的用途(編) 浮選用油及試藥	一九〇 九〇 三三 三三	濱田 稔	應用力學演習(共) 建築材料學(共) コンクリート總覽(共譯) コンクリートの配合について セメント及コンクリート試驗法 セメント及コンクリート實驗法	一九 二六五 二六・二五 二六・二五 二五・二七 二五・二七	早川直瀨	本邦蠶糸業と米國絹業	二三四
花見朔己	小牧長久手の役	三〇四・三〇五	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	早川康弐	初等量子力學	二五
花輪正虎	建築工事仕様積算教科書(共)	二二六	濱田 稔	冬ノコンクリート(共譯)	二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	早坂一郎	古生物學序論 ゴトランド紀デヴォン紀 石炭紀・二疊紀 石油の話(共) 本邦産化石腕足類文献 腕足類	一五 一五 一五・一六 一七 一七 一五
羽根田作兵衛	日本紅之研究	三九	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	早坂 力	ミリング仕事	一〇
馬場秋次郎	圖學通論	五九	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	林 いと子	文化的住宅の研究(共)	二四
馬場敬治	工業統制 化學工業經濟論	一六・一九 一六・一九	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	馬場 毅	遷喬錄	三四
馬場貞由	泰西七金譯說(譯) 泰西七金譯說附錄(譯)	八五 八五	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	馬場 毅	遷喬錄	三四
馬場 毅	遷喬錄	三四	濱田 稔	耐火構造(共) 冬のコンクリート(共譯)	二五・二七〇 二七・二五	濱田源次郎	燃料噴射及燃料ポンプ(共) 農工用小型ディーゼル機關 船用機關及陸上用内燃機關(共)	九五・九六 九七 九五・九五	馬場 毅	遷喬錄	三四

林 一男	寫眞レンゾの知識	二〇・二三	林 道春	孫吳摘語	三元	原口 進	輸送機編	九	原田八十八	醫用電氣學綱要(譯)	二五
林 清	超高周波工學(譯)	一四	孫子諺解	和漢軍談	三元	機械設計圖表輸送機篇(編)	九	ハラタマ(蘭)	金銀精分	一八五	
林 子平	海國兵談	二五・三三	林 衡	林祭酒上書	三三	原口忠次郎	土と杭の工學(共)	四	孕石元昭	電氣銻接に就て	一八・三五
海國兵談抄錄	兵策問答	三三	林 眞	日清戰爭	三〇・三六	原田石四郎	染料	三元	はりがね會	送電幹線之設計並施工	二五
電氣工學(共)	林 誠一	四〇・四五	林 守雄	内燃機關(共譯)	六	原田軌一	建具金物	二五・三〇	バルクハウゼン(獨)	振動學入門	一四
特殊無線通信方式	林 卓	二九・三四	林 彌三吉	湊川の戰	三四・三六	原田健次郎	滿洲に於けるセメント工業と其の需給狀況	五	熱電子管	春名山己	二五
寫眞測量	測量學	三六	早川保實	電話傳送學(譯)	二七	原田淑人	支那古器圖攷(共編)	三三	過渡現象(譯)	交流理論(譯)	三一
無線遠隔探縱(共)	龍雄	一三・四・一〇〇	原 勝郎	世界大戰史	三二	原田備一	ターレット旋盤及自動旋盤仕事	一〇	春本篤夫	經緯鏡台に依る長石の識別法(共)	二七
海國兵談補遺	通幸	三三	原 昌克	戰陣奇法岩舛	三五	原田 碧	鐵筋コンクリート構造	三	英國海軍協會年報(編)	バーゴイン(英)	三三
			原 祐三	各國軍需景氣の渦紋	三八	土木建築工事設計表(編)		五・七四	バードルフ(加)	砂糖精製法講話(共)	三三

日高謹爾 海軍篇	三〇〇	日野壽一 電療電氣(共)	二〇・二五	標準仕様調査委員會 コンクリート及鐵筋コンクリート 標準仕様書 鐵筋コンクリート構造計算規程	二六・元 三・三三	平岡正夫 工場建築	二七九
日高巳雄 軍機保護法 軍事法規 陸軍軍法會議法講義	三三三 三三二 三八	日野神兒 圖解探鐵學(編)	一七〇	漂白野人 古今軍理問答	三三	平賀源内 火流布説 火流布略説	一六四 一六四
日高 胖 野口博士建築圖集(編)	二五五	日出新聞社 滿洲建國と上海大事變史	三〇七	平井喜久松 鐵道 鐵道工學(共)	四・五 四・五	平賀大一 指向受信と方向探知(譯)	一三三
日高政一 歴延法	二六・二七	日比忠彦 鐵筋混凝土講話 鐵筋混凝土の理論及其應用	元 三〇	平井千太郎 最新列國海軍(共)	三三	平賀 讓 補助艦問題と最近の我軍艦(共)	三三二
畢 丁 登(米) 航海金針(共補)	二五五	姫路市役所 姫路 城	三六	平井利太郎 メートル式道路曲線布設表	六	平佐惟一 リミットゲージ・システムノ應 用(編)	三
備藤三郎 工作機械一般(共)	九	檜山義愼 本邦武家沿革圖考	三〇三	平岩庄一 煖房用汽罐構造及取扱方法(共)	二六	平澤 要 電氣事業經濟講話	三三
日夏繁高 兵家茶話 兵具詠草 武藝小傳 本朝武藝小傳	三〇〇 三三三 三三三 三三 三三	兵庫縣警察部 市街地建築物法令	二九二	平尾子之吉 合成香料化學 日本精油化學	三六 三六	平世將一 歴延法	二六・二七
肥沼健次 鐵筋混凝土校舎と設備	二八・二九	兵庫縣内務部統計課 兵庫縣工業調査概要・兵庫縣工 業調査書	六	平尾善保 最新住宅讀本	二二	平瀬作五郎 用器畫法圖式	元

平田晋策	軍縮の不安と太平洋戦争	三三	平野 茂	建築塗料に就て	二五・五六	平林寛雄	切削工具	一〇〇・一〇一	故廣井工學博士記念事業會	
	軍縮批判	三三		樹脂及び漆	一九・三七				英和工學辭典	八
	若槻氏の軍縮を評す	三三		樹脂及漆器(共)	二〇・三七				廣岡保教	三四
	わが兵術論の序言	三〇三・三七	平野 武文	實地應用測量要覽	四	平山 潜	海防問答	三四・三五	番匠町家雛形	三四
平田徳太郎	土木氣象學	四四・五二		鐵道線路概要	六〇		劍 說	三九・四一	廣川廣四郎	
							劍 徵	三九・四一	虎の巻 (The notes and extracts about railway & engineering works)	五九
平田秀樹	眞空放電現象とX線管球の理論	二四	平野利貞	電氣の廣野を行く	一〇六	平山 正	上執政相公閣下	三三	廣島遞信局	二〇
							上北 闕書	三三	管内電氣事業要覽	
平塚 篤	兵政關係資料(共校)	三六	平野井雷治	土木建築工事施工用機械	五二・七六	陸軍省沿革史(共)	西洋火攻神器説(校)	三四・三四	廣瀨 芳	一三
									實驗鑛物學	
平塚忠之助	電氣學・磁氣學(編)	一一三	平林金吾	商店・百貨店(共)	二五・二六〇	平山復二郎	工事と請負	七	廣瀨 元恭	三三
				新意匠の住宅(共)	二八三		山岳トンネル	七	築城新法(譯)	
平野一貫	香粧品製造法(編)	三六		和洋住宅圖説(共)	二七五	トンネルの話(譯)		七	廣瀨 實常	三四
			平林 武	亞鉛鑛鑛床調査報文	一七	平山 勘重	耕地山林荒地縮圖解	三	城制圖解(共)	
平野榮助	熱量標準藥としての安息酸に就て(共)	二〇四・二八		應用地質學	四〇・五三	廣井 勇	セメント用法實驗報告	三	廣瀨 先一	二〇
				黒鑛鑛床調査報文	一七		日本築港史	八	市町村と電氣事業	
	ボンア熱量計に關する參考事項(共)	二四五		マグネサイト鑛床	一七				廣瀨 將	三二
									世界大戰(共譯)	

廣瀬茂一 機械工師必携(共) 近世紡績術	七 三三	廣田守道 飛行機(共)	二六・三〇	フアイユ(白) 白耳義と歐羅巴戰亂	三二	深澤甲子男 羊毛工業論	三五
廣瀬基 特許法實用解説	五・八	弘津史文 防長兩國に於て蒐集せる甲冑 研究資料	三三	フキッセル(獨) 製藥化學新藥篇	二四	深澤幾市 建築設備	二八
弘川龜之助 火力發電所設計 蒸氣タービン發電所 燃焼及び汽罐設備熱工學計算法 配電盤及開閉設備 配電盤用器具	一三三・二四 二四 二六 二六	廣部一 近世應用電氣學(譯)	一四	フイソク(米) ネオンサイン(共)	二五	深津了藏 風洞實驗法	一〇・一六
廣田和一 瓦斯發生爐(共) 乾溜筒を有する瓦斯發生爐試驗 報告(共) 石炭完全瓦斯化試驗(共) 石炭の完全瓦斯化及び其の方式(共)	二八 二八 二九 二九 二八	弘山尙直 水力發電 水力發電計畫 水力發電所	二三 二三・二三 二四	フェップル(獨) 應用力學	一九	福井英一郎 氣候學關係の圖書 氣候變化	一五 一五
廣田友義 交流理論(共) 真空管回路	二・二三 二四	ビーケ 高電壓工學に於ける誘電體現象	二三	深井冬史 輻射油釀造加工論	二四	福井萬次郎 機鈎器ノ應用	二三
廣田徹 化學工業關係特許發明の大勢一・二・三・四・五・六	二四	ヒーゲル(露) ソヴエト建築思想	二五	深川庫造 汽罐用復水器管の異常腐現象	一九	福井幸雄 金屬着色法と鍍金法	一九
		フーフク		深川實 空氣機械	八・九	福井義長 建築工事仕様見積及施工法 建築施工法 和風建築構造	二七 二七 二八
		武堵朝(民) 鴉片戰爭史	三〇	深崎秀 赤外線寫眞	二三・三四	和洋建築構造及設計製圖	二六・二七

福岡縣

福岡飛行場工事概要 一〇
明治三十七八年福岡縣戰時事績 三〇七

福岡縣鑛工聯合會

福岡縣工場鑛山大觀 一五〇

福岡鑛山監督局

福岡鑛山監督局管内鑛區一覽 一五五

福岡鑛山監督署

筑豊四郡煤田調査報文 一七

福澤諭吉

全國徵兵論 三六
兵士懷中便覽(譯) 三九
兵論 三六
洋兵明鑑(譯) 三七
雷銃操法(譯) 三六

福島信之助

寫真化學及寫真用藥品 一〇一・一〇〇
赤外線寫真 三三・三四
増感及減感 三三・三四

福島辰男

スーパードライ(共) 一五

福島彌六

江戸川河水統制水門附近の河水の鹽分含度試験 四七六
現場に於ける瀝青乳劑製造の設備及び製法並にその乳劑の性質に關する試験(共) 四九三
種々の土木工事用材料に關する試験(共) 四八

新京濱國道多摩川架橋地點に於ける河水の水質化學試験 四九・九五
土木工事用金屬材料分析試験(共) 四
道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究(共) 四七・四六六
道路鋪裝用タール乳劑に關する研究(共) 四八・六六

二・三の外國製鋪裝用瀝青乳劑の性状に就て 四六六

福田一郎

潜水艦の話 三三

福田次吉

河川工學 四七・七五

福田次郎

砂防工事及林道(共) 六

福田節雄

電氣工學原論(共) 一〇五

福田武雄

工業數學 六
鐵筋コンクリート理論 三〇
ラーメン 二九・五〇

福田爲造

色光應用材料強弱學 三三

福田正雄

高等圖學 元

福田正輔

積算電力計の取扱及接續方法 二七

福田勝

電氣材料 二五

福田光治

光學實驗及測定法 九・七・八

福田連

砂鐵 一五七・一五八

福田豐

實用電氣測定器具 二八

福田豐(續)

水力發電所 三四
電燈及照明 一五
米國超電力聯系に關する組織(共譯) 二九

福田義民

吸着工學 一五五・一五六
燃料概説(共) 一九・三八

福田烈

熔接工の養成 一八九

福地信世

韓國平安北道順安附近金産地調査報告(共) 一五〇
韓國平壤三登及砂里院附近石炭調査報告(共) 一七二
滿洲沙河方面花溝嶺山附近鐵鑛調査報告(共) 一五二
本邦鑛物の形態的研究 一六四
本邦諸鑛山の鑛物産出狀態 一四九・一五七

福富忠男

地下水 八五・一五六

福留喜之助

臺灣地形地質鑛産地圖説明書(共) 一六一
臺灣油田調査報告(調) 一七八

福永佐和吉

鐵筋「コンクリート」構造施工

指針

二五・二七

福原信三

寫眞藝術

三三・三四

福原達三

應用光彈性學

材料力學

捲掛傳動裝置

九・五

福本福三

製絲學

二二

福山敏男

初期天台眞言寺院の建築

二六

福良虎雄

千鳥艦事件(編)

三三

フサージ

富山房

地質學新書

一五

富士貞吉

臺灣産バガス(Baggasse)をもつて

製せる室壁材料(共編)

二六

藤井篤

孫子口義詳解

三九

藤井厚二

衛生設備

二五・二六

鐵筋混凝土の住宅

二八

床の間

二九

日本の住宅

二八

藤井鹿三郎

建築測量

二五・二六

最近測量學

三三

藤井眞透

アスファルト

五・五三

瀝青乳劑及ビチュームルス鋪裝に

關する試験(共)

四六・四五

貨物自動車の燃料消費量と路

面抵抗に關する試験(共)

三三

現場コンクリートの強度^{並に之}

に及ぼす施工條件の影響に

就て(共)

四九・五六

骨材の最大密度の粒度に就て

採用自動車の燃料消費量と路

面抵抗とに關する試験

四八・四五

鐵輪帶を有する車輛に對する

路面抵抗に關する試験

四〇・三三

土木材料

三三

藤井眞透(續)

道路・隧道・地下鐵道・擁壁(共)

五・二六・二七

道路の背向曲線の設計に就て

四七・四八

道路用骨材の性質に及ぼす粒

子形状の影響に就て

四七・四八

鋪裝コンクリート工に及ぼす

氣象作用の影響^{並に之に應ず}

る設計及工法に就て(共)

四七・四八

鋪裝コンクリートの力學的性

質に關する試験

四六・四五

路線路面の經濟的價値に關す

る試験

四九・四五

路面構造の運輸經濟に及ぼす

影響^{並に之に基く}道路設計の

基本に關する研究

四七・四八

路面構造の運輸經濟に及ぼす

影響に就て(共)

四六・四五

藤井甚太郎

西南戰役

三〇四・三〇六

藤井龍藏

寫眞鏡玉(共)

三三〇

藤井光五郎

英國海軍協會年報(譯)

三三

列國海軍對勢表(編)

三三

藤井光藏

寫眞鏡玉(共)

三三〇

藤井義信

機械設計(共)

六

藤井隣次

電燈及照明

一三五

藤岡市助

電氣鐵道論集

一四五

藤岡有貞

渾發量地速成

三五

富上川游

電氣療法

一四六

藤川得三

經緯距速算表

三七

藤木經明

染料及中間物

二〇一・三九

藤倉電線株式會社

被覆電線に關する二・三の事項

二一六

に就ての報告

二一六

藤倉電線彙報

二一六

藤崎喜代太 塗装工業並塗料製造法	二三	藤田重文 充墳塔に關する研究(共) 對流に依る傳熱	二四・四六 一九・四六	藤田文太郎(續) 放電管に依る諸測定 放電現象	二八・四三 二四・四三	藤野 準 機械工作法講話(共) 機械仕上(共)	一〇〇 一〇一
藤澤國太郎 セメント混凝材としての臺灣 産砂の試験成績 臺灣金瓜石鑛山に於ける土木建 築用骨材の試験成績(共)二三・五四・二六六	三・三五	藤田 駿 材料力學	三三・九	藤田 穆 有機分析	一九	藤野 正一 電解腐蝕に依る製版法の研究(共)一九〇	一九〇
藤澤久三郎 發電所	二三	藤田 隆 鐵道技術必携(共)	五	藤田宗光 都市計畫道路工學及國立公園	三	藤村建次 合成石油	二〇・三五
藤島亥治郎 日蓮宗寺院の建築 明治大正昭和佛敎建築史	二二 二七	藤田龍藏 木竹・土石の加工と利用	二四	藤田元春 江戸時代に於ける我國地理學 の發達	一五 一六	藤村信次 電磁光學	二二
藤田伊八郎 調相機	二三・二三	藤田經定 送電及配電(共) 電燈初步	二五 一五	日本民家史 日本歴史地理	一七 二七	藤村 朗 事務所(共) 事務所建築の維持と管理	二五・二八〇 二五・二八〇
藤田 清 軍事年報(編)	三〇三	藤田信達 土木建築構造力學(共)	五〇・六七	藤根大庭 耐震耐火建築構造法 木造家屋切組圖解	二七 二八	藤村義樹 實地機構學	九
藤田金一郎 刑務所	二五・二九	藤田信久 尊船(編)	三三	藤野篤之 新研究齒車 齒車 齒車設計法及表 平齒車と傘齒車	六 九 九 九	藤元光忠 測量諸器圖	三六
藤田敬二 鐵道車輛實驗法	一〇・二〇	藤田治夫 自動車工學大成	一〇	藤野 革 金屬鍍着法(校)	一九	藤本治義 外因的地質營力篇(共) 關東の地質(編) 地質學汎論 動力地質學(共)	一五三・一五四 一六一 一五四 一五四・一五五

藤森大雅
海防備論 三四・三五

藤森正彦
基本試料油に對する諸性狀の
測定結果 二九・三五

基本試料油の品質の判定 三〇・三五

混合燃料油の諸性狀測定結果 三〇・三三

混合油の品質 三〇・三三

内燃機關に使用する燃料油の
研究報告 三〇

燃料及ヒ氣筒力ノ溫度ニ就テ 二九

燃料油の品質を判定する上に
於ける諸性狀の價值並に諸性
狀測定法の概要 三三

燃料油の品質の判定法 三三

伏屋義一郎
乾電池の亜鉛極電位の測定 一〇六・一〇七

乾電池用二酸化マンガンに關す
る研究(共) 一〇六

藤山雷太
工業編(共) 一

藤原義一
日本美術工藝史 二五

浄土眞宗の寺院建築 二六

藤原咲半
地潛に就て 一九

藤原信
寫眞 一〇九

フターフン

二見鏡三郎
鋼拱橋及鐵筋混凝土拱 七〇

土木工學講義 五九

土木工學鐵道篇(編) 四二

土木必携 四三

二見秀雄
鐵筋コンクリート構造(共) 三三・三五

鐵筋コンクリート構造(共譯) 三三・三五

長谷川輝雄氏遺稿(編) 二五

淵 通義
近代戰爭と森林 三七

復興局技術試驗所
復興局技術試驗所報告 三

復興局建築部
市街地建築物關係法規 二五

東京及横濱地質調査報告 二六

復興局建築部(續)
東京地質調査報告 一六一

壁體及防火戸耐火試驗報告書 二七〇

横濱地質調査報告 一六

復興局土木課
復興局道路工事材料購買仕様書 三

復興局道路工事設計基準並工事
仕様書集 三

復興局土木部橋梁課
橋梁設計圖集 六

武 帝(魏) 三九

孫子(註) 三九

舟岡省吾
顯微鏡寫眞 三三・三四

舟木好右衛門
カーバイト・燐及燐酸(共) 三四

船木勝三
鐵產物工業分析法 一八〇

船越義房
俱樂部(共) 二五・二九

船山晴雄
瀝青透入マカダムに關する試験
(共) 四七・四八・五

貨物自動車の燃料消費量と路面
抵抗に關する試験(共) 三

簡易鋪裝に關する實地比較試験
(共) 四七・四八

混凝土鋪裝の粗骨材別磨耗比較
試験(共) 四六・四五

混凝土鋪裝の繼目に關する試験
(共) 四七・四五

砂利層の支持力に關する試験
(共) 四七・四八

砂利路面工の配合比に關する試
驗(共) 四八・四九

施工方法による砂利路面工の耐
力の比較試験(共) 四八・四九

ブロックに關する試験(共) 四六

鋪裝コンクリート工に及ぼす氣
象作用の影響並に之に應ずる設
計及工法に就て(共) 四七

ポートランドセメント混凝土鋪
裝の磨耗試験(共) 四六・四五

路面構造の運輸經濟に及ぼす影
響に就て(共) 四六・四七

武 揚 堂
陸軍成規類典 三八

ペーダーゼン
電波傳播論 一四〇

ベッカー

理論電氣學(訂)

一一三

別 屈 滿(蘭)

築城新法

一一三

別有天地書屋主人

城保攻守沿革編(譯)

一一三

西洋砲術火具篇補遺(譯)

一一三

ペー ル(英)

埃及建築史

一一七

ヘル ツ(獨)

電波に關する論文集

一一二

ヘルフェリヒ(獨)

世界戦争

一一三

ペールツヒ(獨)

建築作品集

一一四

ベンニ(米)

工業方面に於ける電子管の應用

一一四

ホイ—ホヤ

ホネーラー(米)

發電氣電動機取扱法

一三九

北米合衆國聯邦政府超電力調

査委員會

北米合衆國大西洋沿岸超電力

聯系調査報告書

一三九

保坂龍雄

分析成績彙集(共)

一三三

星合正治

氣體中の放電(共)

一一〇・一一四

眞空工學

一一〇・一一四

電子管

一一〇・一一四

電氣工學原論(共)

一〇五

電子工學概論

一〇三

電子とその作用(共)

一〇四

熱電子管其他放電管の各種應用

一一九・一二四

星野榮二郎

通俗清酒釀造法(共)

一三九

星野正三郎

化學純絹絲の工業的完成

一三五

星野常富

武學拾粹

一〇二

武學拾粹抄錄

一〇一

星野保治郎

百分勾配對水平距離及高低差速

算表(共)

一七

細井岩彌

金鑛製鍊法(編)

一八五

炭坑通氣取締心得

一七〇

細川寺重

生絲の格と製絲法

一三四

細川頼直

機巧圖彙

九

細木松之助

築窯論(編)

一三五

燃料(編)

一三七

燃料ノ應用機關(編)

一三一

細野軍治

軍備縮少の過去及び現在

一三三

細野辰次

電氣工學(共)

一〇五

細谷源四郎

咸榮硯北浦煤田調査報告

一七

〔臺灣〕各東海山脈地質及礦物調査報告(共)

一六

細山角三

常願寺川産砂に關する試験(共)

一四

石材類試験成績(共)

一四

ソリデナットの耐壓強度に關する試験(共)

一四・一五

帆足竹治

工業數學

一六・一一

電氣回路

一三五

北海道經濟研究所

土功組合の研究

一四

北海道工業試験場

北海道工業試験場報告

一五・一六

北海道鑛山學會

實務資料

一四八

北海道石炭鑛業會

北海道鑛業誌

一五〇

北海道石炭鑛業會會報

一五七

北海道水産試験場	堀田勉一郎	堀 宗一	堀江清三
小錬油漬罐詰製造法	・實地測量術講義	朝鮮の糖業	動力用汽罐取扱法(共)
トマトサーヂン罐詰製造法	保柳陸美	堀 辻	堀江長吉
北海道地質調査會	都市景觀に關する二・三の問題	土木施工法	電氣博覽會報告(編)
北海道地質調査會報告	ホリホリ	堀井啓次	堀江 宏
北海道廳	堀 (織部正)	鐵骨鐵筋建築工事現場の缺陷	小型カメラ
小樽港灣調査報文	箱根丸御船出來形仕様書(共)	(共)	堀江不器雄
小樽築港工事報文	堀 覺太郎	堀内利器	油脂工業(共)
北海道廳地理課第二部	エレベーター	香料及び其の應用	堀岡正家
北海道鑛床調査報文	堀 謙作	堀内利正	配 電
北海道廳土木部	旋盤仕事(共)	煖房及冷凍(共)	堀口貞雄
土木事業執行規程	堀 孝治	冷 凍	金屬及合金加工法
北海道港灣概要	搬送波電信電話	堀内文次郎	堀口甚吉
北海道廳函館支廳	堀 紫朗	陸軍省沿革史(共)	建築工學鐵骨構造
函館港改良工事報文	建築施工法	堀江賢三	建築構造力學
ボツシユ(獨)	施工法	實驗鐵物界精義	建築土木構造力學
機械要素	仕様書及工事監督者	堀江貞治郎	建築土木材料學
堀田蘇彌太	仕様書及工事監督者心得	共電式電話	鐵筋コンクリート建築構造
自働索道運搬法	堀 伸二	自働式電話交換	鐵骨家屋構造
	戰爭論		鐵骨構造

堀口拾巳

現代オランダ建築 二六四

建築様式論叢(共編) 二六八

住宅双鐘居(編) 二五九

ホテル建築 二五・二八

堀越三郎

住宅の合理化と研究問題片々 二五三・二六二

堀野正雄

舞臺寫眞の撮り方 二二・二三

堀場信吉

觸媒作用の理論 一五・二〇

ポルトン

電氣經濟學 一〇六

ポレボイ(露)

露領樺太ニ於ケル石油調査書 一七九

ホワイトヘッド(英)

固體誘電體の破壊 二四

方 俊(民)

測量經緯度報告 一六〇

地圖投影 三九・六〇

鮑 振 方(清)

輿地形勢論 三三

寶 鏡(會)

國寶解説 二五九

紡織雜誌社

ステイフルファイバー講座 二二六

報知新聞經濟部

代用品物語 二四八

寶田石油株式會社臨時編纂部

寶田二十五年史 一七九

法隆寺國寶保存事業部

國寶建造物食堂及細殿工事 報告 二六二・二六三

國寶建造物東院禮堂及東院鐘樓

修理工事報告(編) 二六二

國寶建造物東大門修理工事報告

事報告 二六二

法隆寺國寶保存工事報告書

法隆寺東院に關する發掘調査 二六三

ポ ー ル(加)

砂糖精製法講話(共) 二四二

ホ ー ルマン(獨)

超高周波工學 一四

貌朗度多(獨)

三兵答古知幾(共) 三三

ホ ン

本阿彌光遜

日本刀 三四

本郷弘作

近代兵學 三三

ホンジウス(蘭)

堂家並諸別之法圖 二四

本庄伯郎

生簾寫眞の寫し方 三二・三三

本城 巖

電球及真空管(共) 三五

本田喜一郎

熱量測定ニ關スル研究 六

本田次郎

建築法規(共) 二五・二九

本多勘一郎

發電所及原動機 二四

發電水力の經濟的利用

三三

本多侃士

氣體中の放電(共) 一〇・一四

本多錦吉郎

高電壓現象 一〇・三三

本多熊太郎

電子とその作用(共) 一四

本多光太郎

茶室圖錄 二五九

本多静六

軍縮會議と日本 三三

本多二郎

鋼の焼入 一八七

事務所(共)

磁氣と物質 二二

本多静六

磁性體に關する學說 二二

中等農林測量學教科書(編)

鐵及鋼の研究 一八

農林測量學(編)

本多静六 二五・二六

農林測量學(編)

三六

牧野 喬	橋梁工學(共) 四〇・六七 國道銜結飯桁橋標準設計案(共) 四八・六九 鋼橋設計法 六九	眞崎季隆(續)	常願寺川産砂に關する試験(共) 四 ブロックに關する試験(共) 四 本邦産鋪裝用石材(共) 四七・五	益田森治	瓦斯電氣金屬銲接法 一八八	増山新平	日本建築時代様式鑑識圖表 一五六 新時代の住宅設備 一八五
牧野正巳	競技場建築 二七九	間崎則質	土木設計ハンドブック 五	榎田喜一郎	機械と計畫と設計 五 能率増進工場設備の計畫 二	マチ—マツオ	
牧山鶴彦	臺南州玉井油田調査報告(共) 一七 高雄州恒春油田調査報告(共) 一七	正田貞一郎	製粉工業 九・四三	増田淳	土木工學 四	町田長作	朝鮮の金鑛(編) 一五
横山次郎	魚類・兩棲類・爬蟲類・鳥類 一五 新第三系 一五・一五	眞島卯太郎	架空索道の理論と其設計 六	増田八郎	温 室 二五・二八	待矢場兩堰普通水利組合	待矢場兩堰々史 七
マクドゥガル(英)	陸軍士官必携 三九	眞島健三郎	地震と建築 二七	眞住衡平	發電水力 三三	松井 勇	獨逸を中心とした人文地理學の 一五九
正木助三	旋盤工必携 一〇一	眞島正市	壓力測定法 一〇・一〇 應用物理學實驗(共) 七 應用物理學實驗法(編) 七 光彈性學と理研光彈性裝置(共) 八 船型試驗法 一〇 電氣物理實驗法(編) 一三 粘性測定法 一〇・一八	眞隅隆介	技術家用製圖要鑑(編) 元 土木製圖要覽(編) 三 發電水量 三三	松井清足	歐米中央市場圖集(共) 一五六
眞崎季隆	工事用石材試驗成績(共) 四・五 石材類試驗成績(共) 四	升田憲元	兵役稅論 三六	増谷 麟	現 像 三三・三四	松井邦寧	送信真空管 一九一・四
				榎本セツ	技術史 七	松井元太郎	アルカリ工業 一九二・三
				近代技術史(共譯)	七	化學工業計算法	一九三・九七
						工場内測定と作業の自動化	一九三・一九

松井元太郎(續) 接觸硫酸製造の概要 無機酸工業 硫酸製造法 硫酸製造法(編)	二〇三 一九・〇三 二〇一・〇三 一九・〇三	松井元興 電解分析 有機電氣化學	二〇九 二〇五	松浦四郎 航空路・航空港・航空法規	二九八・三〇〇	松浦二郎 水銀蒸氣整流器	一三三	松浦進 酒精に關する調査報告書	二四一	松浦武四郎 海防策 鹿角日誌 佐渡日誌 東奥沿海日誌 林氏雜纂(編)	三三三・三三五 三三五 三三四・三三五 三三四・三三五 三三五
松浦春吉 鑄物の發達	一六・一七	松浦久信 匠家故實錄	二五二	松尾哲太郎 最近實用製圖便覽(編)	三	松尾小三郎 航海術	二九五	松尾春雄 浦戶港々口の潮流に關する試驗(共) 大阪港附近の津浪の災害輕減に關する模型試驗 神崎川分流に關する模型實驗(共)	四七五 四七五 四七五	松川昌藏 流體力學(共譯)	二〇
松尾春雄(續) 利根川河口の防波堤・導流堤・航路浚渫及砂洲の消長に關する模型試驗 阪神地方沿岸風水害調査報告 防波堤の安定に關する一試驗 矢板擁壁の控版に作用する力に關する試驗 擁壁裏込の土壓輕減の效果に關する試驗 擁壁の安定増大の一提案及之に關する試驗 流速計檢定成績(共)	四九・七四 四八・八〇 四八・八〇 四八・八〇 四八・六 四八・五 四七・五 四七・五	松岡明義 甲冑著用圖	三三三	松岡久雄 綜合工業概論	一	松川雄三 英獨和獨英和挿圖電氣工學辭典(共編)	一〇七	眞繼義一郎 鑛床學提要 銅冶金術 マックラックラン(英) 擴聲器	一七 一五 一四	松崎福三郎 金屬工藝	一八
松下清夫 冬のコンクリート(共譯)	二七・二五	松下進 地史學總論	一五	松下芳男 日本軍事發達史(共) 明治軍制史論集	三〇三 三三六	松島剛 兵役革新論	三六	松島鐵也 木材工藝	二六	松代松之助 現時之無線電信	二九

松瀬勇雄	汽力発電所	二三	松平道夫	最近趣味の化學工業界	一六	松宮觀山	城制圖解(補)	三四	松村孫治	基礎の沈下計算定法	四七・五〇
	送電回路の電氣特性(譯)	二五		天地圓德卷詳解	三五		武學爲初入門說	三〇		基礎版の基本的研究	四八・四六
	電力制御装置と配電盤(共)	二六	松平義雄	最近の航空機(共)	三〇		武學答問書	三〇		地震動による土堰堤の變形	四七・七
	マツダ照明學校			アーチ設計法(共)	五		北條流乙中甲傳秘訣	三四		自動車の路面に及ぼす衝擊に關する研究	四七・三
	建築と照明	三四・六七	松永 工	金屬の物理的性質	一八		北條流大星傳口訣奧秘	三四		彈性地盤上の圓形水槽(共)	四九・六
	松田和三	一〇	松永芳治	松繩信太	六	松宮春一郎	海戰史論(共譯)	三三	松村光雄	最新水力學及水力機械	九
	任上及組立仕事(共)			運轉法規及理論	六		武備日捷(校)	三六	松本秋男	電氣通信測定法	一七
	松田權六	二五・七七	松野千勝	機關車工學(共)	五	松村 瞭	化石人類	一六	松本榮三郎	鑛山學(編)	一四七
	漆塗裝の雜作及家具			松野吉松	一五		周口店洞窟と最近發見の Sinanthropus に就て	一七	松本儀八	最新和洋住宅別荘建築法(共)	二六五
	松田竹太郎	九・〇〇		工業比色化學分析	一五		人種及の人類分布	一八	松本駒次郎	鑛山學(譯)	一四七
	旋 盤		松前重義	電氣通信概論(共)	一七		日本工業地帯の展望	五	松本 榮	瀝青繼目材試驗成績(共)	四八・五
	松田秀任	三四		無裝荷ケーブルによる長距離通信方式の研究	一七	松村光享	機械工場精密測定法と其要具	一〇三		瀝青鋪裝切取供試體の試驗結果より見たるその性質の比較(共)	四九・五
	三將軍解	三七	松見三郎	下水道及汚水處理法(共譯)	八	松村定雄	ピエソ電氣と其應用	二二・元			
	武者物語	三七					無線工學測定法(共)	二九・四〇			
	武者物語之抄	三七									
	松田泰彦	一四									
	短波無線通信(共譯)										
	松平信興	三五									
	雜兵物語										

松本 榮(續)

瀝青鋪裝切取試驗體の性質(共)

四七六

瀝青乳劑の試験成績より見たる品質の比較及其の最近の趨勢に就て(共)

四九三

アスファルトブロック試験成績(共)

四六六

〇市のアスファルト鋪裝に關する試験

四六六

各種アスファルト・ブロック比較試験成績(共)

四六六

揮發油に對するアスファルトの可溶性に就て(共)

四六三

混凝土鋸裝繼目用エラストイト試験(共)

四七三

松本純三

顔料・繪具及インキ(共)

一〇・三三

製版用冷エナメル製造法(共)

三三

松本 健

迅速寫眞仕上げ法

三三・三四

松本猛彦

建築物關係法規圖解

二九

市街地及一般建築物關係法規

全書(編) 二九

松本胤親

猷芹微忠

三三

松本楯治

計算尺の原理及の使用方法(共編)

二六

松本彦七郎

陸前國登米郡南方村青島介塚調査報告

一五

陸前國桃生郡小野村川下り響介塚調査報告・同附圖

一五

松本頼雄

本邦製護絶緣電線に關する調査資料

三三

松本正則

ブライアン及ジョンソン交流機(譯)

三三

松本安藏

航海表

二五

松本容吉

往復機械の主要部分

六〇五

水 車

六八・六九

水 力 學

七〇

水力学及水力学機械設計

六九・九七

松本容吉(續)

水力学要綱

三三

水力工學例題演習

三三

水力發電所

二二・三四

松山基範

重力偏差計による地下探索法

一五・二六

松山芳治

金屬の物理的性質

元

膠質珪酸マグネシウムを主成分とせる促肥素の植物生育に對する試験成績(共)

三七

松良正一

機械工作法

六九・一〇〇

松原 厚

數種の硫化礦物及び酸化礦物の化學的性質

一五・一六

地球化學

二五

電氣的地下探索法

一五・一六

マツ—マン

的場 中

一鐵業篇

一四

臺灣島鐵業調査報告(編)

一五

通氣論

一七

眞鍋嘉一郎

電療電氣(共)

一〇・一五

眞野安道

武具故傳(校)

三五

眞野安代

武具故傳

三五

マ—ハ—ン(米)

海軍戰略

三二

兵學提要

三三

馬淵精一

構造地質學

一五

新期岩層

一五

間宮保三

ラテックス及其の工業

三六

マルカス(獨)

床版の計算

三・三五

丸毛 登

鑽石受信機(共)

一四

放送無線電話

三九・四三

丸澤常哉	一六九・一七〇	〔滿洲國公土嶺〕農事試驗場 滿洲に於ける纖維作物	二二三	滿洲輸入組合聯合會商業研究部(續) 滿洲に於ける電球	二二五	三浦寅吉 スポット寫眞攝影法	二二二・二三四
バルブ及び紙	二〇三	〔滿洲國〕財政部 滿洲國釀造業調査書	二二〇	滿洲に於ける磁器鐵器	二二七	三浦元秀 理想的家の造り方 理想的的住宅の間取	二五〇・二四四 二五五
硫酸及硝酸製造法	二〇三	滿洲國産業部大臣官房資料科 綿布並に縮織物工業に關する 調査書	二二四	三浦輝 建築・風景 剛節構理論	二五〇 二五	三枝彦雄 金屬内電子現象 磁氣と電氣 新電子論 電氣磁氣學	二四 二二 二四 二二
丸善株式會社	一〇一	滿洲國實業部臨時産業調査局 酒精に關する調査報告書 石鹼に關する調査報告書 メリヤス製品並にメリヤス工業に 關する調査書	二二二 二二八 二二八 二二五	三浦伊八郎 木材化學(共)	二二	三重縣工業試驗場 三重縣工業試驗場業務功程	二四 二五
精密工學	一〇一	滿洲戰蹟保存會 明治三十七八年戰蹟記念寫眞帖	二二六	三浦乾太郎 最新機織法	二二	三上新九郎 孔明け及中ぐり仕事	一〇一
電信イロハ暗號	一〇七	滿洲炭鑛株式會社 滿洲石炭事情	二二三	三浦七郎 橋梁工學 鋼橋	四〇・七 七〇・七一 七〇・七〇	三上致之 城制類聚 水戰考 築城要法	三四 三三 三三 三五
マルチ	一〇三	滿洲石炭事情	二二三	鋼橋	七〇・七一	三上知友 秋田縣仁賀保油田地形及地質 圖說明書(共)	一七五・一七六
水銀整流器	一〇三	北滿鐵道沿線に於ける電氣事業 概況	二二八	單鉸拱橋模試試驗 單鉸拱の振動に關する理論及 實驗	四七・七〇		
マルチン(米)	一〇九	滿洲輸入組合聯合會商業研究部 滿洲に於ける石鹼 滿洲に於ける染料	二二八 二二八 二二〇	三浦尙史 建築架構の解法 建築構造強度計算法 建築構造力學	二六七 二六七 二六七		
陸地戰例新選(譯)	一〇九						
株式會社丸紅商店京都支店	二〇二						
丸紅商店京都支店工事概要	二〇二						
丸山新藏	二〇二						
實用土木工學便覽	二〇二						
丸山壽	二〇二						
變電所	二〇二						
マ	二〇二						
電	二〇二						

三上安美

滿洲の纖維工業 一三三

三川 一

最新探炭學 一七三
探炭學 一七三

三木榮三

瀝青質材料及鋪裝 四・五
瀝青質材料の滲透性に關する 四・五

瀝青質材料の比粘度及容積膨脹係數並に其の滲透操作に對する關係(共) 四・五

瀝青滲透ブロック試驗成績(共) 四・五
瀝青滲透ブロックに關する試驗 四
瀝青滲透ブロック鋪裝試驗 四
アスファルトブロック試驗成績(共) 四・六

各種アスファルト・ブロック比較試驗成績(共) 四・六
各種土木工用材料試驗成績 四七・五
瓦斯爐及煨炭爐タール及ピッチに關する試驗成績(共) 四・九

揮發油に對するアスファルトの可溶性セメントに關する試驗(共) 二五・四

急硬性セメントに關する試驗(共) 二五・四

三木榮三(續)

コイル・タール・ピッチ中の純瀝青に就て(共) 四・五
石油アスファルトとコイル・タール・ピッチとの混合物に關する試驗(共) 四・五
ソリディチット及ポルトランド・セメント(共) 二五・四

東京市瀝青質鋪裝試驗(共) 四・六
鋪裝及其の材料吸水率試驗成績(共) 四・六

八幡製鐵所副産部製品タール・ピッチ・スラッグ・ピッチ煉瓦試驗成績(共) 四・六

三木巳代吉 瀝青質材料及瀝青質混合物に關する研究 四・五

三木吉平 實用自動車工学 八九・三
自動車 八・三
自動車用機關(共) 九五・四
自動車用機關故障及修理法 九五・四

右田秀雄 接合劑 二〇・二四

三國庄次郎 海景寫眞の作り方 二二・二三

三雲次郎

石鹼及グリセリン 一〇〇・三
石鹼・脂肪酸・グリセリン及び蠟燭工業 一九・三

三島徳七 金屬材料及其熱處理 九・七
高温高壓元素による耐蝕腐蝕の研究 一九・四

炭素鋼 二六・八
鐵と鋼 八九・八
本邦に於ける製鋼平爐の形狀及び其大さ(共) 二・八

三島泰雄 眼のあたり見た滿洲事變 三・七

箕作阮甫 鷲毛筆餘 三・三

箕作元八 世界大戰史 三・一

箕作新六 化學熱力學 一九・二〇
膠質化學 二四・七
電氣化學 二〇・五

箕作洋輔

石炭液化と代用燃料(共) 三・五
水島三二郎 分子と電氣 二・四

水田信利 幕末に於ける我海軍と和蘭 三・〇

水田政吉 實用石油及アスファルト類試驗法 一七・九
石油 一七・九

水谷清重 科學的製パン工業 二・三

水谷 鑄 三・七
尾張治水史 三・七

水野常吉 英獨和獨英和工業用語新辭典(編) 九

水野敏之丞 電子及原子論大要 二・四
電子ノ活動 二・四
電子論 二・四
電波ト無線電信 二・四
無線電信電話論 二・四

水野敏之丞〔續〕 無線電話大要 理論電氣學	四〇 三三	三田民雄 消弧裝置(共)	三三・二七	密田良太郎〔續〕 其一般特性に就て(共)	三三	三菱電機株式會社 三菱電機總型錄	二九
水野行敏 蘭均氏土木學(譯)	四	三谷 徹 最新製絲學 製絲祕術	三三 三三 三三	水銀整流器に依る脈動の弱電 流線への誘導障害並に其防止 方法に就て(共)	一三	光村利藻 複寫の祕訣	三三・三三
水橋東作 短波無線通信(共譯) 無線工學の理論と實際(共譯)	四四 一元	三田村鐘三郎 船舶噸數之辨(譯)	三三	光水一三男 鋼道路橋の設計	九	南 英一 鑛物及の岩石の化學分析 人工鑛物	一五・二六 一五・二六
水原 旭 鐵筋鐵骨構造計算圖表と實例(共)	三	道田貞治 最新電話 有線電話	二七 二五・二六・二六	三橋四郎 大建築學 木造洋館詳細構形集(編) 和洋改良大建築學 理想の家屋	二九 二七五 二九 二五〇	南 省吾 一般構造(共) 木構造(共)	二五 二六
溝江 昇 流體力學と航空力學	二六	三井啓策 石炭液化	二〇・二五	三菱重工株式會社名古屋 航空機製作所 薄板電氣點熔接研究報告書 三菱航空機研究報告	二八 二八 二八	南 保賀 近世道路工學(譯)	三
溝上 銈 高周波(共譯) 無線工學の理論と實際(共譯)	二六 一元	三井嗣善 機械減摩法 發動機燃料	一〇 三三	三菱造船株式會社長崎造船所 職工課 三菱長崎造船所史	二九 二九 二九	南川利雄 土木機械	五
溝口好忠 立體圖學	二九・四〇	滿田隆一 食養化學汎論	二四	三菱造船株式會社長崎造船所 職工課	二九	南滿洲鐵道株式會社 鞍山製鐵所新設工事紀念寫真帖 上水協議會議事錄(共)	一八 八三
溝口良吉 齒切機械及齒切法	八九・一〇〇・一〇三	密田良太郎 水銀整流器(共) 水銀蒸氣整流器の試作研究と	二〇・三三	三菱造船株式會社長崎造船所 職工課	二九	南滿洲鐵道株式會社技術研究所 技術研究所報告	三
ミタ―ミノ						南滿洲鐵道株式會社經濟調査會 支那住宅志	二六

南滿洲鐵道株式會社經濟調查會(續)	三六	南滿洲鐵道株式會社庶務部	二五	南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局	二八	峰 彌太郎	二七九・二八五
獨逸に於ける油脂工業の現勢	一七	調查課(續)	二五	亞米利加合衆國製鐵業	一七三	現代小學校の建築と設備	二七九・二八五
滿洲に於ける炭田並炭質調査	一五	滿洲の莫大小工業	一七	石炭ノ利用(譯)	一八四	峰尾芳男	一四六・三四
滿洲の鐵業	一五	滿洲油坊業の現勢調査資料	一七	本邦鐵鋼業の現勢	一八四	トッキー	一四六・三四
南滿洲鐵道株式會社工務課	五	遼河水運調査資料	一七	我國に於ける化學工業の發達	一八六	嶺田楓江	三〇〇
安奉線改築工事記念寫眞帖	五	遼河の改修	一七	南滿洲鐵道株式會社哈爾濱事務所庶務課	一七三	雅片戰志	三〇〇
南滿洲鐵道株式會社庶務部	一五	勞農露國の軍事	二〇	北滿之石炭(譯)	一七三	窪田猪太郎	二六
露領極東の鑛産	一五	南滿洲鐵道株式會社地質調査所	一六	南滿洲鐵道株式會社哈爾濱事務所調查課	二八	硝子製造法(編)	二六
南滿洲鐵道株式會社庶務部	一五	砂金採取法調査報告	一六	北滿洲に於ける電氣業	二八	ミハエリス(獨)	二四七
調查課	一五	南滿洲鑛產地及鑛産統計一覽	一五	北滿に於ける小麥と製粉工業	二四三	膠質化學概論	二四七
印度の黃麻工業と滿洲に於ける麻袋	一七	滿洲鑛産物分析試驗表	一五	滿洲纖維亞麻作論	二四五	三平 圓治	二九二
昭和四年滿洲油坊現勢	一七	滿洲鑛物調査報告	一六	南滿洲鐵道株式會社撫順炭坑	一七	市街地建築物法	二九二
バルブ工業に關する調査	一七	[滿洲鑛物]埋藏量一覽	一六	炭鑛讀本	一七	三平 文	二九二
奉天昭陵調査報告	一七	滿洲地質及鑛産分布圖	一六	撫順炭坑	一七	三平 文	二九二
奉天昭陵圖譜	一七	滿鐵地質調査所要覽	一六	南滿洲鐵道株式會社臨時經濟調查委員會	一七	絹精練・漂白・錫増量及其仕上	二九二
滿洲に於ける硝子工業	一七	滿蒙及北支那ノ炭田	一七	本邦朝鮮に於ける無煙炭の需給	一七	三村寅吉	二九二・三三
滿洲に於ける高粱酒釀造業	一七	中央試驗所報告	一六	滿洲產無煙炭に關する調査	一七	夜景の寫し方	二九二・三三
滿洲に於ける榨蠶製絲業	一七	南滿洲鐵道株式會社鐵道建設局建設要覽	一六	源 徳修	三九・四一	宮内幸太郎	三三・三三
滿洲に於ける砂糖事情	一七	海克線・泰克線・拉訥線建設紀要	一六	擊劍叢談	三九・四一	カーボン印畫法	三三・三三
滿洲に於けるセメント工業とその需給狀況	一七	南滿洲鐵道株式會社鐵道部運轉課	一六				
滿洲に於ける紡績業	一七	ニャーブレキ説明書	一六				
滿洲に於ける燐寸工業	一七						
滿洲に於ける油坊業	一七						
滿洲の纖維工業	一七						

宮内良明 軍儀臨戰兵道之部	三宅晴輝 電力コンツェルン讀本	宮下孝雄 裝飾構成之研究	宮田保郎 電氣工業論
三三三	三三	二八九	二八
宮川邦基 蒸氣罐及蒸氣機關設計	三宅福馬 電氣事業經濟論	宮島利七 脈延法	宮部直巳 山崩に關する文獻抄録
八九・四	三三	二六・二七	一五七
宮川三一 一次及二次電池	宮崎喜左右衛門 自動雷壓調整器	宮田應禮 電氣點火(共) 電氣點火故障及修理法(共)	宮部宏 電氣磁氣學(共)
二〇六	三三	五五・五六 五五・五六	二二・二三
宮城音五郎 渦卷ポンプ	宮崎謙三 建築藝術(一譯)	宮田 敏 皇朝戰略編	宮本茂業 計器用變成器 消弧裝置(共) 變壓器
九	二五	三四	一六・三三 三三・三七 三三・一三
機械學 機械學通論 機械設計 機構學	宮崎虎一 鑛業	宮田 聰 アブラハムベッカー理論電氣學 (譯)	宮本武之輔 煙突及電柱 河川工學 鋼矢板工法 混凝土及鐵筋混凝土 混凝土及鐵筋混凝土抗扭 試驗報告
六 六 六 六	二四	三三	二九・三〇 三五 三五 三五 二五・二九 二六・二九・三〇
近世機械學 工業力學 材料強弱學 材料力學 水力及水力機械 水力學 水力傳動裝置 流體力學	宮崎柳條 隄防溝洫志(訂)	宮田三郎 襖壁紙文様集(編)	混泥土道路 災害讀本 最新河川工學 最新鐵筋コンクリート工學 材料及施工 鐵筋コンクリート 治水工學
一九・六 三・六 三 三 七 七 二〇・八 二〇・八	七 七	二九	三 三 五 五 元 三〇 七
宮城縣 水害豫防工事ニ關スル千頭知事	宮崎幸磨 石燈籠	宮田道雄 感光材料 寫真化學 寫真材料	宮田彌治郎 冷凍冷蔵の話
七	二五	三三〇・三四 二〇九・三四 九・二〇	二四
三宅克巳 寫眞のうっし方	宮崎好文 蒸發	宮田彌治郎 冷凍冷蔵の話	
三二	一九四・九七	二四	

村上惠一	石灰・石膏・プラスチック類(共)	二四・二〇七・二一七
	無機質化學工業材料(共)	一五二・二四六
村上啓作	戦争要論(編)	三〇三
村上武次郎	耐酸耐蝕及耐熱合金	一六・一八
	鐵鋼の顯微鏡組織	一八二
	特殊鋼(共)	一八三
	特殊鋼の組織	二六・八三
村上透	電鍍化學	一七〇
村上俊男	工業方面に於ける電子管の應用(共譯)	二四四
村上英俊	佛蘭西各用智幾(譯)	三三六
村上元紀	近世道路工學	六
	混凝土構造物防水工學	三
	自動車道及道路鋪裝技術	四

村越(淡路守)	箱根丸御船出來形仕様書(共)	二五〇
村瀬英一	構造強弱學	三〇
村田治郎	滿洲回教寺建築史の研究	二五七
	滿洲建築	二五二・二四
	奉天昭陵調査報告	二六四
村田正志	石津の合戦	三〇四・三〇五
村田恒光	六分圓器量地手引草	一六
村田直景	談兵知要(共校)	三五
村田房一	膠質化學實驗法	二二七
村田文夫	西洋家作雛形(共譯)	二二四
村田懋磨	最近海軍之趨勢(編)	三三〇

村野爲次	應用水理學	四〇・七
村松繁樹	聚落	一五
	日本地理學史	一五
村山賢一	秋田縣神宮寺油田地質及地形圖說明書	一七五・一七六
	秋田縣矢島油田地形及地質圖說明書	一七五・一七六
	秋田縣和田油田地質及地形圖說明書	一七五・一七六
	新潟縣村上油田地質及地形圖說明書	一七五・一七六
村山茂	上田電氣機械工學(共)	二一
	電氣機械應用(共)	二六・二九
	電氣機械檢査(共)	二六・二九
	電氣機械設計(共)	二六・二九
	電氣機械理論(共)	二六
室賀徳次郎	測量便覽(共)	三
室田久良三	店舖の設計と裝飾	二四・二九

ムーア(米)	現代の海權爭霸	三三
メイ・メリ	明治専門學校鐵及び鋼の研究	一八
	明治二十七八年戰役統計編纂委員	三六
	明治二十七八年戰役統計	三六
明電舎	電氣機器仕様書の書き方	二九
瑪高(溫(米)	金石識別(譯)	一八〇
	航海金針(譯)	二九五
目崎憲司	鐵鋼及石炭業に於ける企業組織	一八四
目戸繁榮	最新電氣機械器具試驗法	二九
	實務電氣工學	一五〇

メラン(獨)	橋梁工學	望月重雄	高壓工學	望月勝海	地形發達史(共)	持田軍十郎	砂防工法	本木正榮	海岸備要(譯)	元良 勳	意匠及裝飾論(共)	建築論	大大阪橋梁選集(共編)	茂庭忠次郎	下水學大意	下水工學	物部長穗	應用地震學	北上川降開式轉動堰模型	試驗(共)	水理學	世界橋梁寫真集(共編)	地震に因る動水壓を考慮せる	軍備制限と日米關係																	
三〇	三〇	一三	一三	一五	一五	六	六	三三・三五	三三・三五	二五・二七	二四九・五三	六	六	四〇・四四	四	四〇・四四	四〇・五三	四〇・五三	四七・六	三	六	四七・五	三三																		
望月小太郎	望月 要	望月重雄	高壓工學	望月勝海	地形發達史(共)	持田軍十郎	砂防工法	本木正榮	海岸備要(譯)	元良 勳	意匠及裝飾論(共)	建築論	大大阪橋梁選集(共編)	茂庭忠次郎	下水學大意	下水工學	物部長穗	應用地震學	北上川降開式轉動堰模型	試驗(共)	水理學	世界橋梁寫真集(共編)	地震に因る動水壓を考慮せる	軍備制限と日米關係																	
三三	三三	一三	一三	一五	一五	六	六	三三・三五	三三・三五	二五・二七	二四九・五三	六	六	四〇・四四	四	四〇・四四	四〇・五三	四〇・五三	四七・六	三	六	四七・五	三三																		
物部長穗(續)	土木耐震學	背水曲線の一般的解法(共)	桃木武平	日本船舶構造の變遷	百瀬泰次郎	水工學叢書(編)	測量必携實用曲線表	流水の測定(編)	森 岩太郎	農林地測量術	森 學機	皇古戰得失論	森 規矩	塗裝工作法	森 慶三郎	橋梁工學	下水道	構造ノ理論ト設計	最新道路工學	上水道	森慶三郎(續)	上水道詳論	水工學	水理學理論及應用	水力學	測量師必携	鐵筋混凝土橋梁及樞構	鐵筋混凝土の理論と實際	森 景鎮	劍法擊刺論	森 五六	世界大戰史講話	森 秀	改正電氣工作物規程要旨	水力發電所	森 周一	製 麻	森 純正	航空學(譯)	森 晋太郎	タイムス日露戰爭批評(譯)
三	四七・七	四七・七	二九四	二九四	七	七	七	七・七	三	三	三〇	三〇	二七八	二七八	七	八	四三・五	四三	八	三	八	八	七	七	七	七	七	七	七	三	三	一〇六	一〇六・二四	三三	三三	二七六	二七六	三〇七	三〇七		

森 忠藏	水力電氣(共)	三三
森 徹	木構造(共)	二五・三六
森 彦三	機關軍工学(共)	五
森 兵吾	交流理論	三三
森 元七	理論實驗酵素化學	三七
森 芳太郎	新しい寫眞畫の作り方	三三・三四
	寫眞術講話	三〇・三一
	寫眞の原理(譯)	三〇
	撮映の理論と實際	三二・三四

モリオールモン

森口多里	印度の文化と建築(共譯)	二六三
	希臘の文化と建築(共編)	二六四
	ゴシックの文化と建築(編)	二六四
	ビザンチン文化と建築(共編)	二六四
	表現主義建築圖集(編)	二七四
	文化的住宅の研究(共)	二八四
	ローマネスクの文化と建築(編)	二八四
森重都山	合武三島流舟戦法要(編)	三三
森下正信	地質學通論	二五四
守田 榮	騒音	一八
盛田 暁	帝國海軍之危機	三〇
森田 清	電氣物理超短波	二四
森田慶一	ネトルーネウスの建築論的研究	二四九
森田重彦	電氣工学(共)	四〇・四一

森田虎起	實用測量法講義	三
	測量法講義	三
森谷延雄	これからの室内裝飾	二八
	小さき室内美術(編)	二九
森友芳二郎	テレビジョンの原理と製作	一四
森本貫一	發生爐瓦斯試驗報告	一四・三六・三七
森本衆逸	護謨の研究(共)	二七
森本 昂	速算スタヂア成果表(編)	七
守屋逸男	銑鐵の性質及び鑄造法	一六
守屋物四郎	木材乾留法	三三
森安靜太	硝子中の硼酸定量法に就て(共)	二六

森山義一	航空發動機(共)	二九・九
	航空發動機理論	二九
森山二郎	絹絲紡績	三四
	最新紡績原料論	三四
森山藤吉郎	ゴム及エポナイト配合	二七
森山信規	米西戦争	三二
森山弘助	機織準備法	三三
	最新綿絲紡績術	三三
	糊調合と糊附機取扱法	三三
諸井貫一	セメント	九・四
諸戸北郎	簡易測量學	三・三
	經緯距表(編)	七
	斜距離改算表	七
	砂防工學	七
	製圖の凡例及雛形(編)	八

諸戸北郎(續)	六	八木龜助	四七六	矢木久太郎	三六	安江安吉	二九
線路運搬法(編)	三三	溢流堤下游洗掘防止に關する 一試驗	四七六	醸造學(共編)	三六	最新住宅建築(編)	二八三
測量學	三三	流速計檢定成績(共)	四七三	日本酒釀造法(編)	三九	住宅の重要設備	二八三
測量家必携	三三	八木金藏	二四	工業用爐	一四〇・二〇	小住宅の洋風裝飾	二八八
測量教科書	三三	發電所設計の經濟的要素(譯)	二四	工業窯爐	一四〇・九七	茶室と茶庭	二八三
測量平均法	三三	八木憲一	二五	やくも會	二九	日本化したる洋風小住宅	二八四
測量問答	三三	一般構造(共)	二五	裝飾圖案集	二九	安河内治一郎	三二・三三
諸戸砂防工學	三三	建築構造(共)	二七	矢崎高儀	三	人物寫眞の寫し方	三二・三三
歐羅巴諸國ニ於ケル野溪留工事	三三	煉瓦及石構造	二五・二六	鐵骨構造(共)	三	安河内鶴千代	三〇
調査復命書	三三	八木幸次郎	三	鐵筋コンクリート結構と耐震的 計算法	三	鐵道工學講義(編)	三〇
理水及砂防工學	三三	鐵筋コンクリート結構と耐震的 計算法	三	矢崎好幸	二五	安田一次	三三
諸橋秀策	三五	八木千之	三三・三五	セメント工藝	二五	全流舟車之卷(共編)	三三
戰略論(共譯)	三五	防海集說	三三・三五	矢島 濟	三	安田正鷹	三
毛利貞齋	三五	海 綠 石	一七	鐵筋混凝土計算及其資料	三	河水統制事業	三
通俗戰國策	三五	八木次男	一七	八代 保	一四〇・二七	安松長一	三三
文 部 省	三二	信濃鐵物誌	一六	瓦斯發生爐試驗報告	一四〇・二七	瓦斯事業の研究(編)	三三
歐洲戰爭寫眞帖	三二	八木貞助	一六	屋代弘賢	一七	安村義一	三三
普通木工術	三二	無線遠隔操縱(共)	二九・三〇・三〇	鑄錢雜考	一七	滿洲の工業と其の資源(編)	六
ヤイーヤへ	三〇	安井源雄	三二	世界戰爭(譯)	三二		
矢板豐一	三〇						
機械工作法	三〇						

柳河春蔭

海軍沿革論(共譯)

寫眞鏡圖説(譯)

楊 基之進

刪定紀效新書秘解(校)

柳澤 彰

倉 庫

柳原英一

現代ノ電氣化學工業

柳町政之助

建築設備(共)

煖爐と換氣

我家の煖房

築瀬幸三郎

自動車學(共)

矢野 剛

運河論

矢野仁一

アヘン戦争と香港

矢野宗幹

木材の害蟲

矢野常太郎

海軍軍政要覽

矢野道也

繪の具製造法

油脂工業分析(編)

矢儀 不二

流量算定圖表

矢部長克

北樺太亞港封鎖炭田南部に發達せる

第三紀及白亜紀兩層の層序(共)

中・下部瑞穂統

日本近生代地層の對比(共)

日本洪積世氣候論

ヤマオーヤマタ

山岡長則

醸造甘味料

醸造設備と建築機械設計

山岡包郎

應用彈性學(譯)

山岡元一

水道及下水道

山鹿素行

海備全策

孫子諺義

武教小學

武教全書

武教要論

武家事紀

山鹿素水

海備芻言

練兵說略抄錄

山鹿高恒

武事提要

山方岩熊

實用炭鐵電氣工學

山形甚吉

小型發動機

ディーゼル・エンジン

山縣有朋

軍人訓誡

山縣昌夫

船型試驗法

山形 縣

山形縣治水調査書

山形縣治水山林會

山形縣治水山林會報

山形縣土木課

山形縣コンクリート試驗鋪裝

工事報告

山上八郎

日本甲冑の新研究

八卷彌一

電氣工學(共)

山岸龍二

市街地建築物法規類集(編)

山際滿壽一

英獨和對照電氣工學術語辭典

山口卯三郎

電波傳播論(譯)

山下壽郎	契約・仕様・積算 現場及其設備	二五・三七 二五・三七
山下弘一	ゴム製造化學	二四七
山下行雄	電氣ローマンス	一〇六
山下芳雄	滿洲産タール・重油・中油及び重油 に依るカット・バック・タール等の 鋪裝材料としての性質(共)	四九・六六
山田賀一	金屬礦物の選礦法	一七五・一八〇
山田邦三郎	木型と鑄造(共)	一八七
山田邦彦	吹管分析手引表	一八〇
山田顯義	建白書	三四三
山田幸五郎	光學機械論 寫眞光學	一八 二〇・二四
山田耕之助	瀝青質材料の比粘度及容積膨脹 係數に其の滲透操作に對する 關係(共)	四六・五三
	アスファルト・タールの性質に及 ぼす氣象作用の影響・特にそ の薄層の場合の性質變化(共)	四八・五三
	瓦斯爐及炭炭爐タール及ビッチに 關する試験成績(共)	四六・一九四
	コール・タール・ビッチ中の純瀝 青に就て(共)	四六・五三
	混成タールの性質に及ぼす氣象 作用の影響、特に薄層の場合 に於ける性質變化(共)	四九・五三
	石油アスファルトとコール・ター ル・ビッチとの混合物に關する 試験(共)	四六・五三
	東京市瀝青質鋪裝試験(共)	四六
	本邦鋪裝用タールの性質に就て (共)	四七・六七
	八幡製鐵所副産部製品タール・ ビッチ・スラッグ・ビッチ煉瓦 試験成績(共)	四五・四六
山田櫻	化學兵器	二〇二・三七
山田準	孫子(共譯)	三九
山田醇	家の建て方 住宅建築の實際	二四九 二八二
	木造中流住宅模範設計圖	二七三
山田正平	燈臺	二九・五九
山田漸	非結晶性多孔質無水硅酸ノ製法 及其ノ應用試験(共)	二七
山田徳明	征清戰史	三〇六
山田直平	ミラーフイック・ネオンサイン (共譯)	一五
山田元	瀝青透入マカダムに關する試験 (共)	四七・四八・五
山田元(續)	簡易鋪裝に關する實地比較試験 (共)	四七・六四
	混凝土鋪裝の粗骨材別磨耗比較 試験(共)	四六・六五
	混凝土鋪裝の繼目に關する試験 (共)	四七・六五
	砂利層の支持力に關する試験 (共)	四七・七四
	砂利路面工の配合比に關する 試験(共)	四八・六四
	施工方法による砂利路面工の 耐力の比較試験(共)	四八・六三
	土の乾燥に伴ふ壓縮強さの 變化	四八・五一
	土砂の安定強度試験	四八・六三
	土砂の安定強度に及ぼす加壓 回數の影響	四八・五一
	ポットランド・セメント混凝土 鋪裝の磨耗試験(共)	四八・六五
山田英雄	計算尺の使ひ方	一六
山田廣	染色加工篇	二二六
山田復之助	鑛山の開發と經營	一四七

山田 守	シールドリング	二五・二六	山中 靜次	建物保護法釋義	二五	山内市太郎	韓國木浦港附近干潟締切工事調査書	二	山ノ内 弘	厭延・引拔及摺出し加工法 機械工作法 金屬材料 金屬材料學 粘性大なる流體の絞り流れに關する實驗	八九・九七 八〇・一〇〇 二七・二六 二七 一九五・二四六
山田光雄	X線分析法 温度と其測定法(共) 金屬及合金とX線(共) 結晶物理學	一〇・一五 八 二六・二八 一七	山中 節治	文化生活と其の住宅	二六	山内伊平	水力工事編	三	山之内嘉兵衛	建築法令	二五・二五二
山田良之助	金屬材料 金屬材料の機械的性質 材料試驗法 材料試驗法及試驗機 材料試驗法附試驗機械	二七 二七・二八 三三 三・九 一〇・三	山中 秀男	汽罐の設計 實用機械製圖法 製圖の指針	二五 二五 二六	山内寬一	メラン橋梁工學(譯)	七	山村 清脩	縮紡式紡績篇	二二六
山田嘉久	蒸汽機關	九	山中 良樹	鐵道工學(共)	二五	山内喜之助	基礎工學 樋門・開門	五 九	山本 勇	交流理論 直流電氣機械實驗法 電氣機械實驗法 電氣磁氣學 無線電話の基本智識	一〇・一三 一〇 二九 二二 一四〇
山田要吉	工場用具論(譯)	一〇	山梨高等工業學校	山梨高工研究報告	三	山内俊吉	土木材料	五	山本 一次	規 矩 術	二七五
山田陽清	河川及運河 發電水力	七五・八 三三	山根新次	內蒙古南東部礦物調査報文 大阪市地質概觀 支那地史 東部內蒙古産業調査(共)	一六 一六 一五 一五	山内二郎	光電管・光電池・セレンセル 照明電燈及電熱(共) 照明用放電管 電燈照明 電燈・晝光・照明工學	一四・一四 一四・一六 一五・一四 一〇・一五 一五	山本 氏榮	武家拾要記抄錄	三〇一
ヤマナヤワ	機械製圖法(共)	九・九	山内 一次	機械製圖法(共)	九・九	山内不二雄	船舶機關	六・九五			

山本水之助	チアソ化合物の水溶液中に於ける 分解速度に關する研究	二〇四	山本拙郎	和洋住宅設計の知識	二七三	山本貞吉	建築金物	二六六	山本洋一(續)	金屬の耐腐蝕性に就いて 金屬の腐蝕及防蝕	一八・二四六 二六・二八・二四六
山本 潔	土木工事仕様設計實例(編)	五	山本惣治	自動車	二〇三	山本 亨	歐米都市ニ於ケル鋪道及橋梁 調査報告書	三・六	山本和七	瀨山電氣鐵道鋼索線	一四一
山本研一	石油及天然ガス	一九・二〇一	山本重吉	臺灣の工業用水分析試験成績	三・三三	山本倍夫	商切仕事	一〇一・一〇一	山脇重顯	八陣圖說	三三
山本嶽記	旋動商載機械	一〇〇	山本武藏	船 船	二五	山本信行	セメント及人造石	二五・二〇一	山脇正準	海防四百首	三三・三五
山本五郎	金工萬國博覽會報告 電氣鐵道(共)	一八 二二・二五	山本忠興	家庭用電氣設備に就て 照明及電氣設備 テレビジョン(共編)	二五・二七 二五・二七 一四	山本廣三郎	周波數變換機 紡織電化(譯)	三三・三三 一〇	八幡一郎	馬 具	三四
山本悟郎	誰にでも解る直ぐ役に立つ 建築の實際知識	二四九	電氣機械	電氣工學大意	二二・二六	山本 博	機械設計及製圖(共)	九	矢幡源三	電磁氣測定及測定器(共)	一七
山本實彦	支那事變	三〇三	電氣工業篇	變 壓 器	一八 二〇	山本峰雄	飛行 船	二六・二〇〇	ユージュン		
山本正一	溫度と其測定法(共)	一八	山本達雄	密着印畫	三三・三四	山本芳男	電弧銲接検査法	一九	餘 昌 會(瀆)	航海輯要	三五
山本祐徳	火藥・花火及マッチ	二〇一・二四	山本次男	工業力學	一八	山本洋一	金屬材料及其の耐蝕性 金屬材料腐蝕試驗及防蝕法	三三・三〇 九・七	湯淺龜一	材料力學	三三・八

湯淺得之 武具訓蒙圖彙	三五				
山岐 一 石油の話(共) 本邦石油史	一七 一七 一七				
ユシール(英) 測量器械取扱法	一六				
結城一郎 中國地方に於ける砂鐵製鍊法の 史的研究(共)	一五				
有終會 海軍及海軍要覽 海軍要覽 帝國海軍史要 米國海軍の真相	三〇 三〇 三〇 三〇 三二				
有生會 精油の化學 燃料	三六 三六 三八				
ユンケ(獨) 石炭ノ利用	一七				
ヨ—ヨシキ					
余元長(明) 武家叢(訂)	三三				
與菴伽禮斯多夫并兒(蘭) 砲術基礎(譯)	三二				
横井時冬 日本工業史 日本工業史對照圖(編) 日本工業史要	六 六 六 六				
横井寅雄 實用機織法	三三				
横井素男 靜物寫眞の作り方(共)	三三				
横河橋梁製作所 製作品寫眞帖	六				
横須賀海軍工廠 横須賀海軍船廠史	三〇				
横田清義 電弧銲接實習法(共)	一八				
横田成年 造船學	三三				
横田周平 江戸川河水統制水門下流洗掘に 關する水理實驗(共) 江戸川河水統制水門に於ける 鹹水の侵入に關する實驗 砂防堰堤の洗掘防止に關する 水理實驗(共)	四七 四七 四七 四七 四七				
勢方式に依る變斷面對稱長柱の 挫屈荷重を求むる近似計算法 停止波に就て	四九 四九 四九				
横濱高等工業學校建築科教室 建築競技設計圖集	三三				
横濱市役所 横濱市水道誌 横濱市水道第二擴張誌	五 五 五				
横濱正金銀行頭取席調査課 米國航空工業に就いて	一七				
横堀治三郎 銅冶金學	一五				
横山 磐 門と垣	二四				
横山 信 建築構造の知識 仕様書	二七 二七				
横山壯次郎 北海道(地質調査)鐵物調査報文 (共)	一六				
横山武一 高壓化學技術 窒素工業	一九 一九 二〇				
横山武人 實用力學	一九				
横山辰次郎 最新隧道工學 水理學	七 七 七				
横山文司 最新應用セメント工學	二〇				

横山正次

固体誘電体の破壊(譯)

二四

横山又次郎

自然地質學

一五

地質學教科書

一五

地質學概要

一五

地文礦物講話(共編)

一五

地文講話

一五

普通地質學講義

一五

横山盛彰

鉛蓄電池に對する有機物質の

影響に就て(共)

二〇六・二〇八

吉井豐藤丸

セメント回轉窯に關する一二の

化學工學的研究

二四五・二四六

吉江介三

壓力容器

九〇・九三

辨

九〇・九三

漏洩防止法

九〇・九三

吉岡藤作

耐火物

一九九・二〇六

燃料汎論

二八

吉川岩喜

坑氣調整學(共)

一七〇

吉川龜次郎

工業電氣化學

二〇五・二〇九

蓄電池及其取扱法

二七

吉川清作

現代の住宅

二六

吉川晴十

鍛造

九一・九六

電氣製鋼術

一〇・二六

熔解爐と熱處理爐(共)

二六・二八

吉川玉吉

化學機械の計算法

二五

化學機械の理論と實際

二五

吉川長之助

本邦主要工業要覽(編)

五

吉川速男

暗室の作り方

三三・三三

小型映畫の寫し方

三三・三四

吉木一朗

機械工學要項

六

吉木文平

窯業原料礦物(共)

一七〇・一七

ヨシタ・ヨーセ

吉田五十穂

甜菜砂糖製造法(譯)

二四

吉田一保

和漢軍書要覽(編)

三〇

吉田弟彦

應用地質學

一五

中立地帶礦物調査報告

一五

南滿洲ニ於ケル鑛産地

一五

吉田 薫

高層架構の實用的解法

三

吉田 要

〔臺灣〕新竹苗栗及竹東油田

一七

調査報告(共)

一七

〔臺灣〕臺南州小梅油田調査報告

一七

〔臺灣〕高雄州旗山部油田調査

一七

報告

吉田 寛

輕工業

一

吉田寛一郎

京城府に於ける硝子工業の趨勢

二七

吉田享二

建築物の耐久性

二七

漆喰壁の知識

二五・二六

吉田庫三

武教全書講草(編)

三〇

吉田三郎

橋梁工學講義

二七

吉田 潤

人物寫眞の急所

三二・三四

吉田松陰

西洋歩兵論

三九

孫子評註

三〇

武教講義

三〇

武教全書講草

三〇

武教全書講錄

三〇

吉田次郎

線引

二六・二七

吉田全三 建築工事仕様見積(共) 實地指導建築材料(編) 仕様見積(共)	二六 二六五 二七七	吉田久義 最新内外鑛物圖說	一五	吉町太郎一 臺灣土木事業調査報告(編)	四	吉原鐵夫 應用自在工業便覽 見習から機械師になるまで	八 一〇一
吉田晴 鑛石受信機(共)	一四	吉田宏彦 材料の力學的性質	三三・三五	吉見 誠 木工具使用法及手入法	一〇三	代田豐太郎 川路村水防史(共)	七
吉田宅紹 城築準繩(共)	三四	吉田 貢 病院建築	二五・二六	吉村信吉 海洋學・湖沼學關係圖書・雜誌類 湖沼學 地域計測論 日本の湖沼の地方湖沼學的展望	一五 一六 一五	淀川左岸水害豫防組合 淀川左岸水害豫防組合誌	六
吉田徳次郎 鐵筋混凝土施工法 鐵筋コンクリート設計法 土壓及擁壁設計法	三〇 三〇 三五	吉田彌七 コンクリート及び鐵筋コンクリート 汎論 鐵筋混凝土工學	二六・二九 二九・四〇	吉村豐文 結晶投影圖法	一五	米澤 滋 ブラウン管と其の應用(共譯)	一五
吉田敏成 海籌妄言	三三・三五	吉田安三郎 伯林建築條例註解	二五	吉村萬治 最新燃料の知識 製鐵事業綱要 燃料の知識 米國に於ける鑛煙處理法(譯) 有用鑛物の産地及用途(共)	二八 二八 二八 二七 二六	米澤政治郎 郊外電氣鐵道 電氣鐵道	二〇・二四 二
吉田友三郎 測量便覽	四	吉武榮之進 機械篇 染色法(共編) 捺染法(共編) 配色法(共編)	六七 三〇 三〇 三三	吉村倫之助 水性瓦斯反應	二〇・二四	米澤與三七 放送無線	一五・二二
吉田東伍 利根治水論考	六	吉富 滋 軍事援護制度の實際	三三	良本正勝 コンクリート堰堤	六	米田英夫 工業紡織(共)	三三
吉田信武 社會と建築	二〇・二三	吉野信次 我國工業の合理化	六			米田文治 誰にもわかる實用實際的木材 着色塗料法 木材ニカワ貼曲(マダ)材實施法	三三 二六

米田正文
土と杭の工學(共) 四

米谷 稔
バルブ及製紙 二〇一・三三七

米村鍵一
商車の計算法 九三

米元晋一
汚水淨化装置 二五三・二六六

米山梅吉
幕末西洋文化と沼津兵學校 三九

米山清三
電照養蠶 一三五

楊 鐘 健(民)

中國人類化石及新生代地質
概論 一六〇・一六一

ライーラン

賴 俊一

汽罐設備(共) 九四・二三・二三四

來特非爾(米)
航海金針 二五二

ライナー(米)
テレビジョン 一四

來 曼

北海道地質測量(圖)
北海道地質總論 一〇六

羅 雅 谷(伊)
測量全義 三三

ラスキン(英)

建築と繪畫
建築の七燈 二五五

ラ ッ ク(米)
動力 九

ラドナー(米)
短波無線通信 一四

ランキン(英)
土木學 四

ラングスドルフ(米)
直流機 三〇

リーリメ

李 榑(明) 三六

吳 子(註) 三六

吳 子(輯) 三三

李 誠(宋) 二七

營造法式 二六

李明仲營造法式 二六

李 光 地(清) 三七

握奇經註 三七

李 宏 年(清) 三〇

東瀛閩探日記(校) 三〇

李 春 昱(民) 三〇

四川西康地質誌(共) 一六〇・一六一

李 升 基(民) 三六

醋酸化法人造絹絲製造法(共) 三六

李 振 東(民) 一七

支那の石炭 一七

李 石 亨(朝鮮)
歷代兵要(共編) 三三

李 騰 芳(明) 三三

尉繚子(校) 三三

孫 子(校) 三三

リヴンツ
電氣機械 二六

理化學研究所
理化學研究所彙報 三

力丸之光
武學啓蒙 三〇

武教錄(編) 三〇

陸 世 儀(清) 三三

八陣發明 三三

陸 費 達(民) 三六

司馬法(校) 三六

陸軍科學研究所
化學兵器寫真帖 三七

陸軍科學研究所報告 三六

陸軍技術本部高等官集會所
軍事と技術 三〇

陸軍軍醫團

陸軍衛生制度史 三九

陸軍經理學校研究部

防空建築 二七

陸軍航空本部

航空事情 二九七

獨國防空團(譯) 三五

獨國民間防空(譯) 三五

陸軍主計團

糧食に關する研究 三八

陸軍省

英國六製鋼會社ニ於ケル鋼分析法 一八四

ニ關スル報告 一八四

韓國平壤三登及砂里院附近石炭 一八四

調査報告 一七三

軍制綱領 三三六

交戰諸國ノ陸軍ニ就テ 三三九

帝國陸軍概要 三三八

兵器保存要領 三三七

明治三十七八年戰役檢校誌 三〇七

明治三十七八年戰役俘虜取扱顛末 三〇七

明治三十七八年戰役陸軍衛生史 三〇七

陸軍醫事統計 三〇九

臨時陸軍檢校部報告摘要 三一九

陸軍省醫務局

大日本帝國陸軍患者統計報告 三八

陸軍省醫務局年報 三九

陸軍省人事局

陸軍共濟組合事業成績 三八

陸軍省新聞班

陸軍軍備の充實と其精神 三三

陸軍省整備局

陸軍共濟組合事業成績 三八

陸軍省糧秣本廠

日本兵食史 三八

陸軍大臣官房副官部

陸軍省統計年表 三八

陸軍文庫

日本兵器沿革誌 三七

日本兵制沿革史 三六

陸軍兵學寮

陸軍日典 三九

陸軍步兵學校

小部隊の戰例 三九

陸地測量部

一等三角測量實行法 六

奧丹後半島復舊三等三角測量記事 七

關東震災地復舊測量記事 七

三角及水準測量成果摘要 六

三角測量法式草案 六

三四等三角測量實行法 六

實體寫眞測量ノ研究 六

大地測量法式 五

丹後地方震災地復舊一等水準測量記事 七

地形測量實行法 六

地形測量法式 六

日露戰役寫眞帖 三〇六

二等三角測量實行法 六

陸地測量部沿革誌 七

陸地測量部寫眞帖 七

陸地測量部年報 七

陸地測量部年報抄錄 七

理想社

戰爭論 三〇三

利瑪竇(伊)

測量法義(譯) 三五

リビューリン

敬

日本始築怡土城址(編) 三六

龍 肅

奧州征伐 三〇四・三〇五

源平の合戰 三〇四・三〇五

前九年後三年の兩役 三〇四・三〇五

保元平治の兩亂 三〇四・三〇五

劉 寅(明)

尉繚子直解 三七

三略直解 三八

司馬法直解 三八

李衛公問對直解 三一

六韜直解 三三

劉 致平(民)

建築設計參考圖集(共編) 二七

外檐裝修(共編) 二六九・二七〇

雀替駝峯隔架(共編) 二六九・二七〇

石欄干(共編) 二六九・二七〇

藻井天花(共編) 二六九・二七〇

臺基(共編) 二六九・二七〇

柱礎(共編) 二六九・二七〇

店面(共編) 二六九・二七〇

劉 致 平(續)	二六九・七三	麟 慶(清)	河工器具圖說(編)	五	臨時葉煙草取扱所建築部	臨時葉煙草取扱所建築部建築一班	二六	呂 社(宋)	東南防守利便	三三
斗拱(共編)	二六九・七三	臨時議院建築局	本邦産建築石材	二六	臨時發電水力調査局	發電水力事業概覽	三三	呂 望(周)	六	三三
琉璃瓦(共編)	二六九・七三	本邦産主要建築石材琢磨效果圖	臨時産業調査局	二六	發電水力調査書	臨時發電水力調査局	三三	六所文三	木材の糖化及利用(共)	二四
劉 敦 楨(民)	二六三	海外鑛物調査報告	機械工業ニ關スル統計表	二七	黎 特(米)	航海金針(共補)	二五	錄 草 會	民家圖集	二四
大同古建築調査報告(共)	二六三	時局の影響を受けたる本邦化學工業	時局の機械工業に及ぼしたる影響	二七	レザル(佛)	土 壓 論	五	ロサンベルク(佛)	金屬の銲接及切斷法	二八
リューデンベルヒ(獨)	二五	滿蒙及支那ニ於ケル鑛山調査摘要	露國黑龍江洲及黑龍江沿岸地方ニ於ケル鑛山業	二五	レナル(佛)	航空 學	二六	ロシア問題研究所	英米建艦競争(譯)	三三
過渡現象論	二五	露國黑龍江洲管區ニ於ケル鑛山業	臨時製鐵事業調査委員會	二五	航空 學	兵士懷中便覽	二九	英米建艦競争(譯)	英米建艦競争(譯)	三三
旅順工科大学	三	於ケル鑛山業	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	二七	レナール(佛)	六角英通	二七	六角英通	異常電壓と送電系統の防護	二七
旅順工科大学彙報	三	露國黑龍江洲管區ニ於ケル鑛山業	臺灣總督府土木部第三年報	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州嘉義油田調査報告	二六
旅順工科大学報告	三	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
梁 思 成(民)	二五	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
雲岡石窟中所表現的北魏建築(共)	二五	臺灣總督府土木部第三年報	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
營造算例	二五・二六	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
外檐裝修(共編)	二五・二六	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
建築設計參考圖集(共編)	二五	臺灣總督府土木部第三年報	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
雀替駝峯隔架(共編)	二五・二六	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
清式營造則例	二五	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
石欄干(共編)	二五・二六	臺灣總督府土木部第三年報	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
藻井天花(共編)	二五・二六	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
臺基(共編)	二五・二六	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
大同古建築調査報告(共)	二五	臺灣總督府土木部第三年報	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
柱礎(共編)	二五・二六	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
店面(共編)	二五・二六	鑛石附近鐵鑛床地質調査報文	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
斗拱(共編)	二五・二六	臺灣總督府土木部第三年報	臨時空素研究所報告	二四	レナル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六
琉璃瓦(共編)	二五・二六	臨時製鐵事業調査委員會	臨時空素研究所報告	二四	レザル(佛)	六角兵吉	二七	六角兵吉	〔臺灣〕臺南州玉井油田調査報告	二六

六角兵吉(續) 〔臺灣〕高雄州恒春油田調査報告 (共)	二六	若杉松三郎 保温材の理論及實際	二六	別宮貞俊 送電 對稱座標法解説	二〇・三五 二六	早稻田大學理工學部 早稻田大學理工學部紀要	二
ロッフ(米) 水力發動所	二四	若林勝村 古代の馬具	三三	和佐田金義 汽罐設備(共)	九四・三三・三四	早稻田大學理工科建築學教室 建築工事實施例	二七
ロース(米) 電氣測定法	二七	若林金五郎 燃料試驗法及石炭購買法	三三	和島藤助 保護繼電器(共)	二八	早稻田電氣工學會	一〇八
ロマイヤ(獨) 基礎工		若林與左衛門 釀造論文集(編)	三九	和碩果親王(清) 工程做法(共編)	二七	早稻田大學電氣工學會會報 早稻田電氣工學會雜誌	一〇八 一一〇
ローラン(佛) 地質學	二五	若松雅太郎 琵琶湖疏水要誌	三	早稻田應用化學會 早稻田應用化學會報	一九七	和田篤憲 近世道路史論	四〇・六一
ローレンス(米) 交流機	二二	若目田利助 英米に於ける電話事業 英和對譯電氣用語集 電氣及磁氣 電氣事業技術者用電話學 電燈及電氣鐵道 電話機及電話交換	二二 二六 二二 二七 二六・二五 二八	早稻田大學 日露戰役史 早稻田大學建築學科住宅研究室 近代西洋住宅設計資料	三〇 三〇 三三	和田維四郎 金石識別表 日本鐵物誌 本邦鐵物標本	一〇 一五・一六 一六
ワイーワタセ		和歌山高等商業學校產業研究部 和歌山綿ネル業研究	二四	早稻田大學建築學教室建築史 裝飾美術研究室 建築史・裝飾美術參考圖集	二五 二五	和田重暢 演算子法と其應用 化學工學及化學機械(共) 最新電氣機械器具	一六 二四 二六
ワインバッハ(米) 電話傳送學	二七	脇水鐵五郎 鐵物教科書 新式小鐵物學	一三 一四	早稻田大學出版部 電氣工學豫備講義 早稻田電氣工學講義	二二 二二	和田錄治 製藥化學粹(編)	二四
若尾璋八 明治大正電氣事業發達小史	三三						

渡瀬完三
硫 安

二四六

渡瀬 要

計書要論(共)
建築材料學(共)

二五・七二
二六五

渡瀬正三郎

白金 鏡

一六五

渡瀬 貫

開通せる清水隧道と地質問題
セメント注入(共)

一五七
二五

ワタナーワツ

渡部 一郎

航空發動機

六九・九六

陸軍士官必携(譯)

三一九

渡邊幾治郎

明治天皇と軍事

三〇三

渡邊以親

町見術阿弧丹度用法略圖說

三三

渡邊 一郎

瓦斯發生爐(共)

三六

乾留筒を有する瓦斯發生爐試験

報告(共)

石炭完全瓦斯化試験(共)

石炭の完全瓦斯化及び其の方式

(共)

渡邊 光

平地及び窪地
北米の地理學界概況

一五八
一五九

渡邊 洪貢

山城國從水車之圖
山城國從天守之圖

欠
三九

渡邊 剛亮

鐵道曲線設置法(編)

五九

渡邊 定男

引伸印畫法

三三・三四

渡邊 周

縮絲紡績

二二

渡邊 十千郎

鑛山物語

一八

渡邊 俊平

歷電氣實體法

九・二三・三三

渡邊 正三郎

白金 鏡

一五

渡邊 四郎

人造石油と原料石炭

三五

渡邊 靜

鐵骨構造施工指針(共)

三三・三五

渡邊 節

日本興業銀行建築概要(編)

二六〇

渡邊 卓郎

アセチレン誘導體

二〇・二四

渡邊 貞助

天然瓦斯鑛業

一九〇

渡邊 定靜

憤 機 論

三三三

渡邊 俊雄

齋藤大吉先生還曆記念論文集(編)

二

渡邊 虎一

大島盈株氏遺作日本建築圖集

二五四

渡邊 寅次郎

ディーゼル機關

七

渡邊 久夫

外線工事

二七

渡邊 秀幸

測量便覽(共)

三四

渡邊萬次郎	銀	一六四	渡邊 渡〔續〕	試金術特論	一八〇
	金鑛と金鑛床	一六七		試金術汎論	一八〇
	金屬礦物と其産狀	一五・一六四		別子銅山熔鑛爐付屬煙道排氣法	一七〇
	鑛物と岩石	一六三		試驗報告書	一七〇
	接觸鑛床論	一五七・一六七		冶金學(共編)	一八〇
	テテル金銀鑛の研究	一六五	綿貫勇彦		
渡邊李太郎	實用測量學(共)	三三	シレジャの農村居住形態に關する	二五九	
			シュニガリの研究	二六	
渡邊 裕	清國內蒙古喀喇沁王部鑛業調査	一五一	地理學方法論	二六	
	報文(共)	一五一	渡 六之助	法普戰爭誌略(譯)	三二
渡邊義雄	建造物の撮影法	二二・二三	ワ ッ ト(英)	ブラウ管と其の應用	一四五
渡邊義勝	圖式及び圖計算	元	ワット誕生二百年記念會	日本蒸氣工業發達史	五
渡邊世祐					
嚴島合戦					
長篠の戰					
渡邊 渡					
尾去澤鑛山ニ關スル調査報告		一五			
鑛床學大意		一七			

昭和十六年九月二十日印刷
昭和十六年九月二十五日發行

非賣品

編纂兼
發行者

京都帝國大學附屬圖書館

印刷者

京都市中京區柳馬場通三條南入

福井松之助

印刷所

京都市中京區柳馬場通三條南入

株式會社 似玉堂